

MCGPro シリーズ

MCGPro

ユーザーズガイド



テクノブロード株式会社

このソフトウェアの仕様およびユーザーズガイドに記載されている事柄は、将来予告無く変更する事があります。特に記載していない場合はこのソフトウェアおよびユーザーズガイドに記載している会社、組織、製品、人物、キャラクタ、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。このソフトウェアおよびユーザーズガイドは本製品の使用許諾契約のもとでのみ使用することが出来ます。このソフトウェアおよびユーザーズガイドのいかなる部分も、テクノブロード株式会社の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、複写や記録、電子的、物理的な全ての手段を含む方法、手段、媒体での複製、または譲渡することは禁じられています。

(c)2014 テクノブロード株式会社 All rights reserved.

目次

第1章 MCGPRO の動作環境	1
第1節 MCG コンテンツ制作端末の動作環境	1
第2節 MCG コンテンツの閲覧環境	2
第2章 インストール、登録及び削除	3
第1節 インストール及び登録	3
第2節 チェックアウト	7
第3節 削除及び更新	9
第3章 環境設定	10
第1節 コンピューター環境の設定	10
第2節 ビデオ・オーディオの録画オプション及びスクリーンキャプチャオプションの設定	14
第3節 ビデオ・オーディオの録画デバイス設定	16
第4節 画面レイアウトの設定	17
第5節 プロパティの設定	25
第6節 WINDOWS VISTA/7 におけるアノテーション使用のための設定	29
第4章 MCGPRO のコントロールパネル	33
第1節 ツールバー	33
第2節 ビデオ・オーディオレコーダーパネル	34
第3節 WMV レコードコントロールパネル	34
第4節 スクリーンキャプチャコントロールパネル	35
第5節 コンテンツ編集コントロールパネル	35
第5章 コースの録画	39
第6章 ビデオ・オーディオファイルからコースを作成	48
第7章 コースのアピアランス設定	56
第1節 画面レイアウトの設定	56
第2節 関連情報-コース名、アドバイザー及びメッセージ	57
第3節 アピアランス-ビデオゾーン、コース名、アドバイザー/メッセージ	59
第4節 アピアランス-ハイパーリンク、ホットリンク、ハイライト	61
第5節 アピアランス - ロゴ、スライド	63
第6節 イメージ - ロゴ	65
第7節 イメージ背景画像	68
第8節 イメージ-TVイメージ	71
第9節 イメージアドバイザーの写真	74
第10節 オプション	77

第 8 章 コース管理	82
第 1 節 複数コースの管理機能	82
第 2 節 コースバックアップの管理	83
第 3 節 コース情報の設定	85
第 9 章 ビデオコンテンツの編集	87
第 1 節 ビデオ・オーディオの編集	87
第 2 節 コンテンツメニューの編集	100
第 3 節 POWERPOINT スライドの編集	101
第 4 節 スクリーンキャプチャの編集	103
第 10 章 コースアップロードツール	104
第 1 節 コース作成機能	104
第 2 節 その他機能	106
第 3 節 コースアップローダーのトラブルシューティング	109
第 4 節 手動設定でのコースアップロード	110
第 11 章 WMV ファイルレコードツール	112
第 12 章 スクリーンキャプチャツール	114
第 13 章 ライブ収録の準備	120
第 1 節 インストール時のエラー	123
第 2 節 登録時のエラー	133
第 3 節 インストールは正常にできたが、動作がおかしい	134
第 4 節 収録時のエラー	134
第 5 節 編集時のエラー	135

第1章 MCGPro の動作環境

第1節 MCG コンテンツ制作端末の動作環境

ハード	動作環境
ノート PC またはデスクトップ PC(PC/AT 互換機)	
CPU	Intel Core i3 2.0GHz 以上 (Core i5 2.5GHz 以上推奨)
メモリー	2GB 以上(推奨)
ハードディスク	30 GB 以上 WEB カメラ+USB インターフェース
画像録画装置	デジタルビデオカメラ(HDMI 端子を備えていること) +弊社推奨変換アダプタ デジタルビデオカメラ(DV)+IEEE1394 インターフェース
サウンドキャプチャ装置 *	32 ビットサウンドカード 又はチップ
サウンド録音装置	無線マイクまたは有線マイク
サウンド出力装置	スピーカーまたはイヤホン
ウェブリンク環境	モデムや LAN などによるインターネットにアクセス可能な環境

*マザーボードに接続ポートが内蔵されている場合は、サウンドカードを取付ける必要はありません。

※本ソフトウェアは Windows8.1 に対応しております。本文中の Windows8 は Windows8/8.1 に読み替えてご覧ください。

ソフトウェア / 動作環境

- 1 Microsoft® Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows 7 Home Premium/ Professional/ Enterprise/Ultimate
Microsoft® Windows 8 / Pro/ Enterprise
Microsoft® Windows 8.1 / Pro/ Enterprise
- 2 Microsoft® PowerPoint 2007 /2010 /2013 日本語版 (32 ビット)
- 3 Microsoft® Internet Explorer 9.0 以上
- 4 Microsoft® Windows Media Player 9 以上
- 5 Microsoft® Windows Media Encoder 9
- 6 DirectX 9.0b 以上

※ この動作環境は全ラインナップ共通です。

※ Windows Vista は 32 ビット、Windows7/8 は 32 ビット/64 ビットの日本語版のみ対応しています

※ いずれのバージョンの PowerPoint も 32 ビット日本語版のみ対応しています

※ PowerPoint2013 をお使いになる場合、既に以前のバージョンの MS Office(PowerPoint 単独の場合を含みます)がインストールされたパソコンに共存させて一緒に使いいただくことはできません。異常な動作の原因となりますので、絶対にお止めください。

以前のバージョンの MS Office をアンインストールした上で、PowerPoint2013(または MS Office2013)をインストールしてください。

※ ライセンス認証のためインストール及びアンインストール時にインターネット接続環境が必要です。

※ 「既定のスクリーンキャプチャーオプション」、「既定のメディア録画オプション」の設定において、エンコード方式やビデオフレーム、ビデオ帯域幅、音声帯域幅等をハイクオリティに選択設定した場合、ご使用機器(CPU、メモリ、グラフィックボード等)の性能によっては、ビデオ画像が正常に取り込めない(コマ落ち、音声飛び、動画ノイズ等)ことがあります。(例:画像サイズを640×480、エンコード方式を DVDDVideoQuality(1073K)等)事前に、ご使用機器での動作確認を行い、ご使用機器の能力に応じた画像サイズの設定で使用する必要があります。

第2節 MCG コンテンツの閲覧環境

ハード	推奨条件
ノートPCまたはデスクトップPC	
サウンドプレーヤー*	32ビットサウンドカードまたはチップ
サウンド出力装置	スピーカーまたはイヤホン
ウェブリンク環境	モデムやLANなどによるインターネットにアクセス可能な環境

* マザーボードに接続ポートが内蔵されている場合は、サウンドカードを取付ける必要はありません。

ソフトウェア / 動作環境

- 1 Microsoft® Windows Vista/7/8/8.1
- 2 Microsoft® Internet Explorer 9.0 以上
- 3 Microsoft® Windows Media Player 9.00 以上

※ いずれのOSも32ビット/64ビットの日本語版のみ対応しています

※ Windows8での閲覧時、モダンUIのInternetExplorerでは閲覧できません。デスクトップのInternetExplorerをご使用ください。

※ InternetExplorerのバージョンによりアニメーション効果や文字フォントの表示結果が異なる場合があります。

第2章 インストール、登録及び削除

第1節 インストール及び登録

MCGPro をインストールする前に、まずコンピューターが Microsoft® Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate / Microsoft® Windows 7 Home Premium / Professional/ Enterprise/Ultimate / Microsoft® Windows 8 / Pro/ Enterprise 日本語版(32 ビット/64 ビット)環境であることと、以下のソフトがインストールされていることを確認してください。

- ・ Internet Explorer 9.x / 10.x 以上
- ・ Microsoft PowerPoint 2007 /2010 /2013 日本語版 (32 ビット)

1. MCGPro 5.0/5.7/5.8 ユーザーが MCGPro 5.9 をインストールする際の注意

- (1) MCGPro のインストールをはじめる前に現在使用している MCGPro のチェックアウトを行い、次に【スタート】メニューから【設定】→【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】で MCGPro を選択し、【追加と削除】をクリックしアンインストールします。
- (2) 次に、MCGPro をインストール手順に従ってインストールしてください。

【MCGPro 5.9 インストール手順】

- (1) **Windows Vista/7 の場合**:コンピューターへのログインを Windows Vista/7 標準の Administrator アカウントで行なってください。またはUACを無効にして管理者権限で行なってください。この場合のログインユーザー名は半角英数字で作成してください。

※ UAC 無効化手順

1. スタートメニューより[コントロールパネル]—[ユーザー アカウント]を選択
2. 再度[ユーザー アカウント]を選択
3. [ユーザー アカウント制御の有効化または無効化]を選択
4. 「ユーザー アカウント制御の設定」ウィンドウが表示されたら、バーを一番下(通知しない)に移動する

- ◎ MCGPro のインストールが完了したらパソコンを保護するため UAC を有効にしてください。

Windows 8 の場合:1 台の PC で1つのアカウントのみを設定されている場合と複数のアカウントを設定されている場合でインストール手順が異なります。

・MCGPro を1つのアカウントで使用する場合

1. Windows セットアップ時に設定したアカウントで直接インストールができます。 5 ページの(2)に進んでください。

・MCGPro を複数のアカウントで使用する場合

1. インストールするためには、管理者アカウントでサインインする必要があります。
2. インストール手順は 5 ページの以下の項目を参照してください。

Windows 8 PC で複数のアカウントにより MCGPro を使用する場合

- (2) MCGPro 5.9 のインストールをおこないます。

※ Windows Vista/7 及び Windows 8 で1つのアカウントのみが設定された PC にインストールする場合は、以下の①から③の手順で操作をおこなっていただき、引き続き次ページの「5. MCGPro の実行及び製品登録」に進んでください。

- ① 最初に以下のソフトウェアがインストールされていることを確認します。

- Internet Explorer 9.x /10.x 以上
- Microsoft PowerPoint 2007 /2010 /2013 (各日本語版 32bit)
- DirectX 9.0b 以上
- Windows Media Player 9.0

- ② MCGPro 5.9 インストール CD を CD-ROM ドライブに入れ、画面の指示に従ってインストールしてください。

- Windows Media Player 9.0 のインストール
- MCGPro 5.9 のインストール (デフォルト以外のフォルダを指定する場合は必ず半角英数字を使用してください。)

- ③ 画面の指示に従って再起動してください。

Windows 8 PC で複数のアカウントにより MCGPro を使用する場合

《インストール及びオンライン登録の手順》

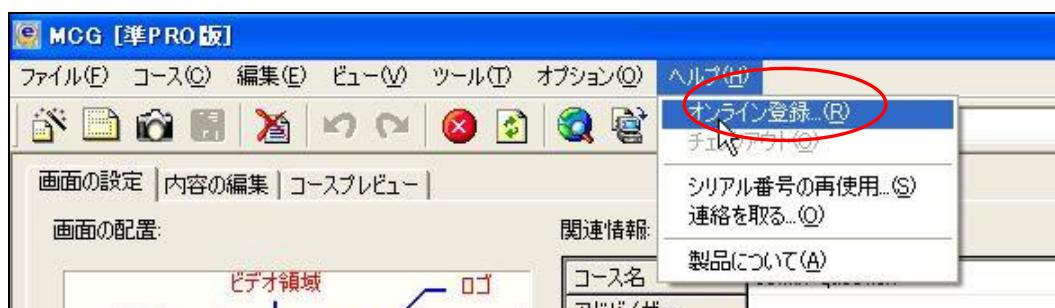
- ① ローカルアカウント(Windows セットアップ時に設定したアカウント)で、管理者アカウントを作成します。
- ② 作成した管理者アカウントでサインインします。
- ③ MCGPro インストーラ CD をセットします。
- ④ 画面左下にカーソルを置き、右クリックして、メニューリストを表示します。
- ⑤ [エクスプローラー] – MCGPro インストーラ CD をセットしたドライブを右クリックし「開く」-[Programs]を開きます。
- ⑥ 「MCG_PRO_JP_5.9.xx_PPT2013.exe」を右クリックして、「管理者として実行」を選択
- ⑦ MCGPro のインストールが行われます。
- ⑧ (初回のみ) デスクトップ上に作成された「MCGPro のショートカット」上で右クリックして、「管理者として実行」を選択
- ⑨ MCGPro の[ヘルプ]-[オンライン登録]から登録をおこなってください。

5. MCGProの実行及び製品登録

MCGPro のオンライン登録が完了するまでは、

- ・ 製品使用時間は 10 時間に限られています
注: MCGPro を実行していない時は使用時間が加算されません
- ・ ライブでのエンコード収録時間は3分に制限されています

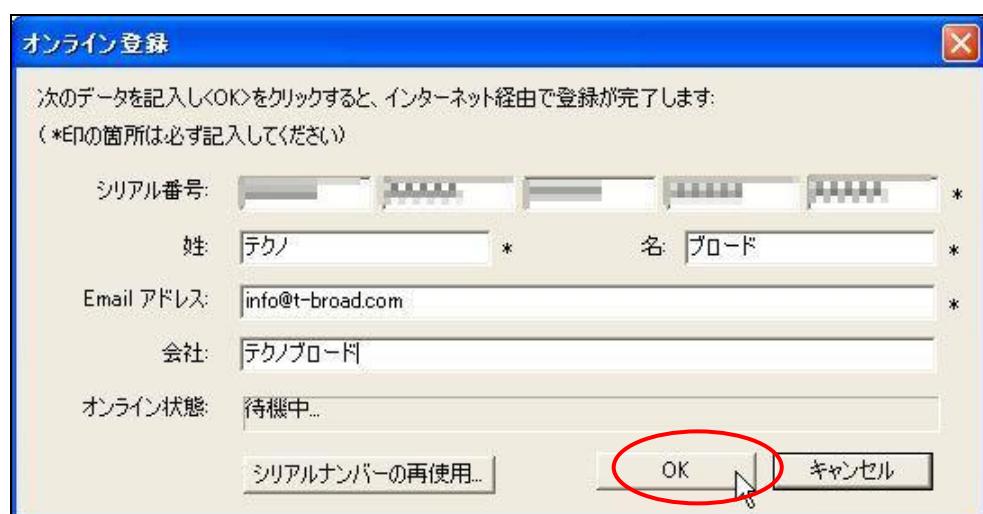
- (1) 登録するには、まず MCGPro を実行します。
- (2) インターネットに接続します。メイン画面で【ヘルプ】→【オンライン登録】を実行します。



インターネットに接続していることを確認してから、「シリアルナンバー」、「名前」、「Email アドレス」及び「会社名」を正確に入力の上、【OK】ボタンを押してください。
インターネット経由で登録が完了します。

注意: ライセンス解除の際に操作不能にならないよう、Email アドレス欄にメールが受信できる正確なメールアドレスを記入してください。また、お名前の記入欄(姓及び名欄)にも正確な記入をしてください。

①





第2節 チェックアウト

MCGPro を他のコンピューターにインストールしたい場合、【チェックアウト】機能により、まず元のコンピューターの MCGPro ライセンスを解除してください。その後、同じシリアルナンバーを他のコンピューターに改めて登録することができます。もし「チェックアウト」の動作を行わずに(例えばハードディスクが故障してしまい、Windows を再インストールした場合など)、そのまま MCGPro を再インストールしてオンライン登録をすると、再登録はできないというメッセージが表示されます。チェックアウトが出来ない場合は弊社までご連絡ください。

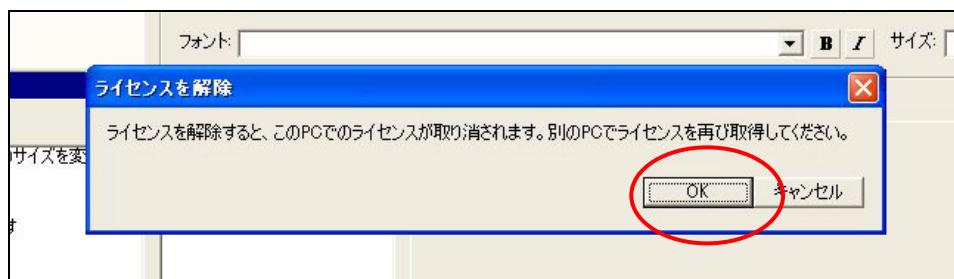
※Windows8PC で複数アカウントで MCGPro を使用している場合のチェックアウト手順は 8 ページをご覧ください。

« チェックアウト »

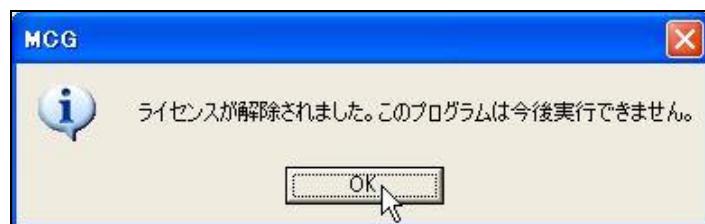
1. インターネットに接続できていることを確認します。
 2. (Windows Vista/7 の場合のみ)コンピューターへのログインを Administrator アカウントで行なってください。またはUACを無効にして管理者権限で行なってください。
 3. MCGPro を起動します。
 4. メニュー【ヘルプ】から、【チェックアウト】を選びます。
 5. 【OK】ボタンを押してライセンスを解除します。
- ① メニュー【ヘルプ】から【チェックアウト】を選択し、「ライセンスを解除」ウィンドウを表示します。



② 【OK】ボタンをクリックしてライセンスを解除します。



③



Windows 8 PC で複数アカウントで MCG を使用している場合の
チェックアウト手順

《チェックアウトの手順》

- ① デスクトップ上に作成された「MCGPro のショートカット」上で右クリックして、「管理者として実行」を選択します。
- ② MCGPro の[ヘルプ]ー[チェックアウト]からチェックアウトをおこなってください。

第3節 削除及び更新とバージョンアップ

以下2通りの方法で、インストールされている MCGPro をアンインストールし、新規バージョン MCGPro のインストールを行うことができます。

1. コントロールパネルから MCGPro の削除と更新:

1. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】。
2. 「MCG5.00」もしくは「MCG5.9」を選択。
3. 【追加と削除】をクリックもしくは右クリックから【アンインストール】をクリックすると、すべてのアプリケーションファイルが削除され、スタートメニューから MCGPro が削除されます。(コースデータ・バックアップデータは削除されません)。
4. インストールメディアから MCGPro インストールアプリケーションを実行し、インストール先フォルダを選んでインストールを行います。

2. インストールメディアから MCGPro の削除と更新:

1. MCGPro インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. エクスプローラを開き、CD内のインストールファイルを実行します。
3. その後は、インストールアプリケーションのガイドに従ってください。「ファイル削除確認」ダイアログが表示されたら、【OK】を押します。すべての MCGPro アプリケーションファイルが削除され、スタートメニューから MCGPro が削除されます。(コースデータ・バックアップデータは削除されません)。
4. 再び MCGPro インストールアプリケーションを実行し、インストール先フォルダを選んでインストールを行います。

MCGPro 5.7 以前のバージョンから新規バージョンに MCGPro をバージョンアップされる場合、本文章の手順ではチェックアウトを正常に行うことができません。

バージョンアップ用のインストールメディアで表示される MCGPro のバージョンアップ手順に従って MCGPro の更新を行ってください。

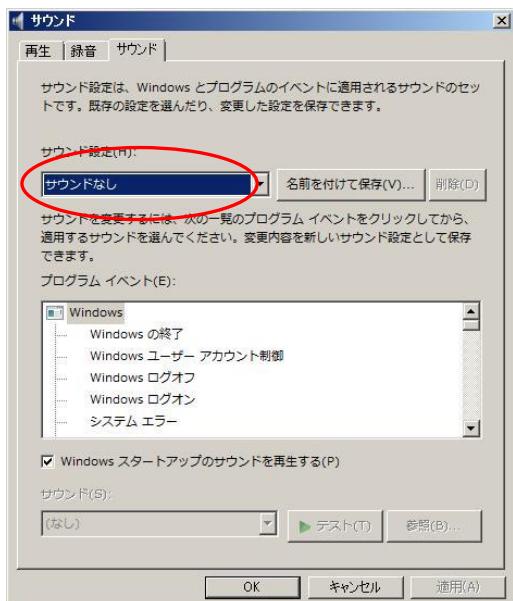
第3章 環境設定

第1節 コンピューター環境の設定

Windows Vista/7/8 のオーディオ設定

マイクをコンピューターのマイク端子に接続してください。図は、環境により異なる可能性があります。

- (1) 【スタート】→(Windows Vista の場合【設定】)→【コントロールパネル】→(Windows Vista の場合【ハードウェアとサウンド】)【サウンド】→【オーディオデバイスの管理】を実行してください。



録音中に Windows から不要な音が出るのを避けるため、サウンド設定を【サウンドなし】にします。

- (2) Windows 録音環境の設定

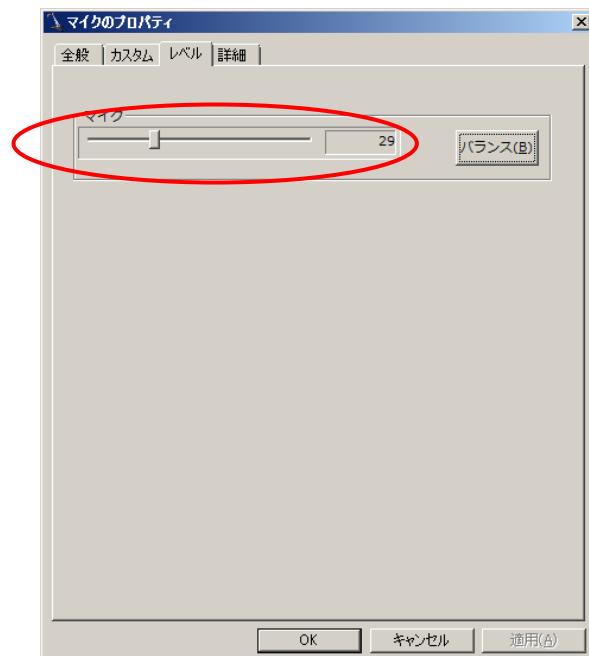
【スタート】→【コントロールパネル】→(Windows Vista の場合【ハードウェアとサウンド】)【サウンド】→【オーディオデバイスの管理】を実行してください。音量の設定は【Windows 録音テスト】の際、再調整する必要があります。



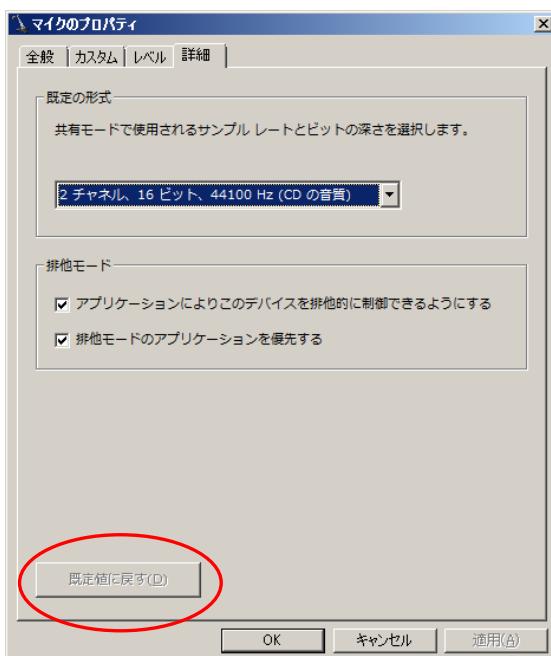
プラグインパワー方式のマイクでない場合、ダイアログ内にマイクが表示されない可能性があります。

録音タブで、マイクを選択し【既定値に設定】します。

マイクのプロパティダイアログで、デバイスの使用状況を【このデバイスを使用する】を選択します。

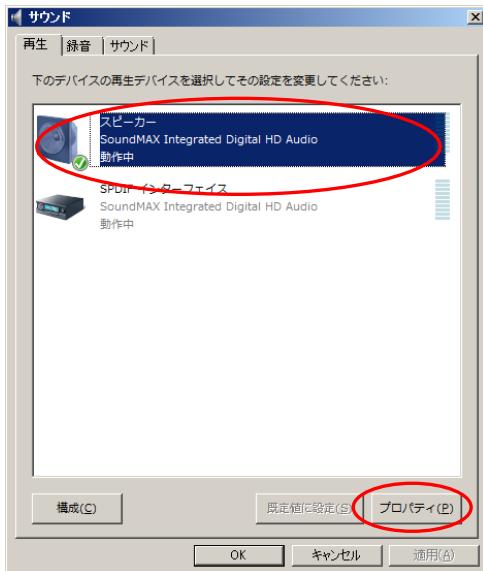


レベルタブで、マイクの入力レベルを調整できます。バランスは、左右等しい値になっていることを確認します。



詳細タブで、【既定値に戻す】を押します。

(3) Windows 音声再生の環境設定

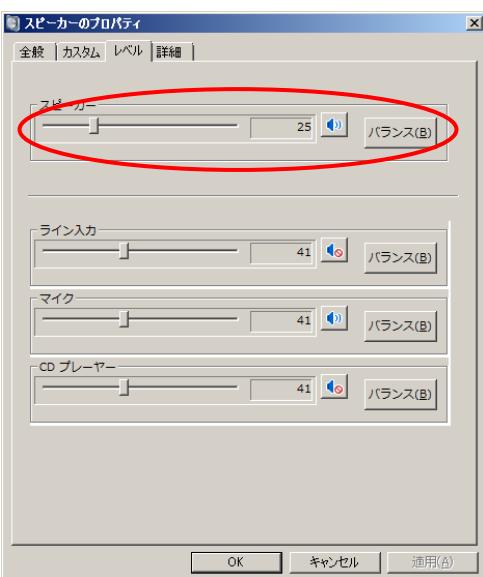


【スタート】→【コントロールパネル】→【サウンド】→【オーディオデバイスの管理】を実行してください。音声再生の音量を適当な位置に設定します。

スピーカーを選択して、【プロパティ】ボタンを押します。

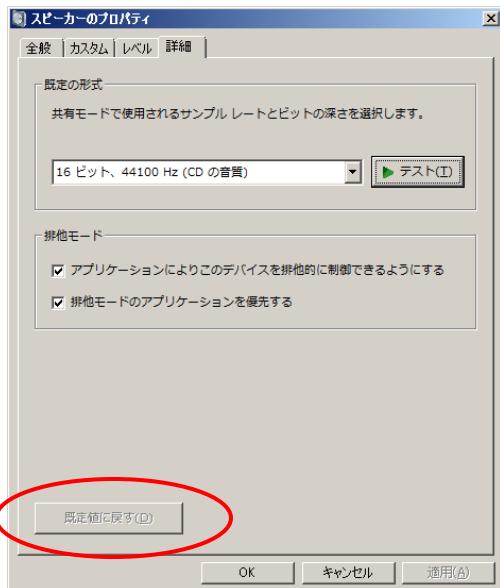


スピーカーのプロパティダイアログ全般タブで、デバイスの使用状況を【このデバイスを使用する】にします。



スピーカーの出力レベルを調整します。バランスは左右等しいことを確認します。





詳細タブで、【既定値に戻す】を押します。

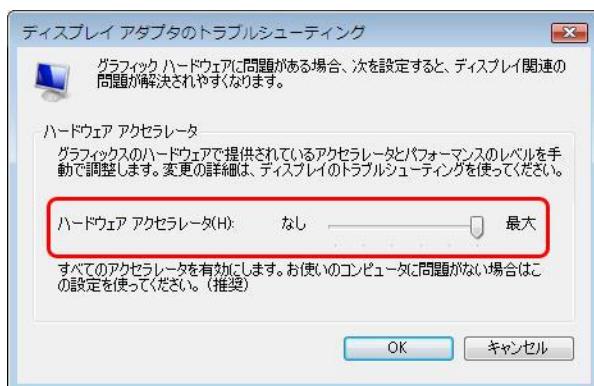
(4) Windows 録音テスト

【スタート】→【プログラム】→【アクセサリー】→【サウンドレコーダー】を実行してください。【録音の開始】アイコン(赤い●ボタン)を押さずに録音の効果をテストします。



音量メータが緑色から黄色の範囲で反応するようにマイク入力レベルを調整すると適正な値が得られます。

(5) Windows Vista/7 ディスプレイのハードウェアアクセラレータの設定



デスクトップで右クリックし、【個人設定】→【画面の設定】→【詳細設定】(WindowsVista の場合)、【個人設定】→【ディスプレイ】→【ディスプレイの設定の変更】→【詳細設定】(Windows7 の場合)をクリックします。【トラブルシューティング】タブより【設定の変更】を選び、「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定しておけば、

MCGPro のスクリーンキャプチャ機能のパフォーマンスが大幅に改善されます。

※ Windows 8 には、この設定はありません。

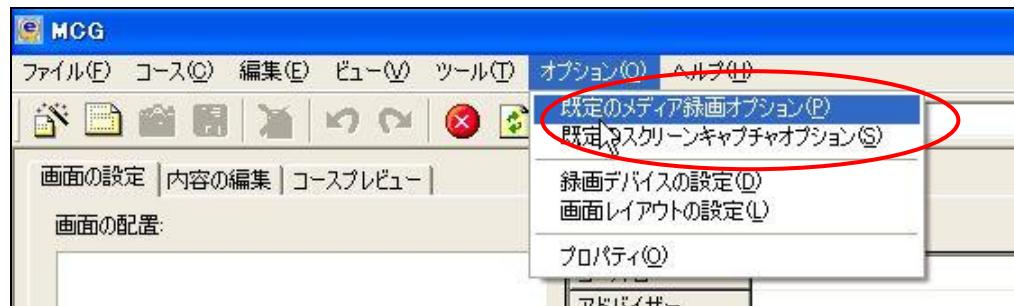
注: グラフィックドライバによっては本設定変更が許可されていない場合があります。

注: ゲームなどでは、このアクセラレータ機能が使用されている場合が多いので、

MCGPro を使用しない時にはこの設定を元に戻してください。

第2節 ビデオ・オーディオの録画オプション及びスクリーンキャプチャオプションの設定

1. メニュー【オプション】→【既定のメディア録画オプション】または【既定のスクリーンのキャプチャオプション】を選択し、設定を行います。



2. ビデオの画面サイズを選択します。



3. 必要に応じてエンコード方式を選び、【OK】ボタンをクリックと設定が完了します。



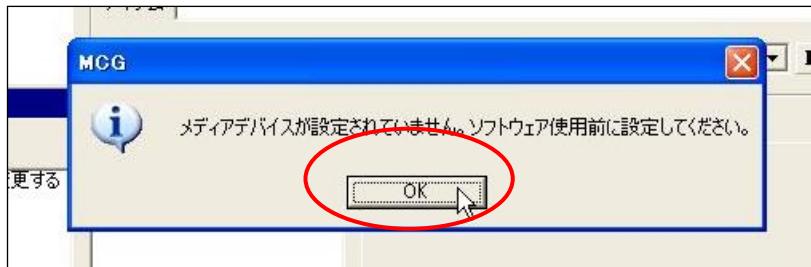
プロパティ:

- ・ **ビデオ帯域幅**: 每秒のデータフロー。
設定数値が大きいほどビデオ画質が優れる。
- ・ **ビデオフレーム/秒**: ビデオのフレームレート。
フレームレートが高いほど動画の動きがスムーズになるが、PC の負荷も大きくなる。
- ・ **キーフレーム/秒**: 圧縮する際の基準となるフレーム(キーフレーム)の間隔。
数値が大きいほど、画質は劣化するが、データ量を小さくすることができる。
- ・ **ビデオ品質**: 数値が大きいほど鮮明な映像になるが、動きのある映像でノイズが出やすくなる。
- ・ **音声帯域幅**: 数値が大きいほど、音声品質が優れる。
- ・ **サンプリングレート**: 每秒のアナログ信号につきサンプルポイントを記録する率。
サンプル率が高いほど、オリジナルのアナログ信号に近くなるため、より高品質の音声が作成されるが、データ量も大きくなる。
- ・ **サウンド形式**: モノラル /ステレオ。

属性	入力値
ビデオ帯域幅	120 K
ビデオフレーム/秒	20
キーフレーム/秒	1 sec
ビデオ品質	0
音声帯域幅	64 K
サンプリングレート	44100 Hz
モノラル/ステレオ	ステレオ

第3節 ビデオ・オーディオの録画デバイス設定

- 初めて MCGPro を実行する場合、及びビデオ・オーディオの録画デバイスを未だ設定していない場合、「メディアデバイスを設定してください」というメッセージが表示されます。そのまま【OK】ボタンを押して、設定を行います。



また、【オプション】ドロップダウンメニューから【録画デバイスの設定】を選択して設定を行うこともできます。

- 【音源】を選択します(ハードウェアが自動的に検出されます)。



- 【ビデオ・オーディオリソース】を選択します(ハードウェアが自動的に検出されます)。ウェブカメラをインストールした場合は、「ウェブカメラ」のオプションを選択します。

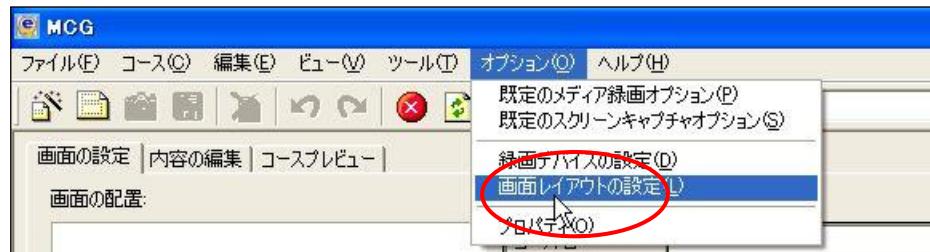


- 【OK】ボタンを押すと設定が完了します。

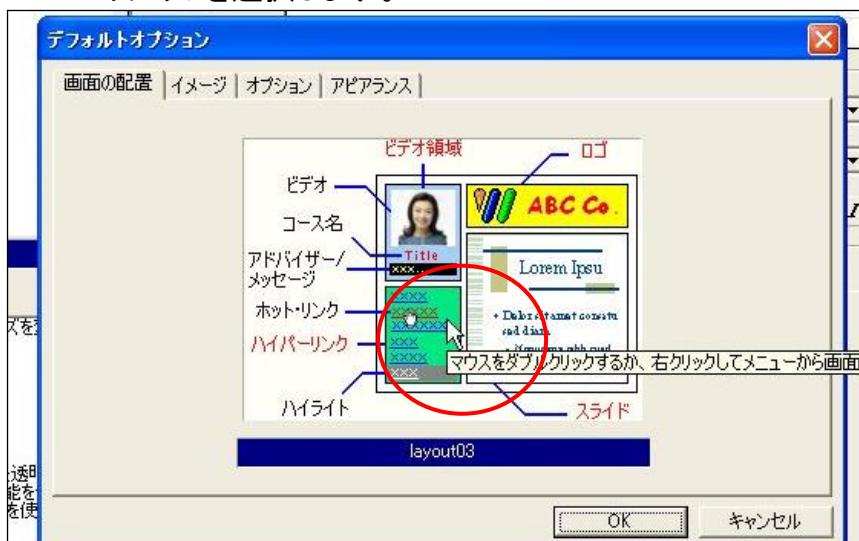
第4節 画面レイアウトの設定

画面レイアウトを設定します。

- メニュー【オプション】→【画面レイアウトの設定】を選択し、「デフォルトオプション」ウィンドウを開きます。

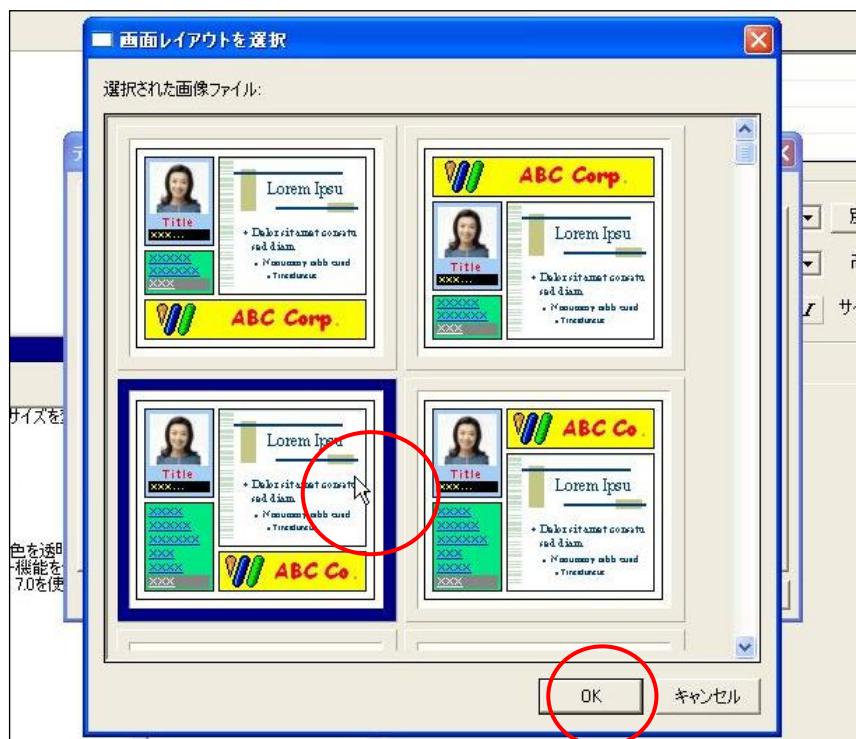


- レイアウトを選択します。



①

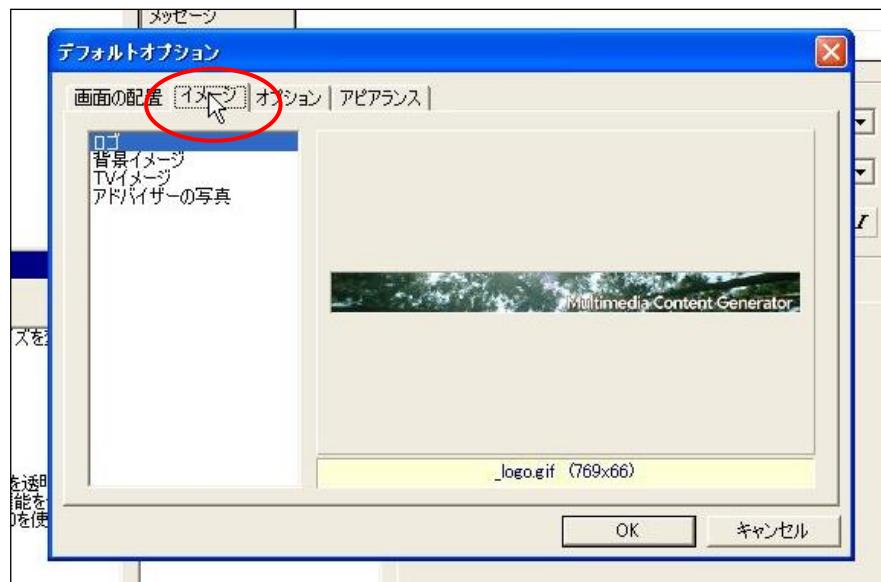
【画面の配置】タブでダブルクリックするか、右クリックして【変更】を選択し、「画面レイアウトの選択」ウィンドウを開きます。



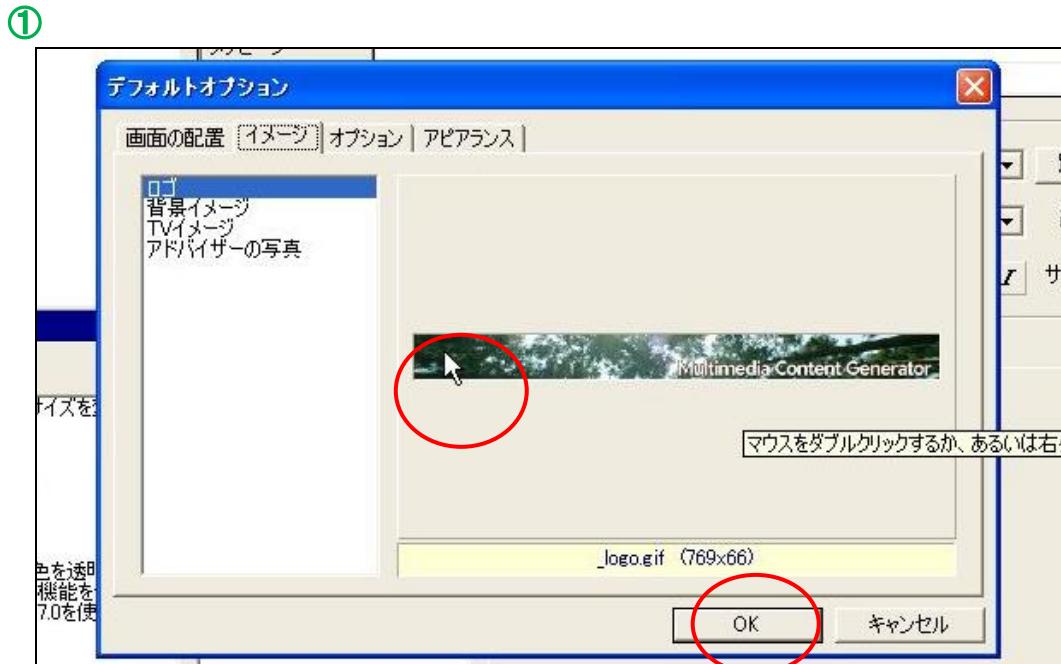
②

使用するレイアウトをクリックして選び、【OK】ボタンをクリックして設定を完了します。

3. 【イメージ】タブをクリックします。ここでロゴ、背景イメージ、TV イメージ、アドバイザーの写真を設定します。



4. 左側領域の【ロゴ】を選択し、ロゴ画像をダブルクリックするか、右クリックして【変更】を選択し、「ロゴを選択」ウィンドウを開きます。使用するイメージを選択し、【OK】ボタンを押して設定を完了します。

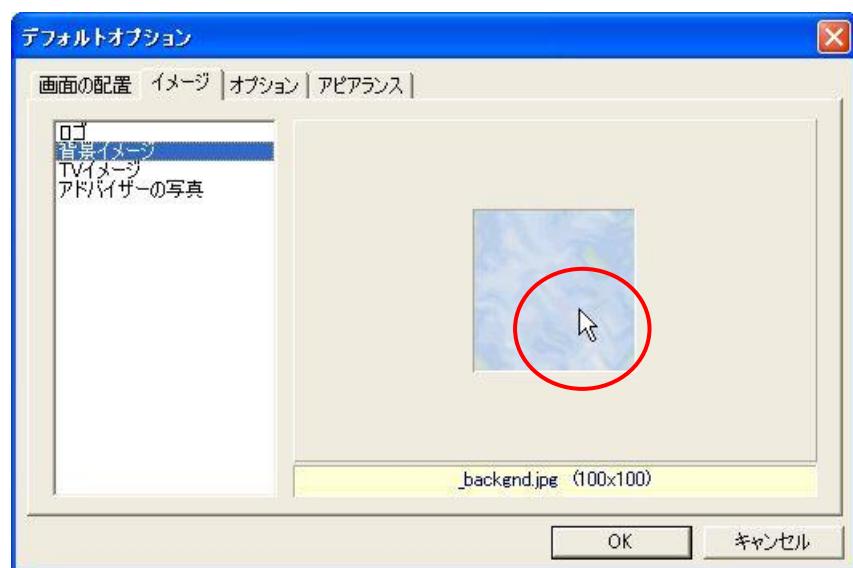


②

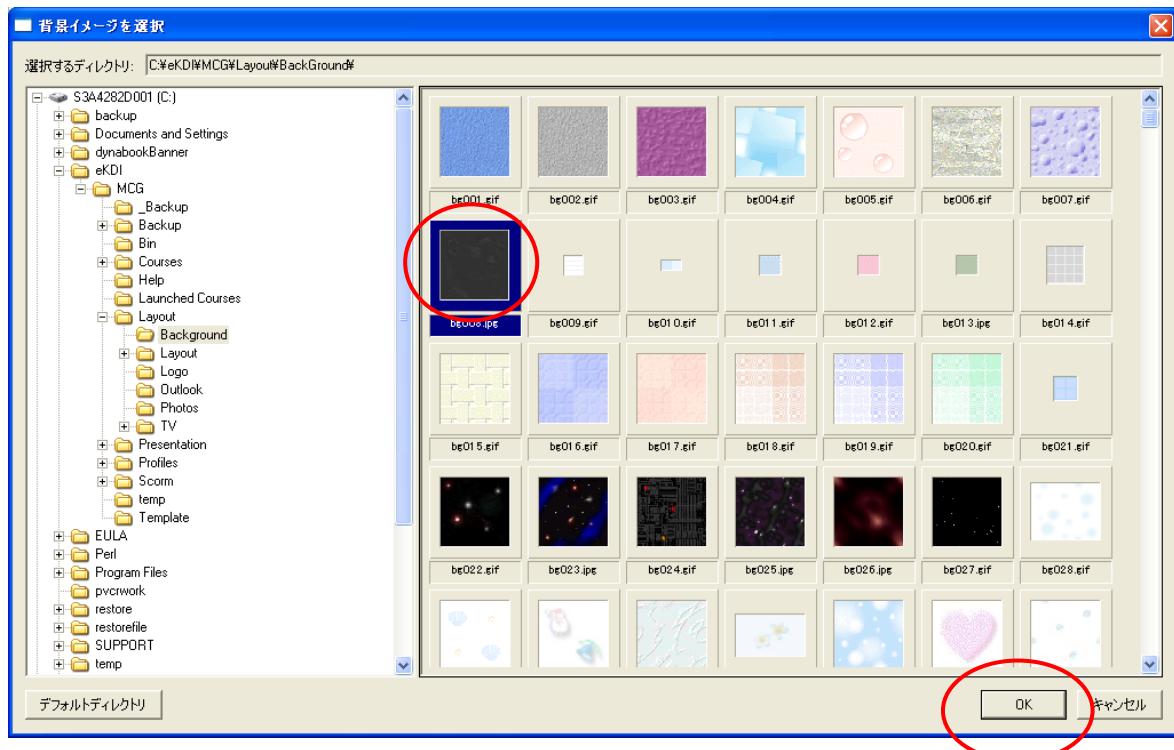


- 左側領域の【背景イメージ】を選択し、背景イメージをダブルクリックするか、右クリックして【変更】を選択し、「背景イメージを選択」ウィンドウを開きます。使用するイメージを選択し【OK】ボタンを押して設定を完了します。

①



②



6. 左側領域の【TV イメージ】を選択し、TV イメージをダブルクリックするか、右クリックして【変更】を選択し「TV イメージを選択する」ウィンドウを開きます。使用するイメージを選択し【OK】ボタンを押して設定を完了します。

①



②

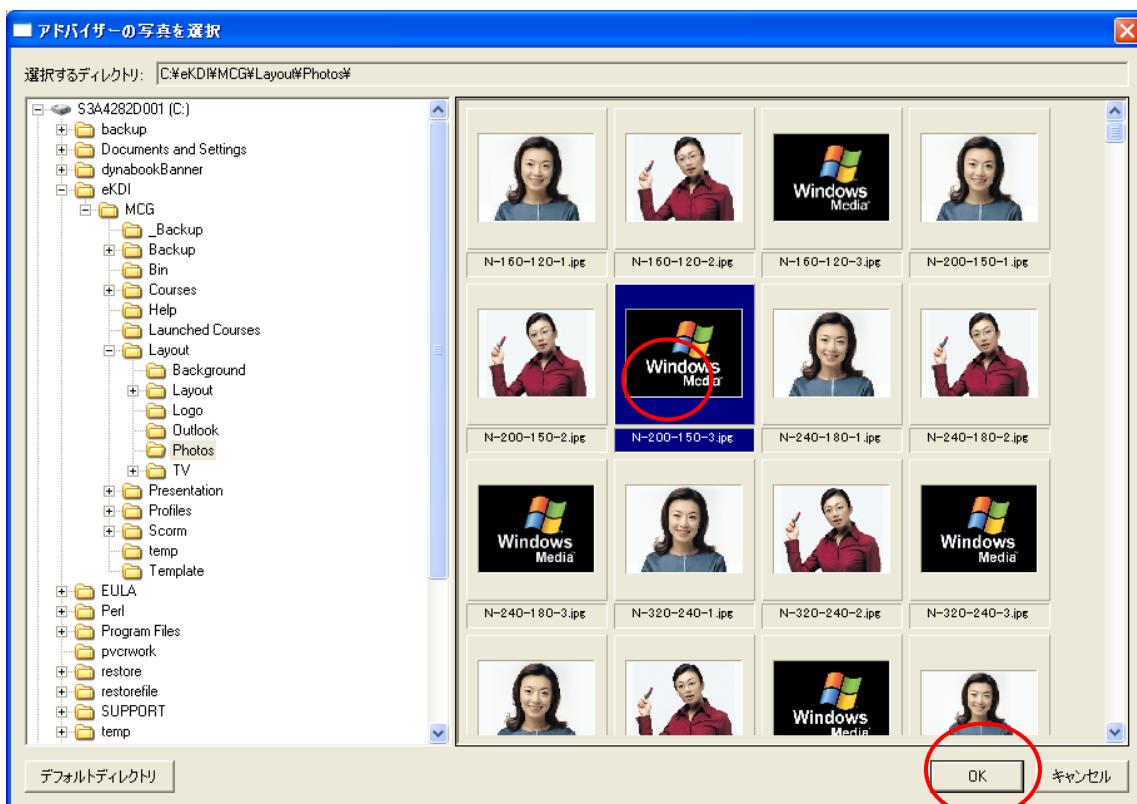


7. 左側領域の【アドバイザーの写真】を選択し、アドバイザーの写真をダブルクリックするか、右クリックして【変更】を選択し、「アドバイザーの写真を選択」ウィンドウを開きます。使用する写真を選択し【OK】ボタンを押して設定完了します。

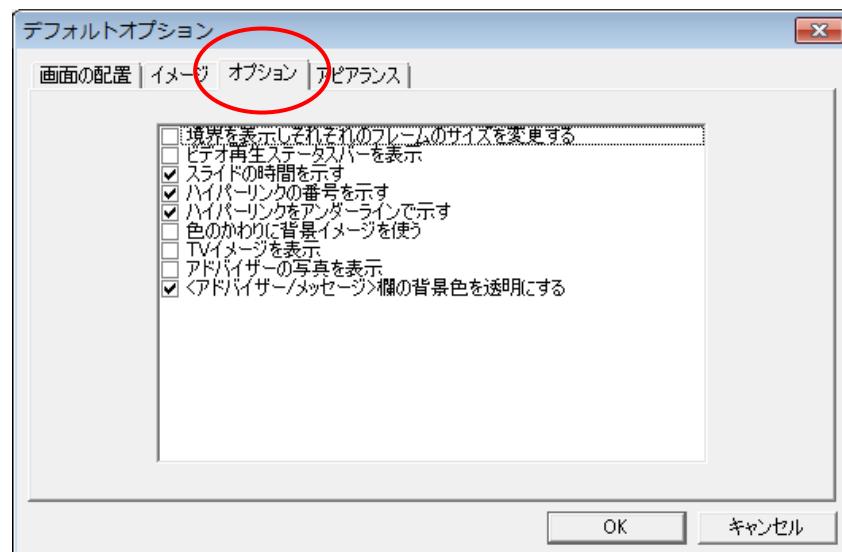
①



(2)



8. [オプション]タブを選択し、使用する機能を選択します。



名称	説明
境界を表示してそれぞれのフレームのサイズを変更する	ビデオ・オーディオエリア、コンテンツメニューエリア、スライドエリア及びロゴエリアを枠で囲み、サイズ変更可能にします。
ビデオ再生ステータスバーを表示	ビデオ・オーディオエリアにビデオ再生ステータスバーを表示します。
スライドの時間を示す	ハイパリンクメニューにスライドごとの再生時間情報を付加します。
ハイパリンクの番号を示す	ハイパリンクメニューに通し番号を付加します。
ハイパリンクをアンダーラインで示す	ハイパリンクメニューにアンダーラインを付加します。
色のかわりに背景イメージを使う	背景に色ではなく、画像を表示します。
TV イメージを表示	ビデオ・オーディオエリアに TV イメージ画像を使用します。
アドバイザーの写真を表示	ビデオ/オーディオ画面に写真を表示します。
<アドバイザー/メッセージ>欄の背景色を透明にする	<アドバイザー/メッセージ>文字を背景色なしで表示します。

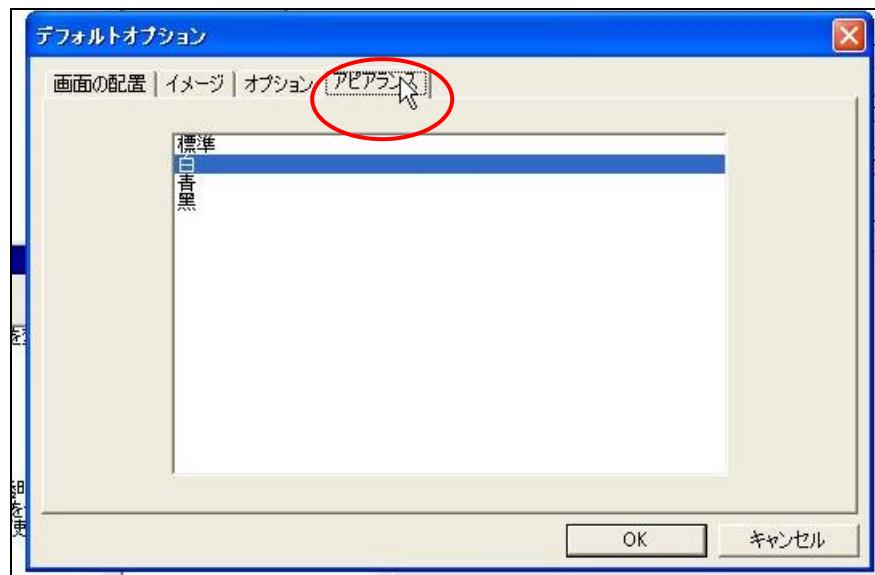


外観の設定について

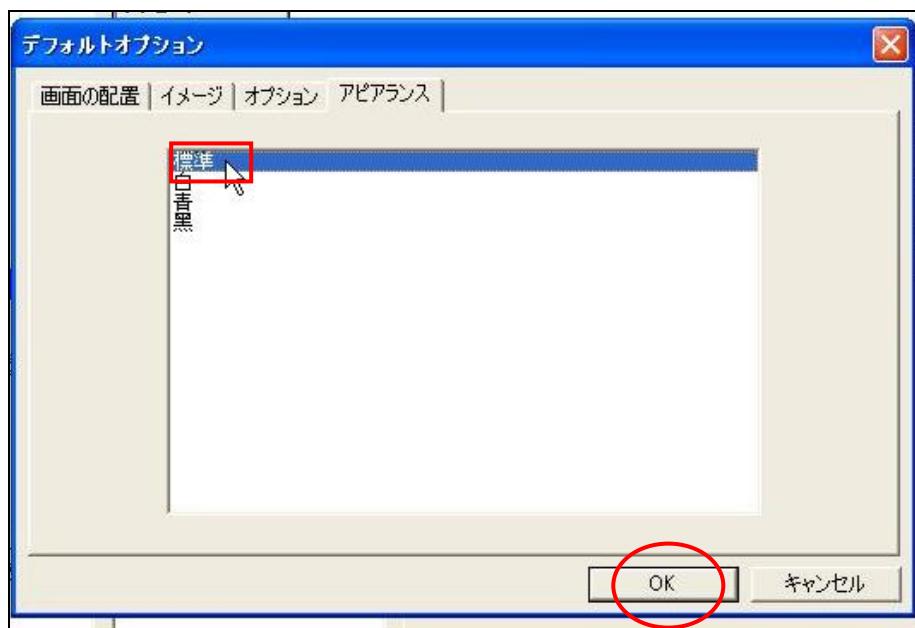
より詳細な設定情報については、第 8 章 コースのアピアランス設定をご覧ください。

9. 【アピアランス】タブを選択し、背景色を選びます。使用するアピアランスを選択して【OK】ボタンを押し設定を完了します。

①



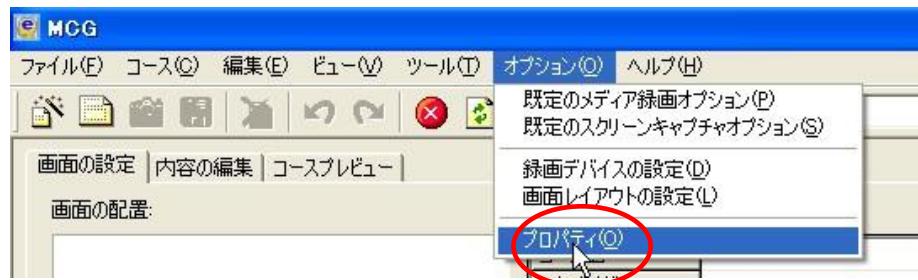
②



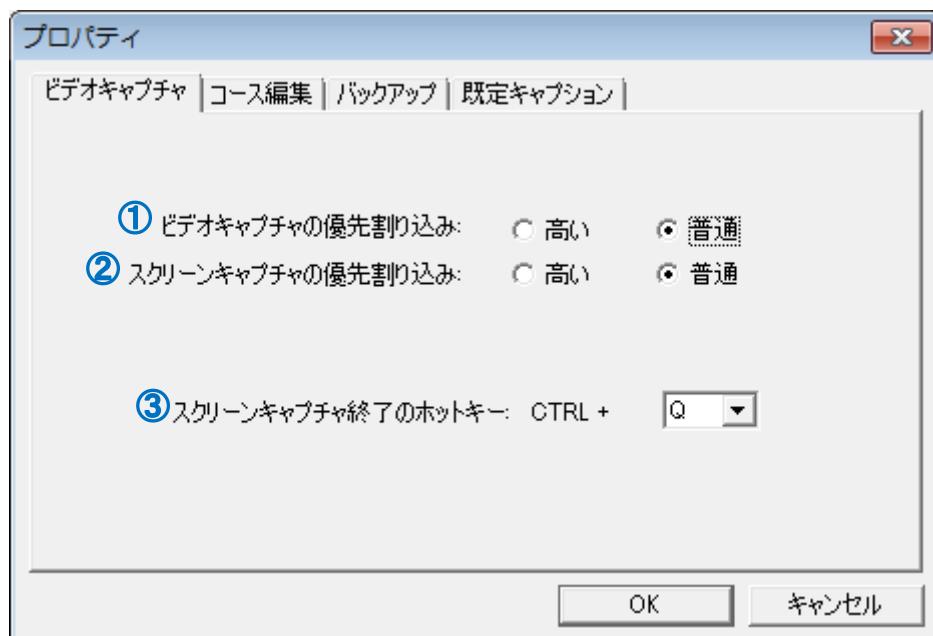
第5節 プロパティの設定

必要に応じてその他の設定をします。

- メニュー【オプション】→【画面レイアウトの設定】を選択し、「プロパティ」ウィンドウを開きます。

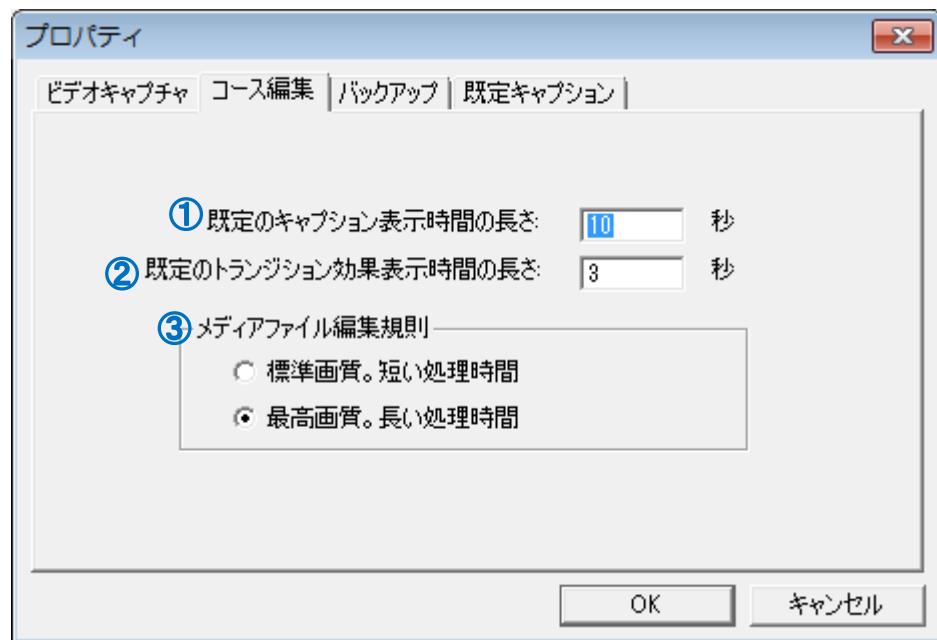


- 【ビデオキャプチャ】タブ内の項目を設定します。各項目の機能は以下の通りです。
設定後、【OK】ボタンをクリックして設定を完了します。



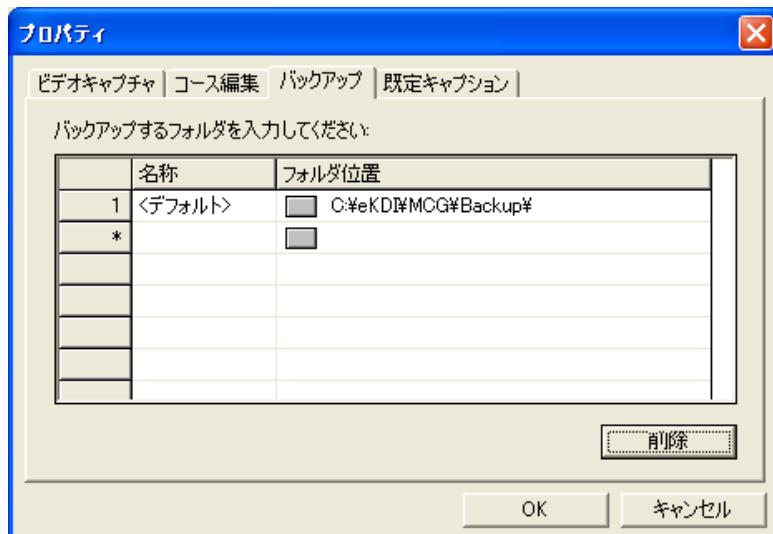
番号	項目	説明
①	ビデオキャプチャ優先の割り込み	【高い】を選択すると、ビデオキャプチャ時のプロセス優先度が上がる
②	スクリーンキャプチャ優先の割り込み	【高い】を選択すると、スクリーンキャプチャ時のプロセス優先度が上がる
③	スクリーンキャプチャ終了のホットキー	設定したキーの組み合わせで、スクリーンキャプチャを終了する ※使用時は、スクリーンキャプチャツールバーを表示させてください

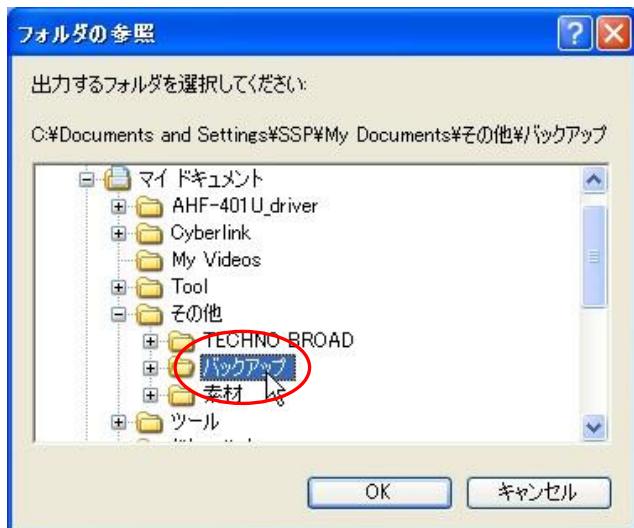
3. 【コース編集】タブ内の項目を設定します。各項目の機能は以下の通りです。



番号	項目	説明
①	既定のキャプション表示時間の長さ	動画編集の際、キャプションを挿入したときに反映される表示時間のデフォルト値
②	既定のトランジション効果表示時間の長さ	動画編集の際、トランジション効果を挿入したときに反映される表示時間のデフォルト値
③	メディアファイル編集規則 ・標準画質。短い処理時間 ・最高画質。長い処理時間	デフォルト値は、「最高画質。長い処理時間」です。デフォルト値のままお使いください。

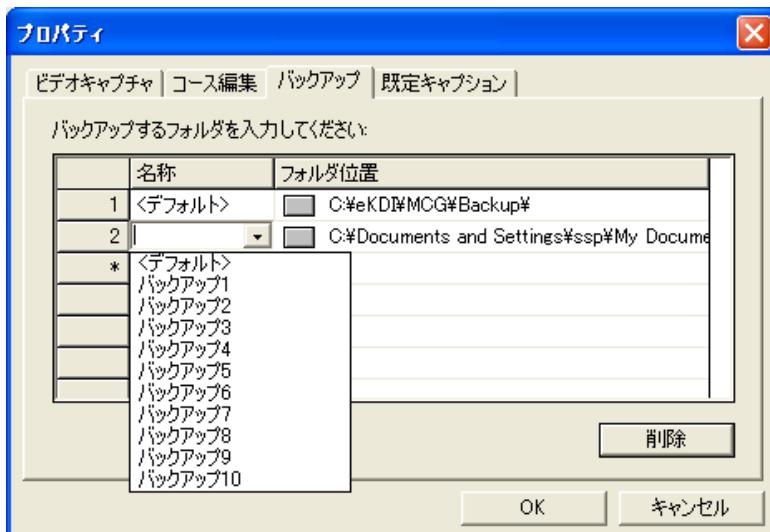
4. 【バックアップ】タブ内の項目を設定します。設定したフォルダは、メニュー【ファイル】→【複数コースのバックアップ】でバックアップ先となるフォルダになります。





②

任意のフォルダを選択して【OK】ボタンをクリックします。



③

フォルダを選択した後、
【名称】列から名前を選択
します。直接入力すること
もできます。

※ ネットワークドライブを
指定するときはアクセス権
限があるフォルダを設定し
てください。

5. 【既定キャプション】タブ内の項目を設定します。この設定は、コンテンツ編集時、【キ
ャプションの挿入】を行う際の規定値になります。



【キャプションの挿入】に
ついては、第 11 章 第 1
節 ビデオ・オーディオの
編集 (8)字幕(キャプショ
ン)の追加をご覧くださ
い。

番号	項目	説明
①	スタイルと色	キャプションのフォント
②		キャプションの文字サイズ
③		キャプションの文字をボールド体にする
④		キャプションの文字をイタリック体にする
⑤		キャプションの文字にアンダーラインを付ける
⑥		キャプションの文字色
⑦		キャプションの背景を透明色にする
⑧		キャプションに背景色を適用する
⑨		キャプションの背景色
⑩	位置	ビデオ画面内の上部にキャプションを表示
⑪		ビデオ画面内の垂直方向中部にキャプションを表示
⑫		ビデオ画面内の下部にキャプションを表示
⑬		ビデオ画面左端からのオフセット
⑭		ビデオ画面内の左部にキャプションを表示
⑮		ビデオ画面内の水平方向中部にキャプションを表示
⑯		ビデオ画面内の右部にキャプションを表示
⑰		ビデオ画面下端からのオフセット

第6節 Windows Vista/7/8 におけるスクリーンキャプチャ使用のため

の設定

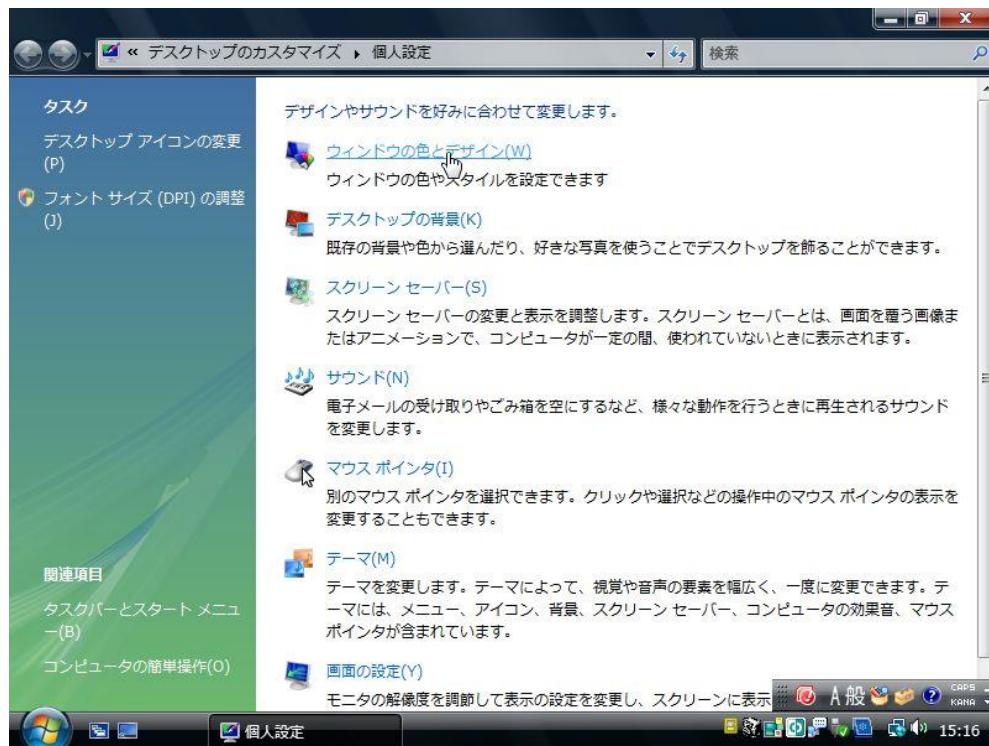
Windows Vista/7/8で収録での描画パフォーマンスを最大限生かすために画面の設定を行います。**Windows8 では本機能は使用できません。**

WindowsVista の場合

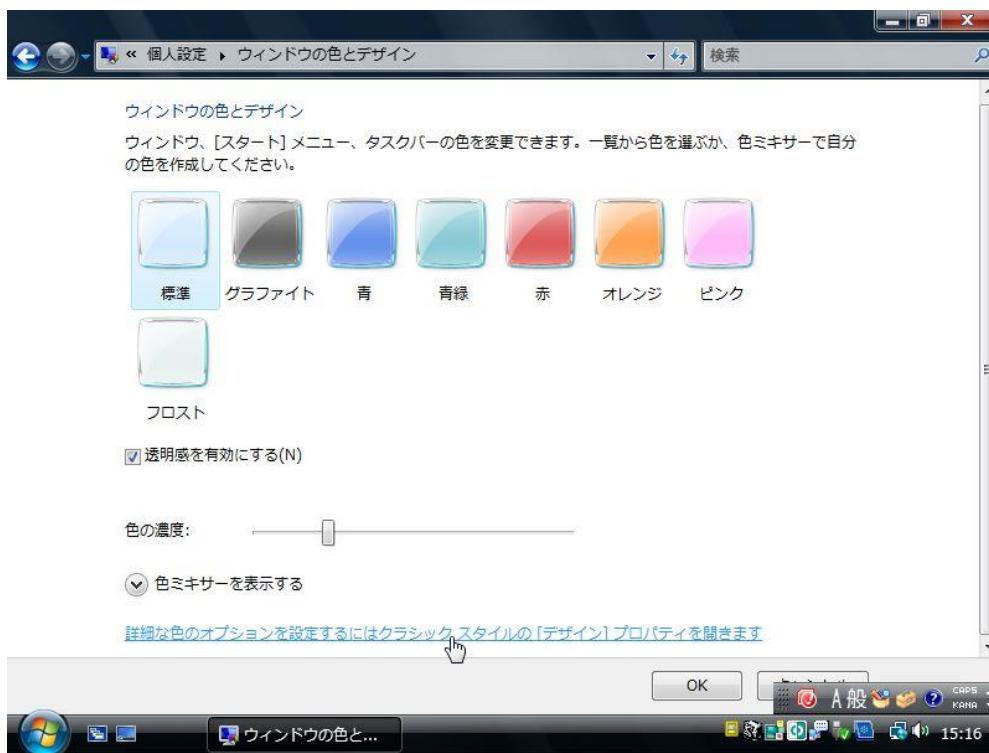
1. デスクトップ上を右クリックして、ポップアップメニューの「個人設定」を選択します



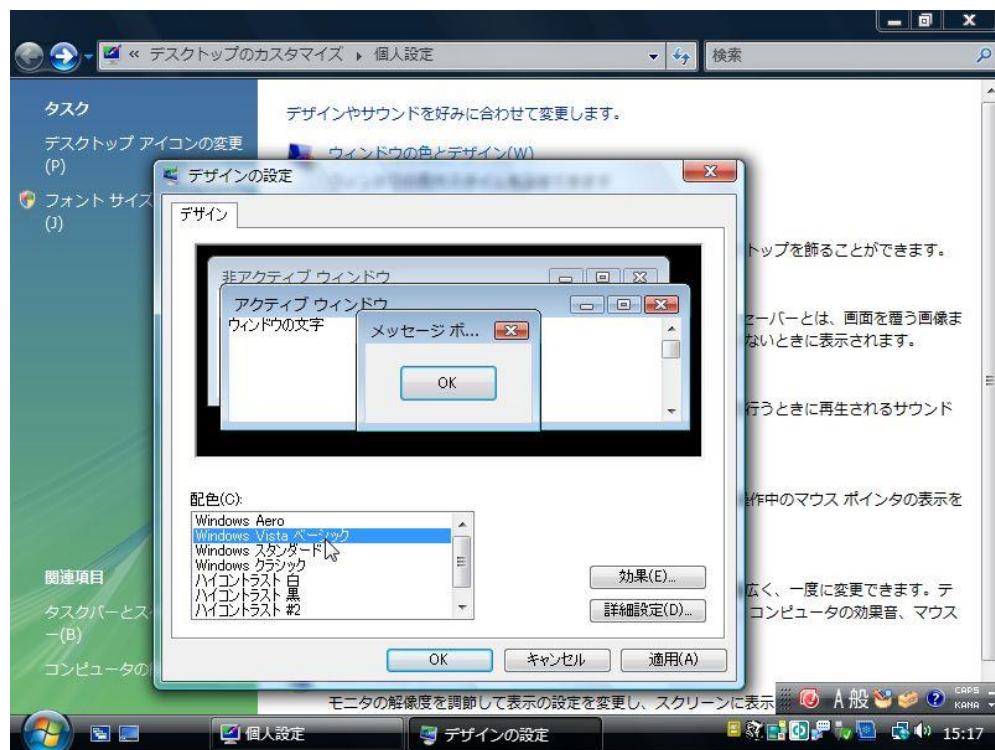
2. 「ウィンドウの色とデザイン」を選択します



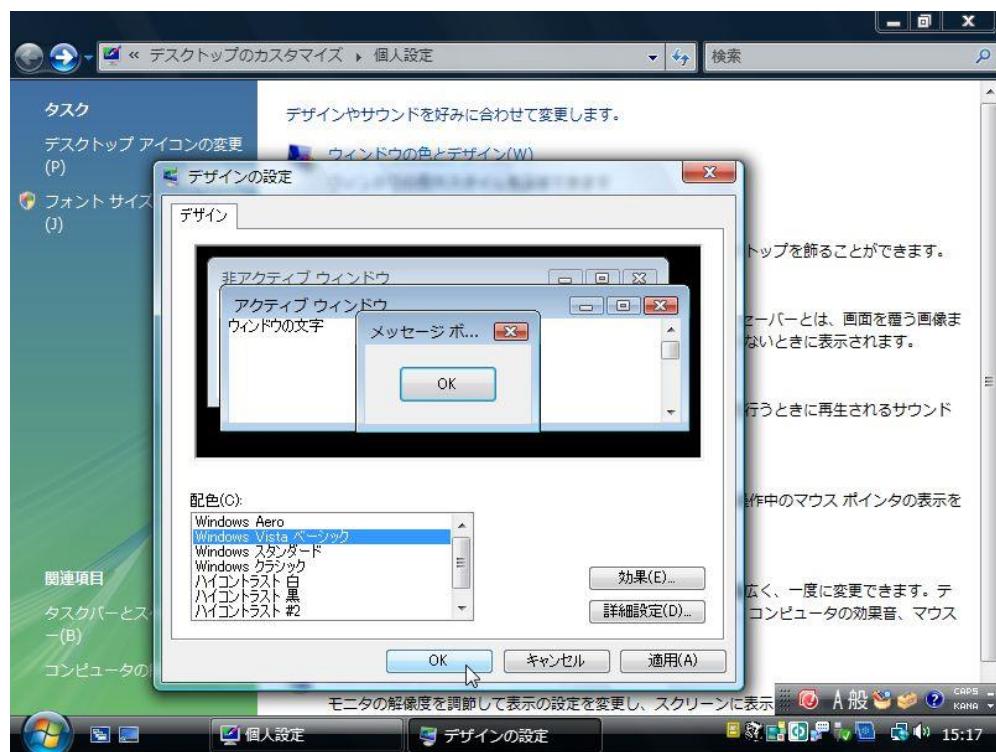
- 下部に表示される「詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの[デザイン]プロパティを開きます」を選択します



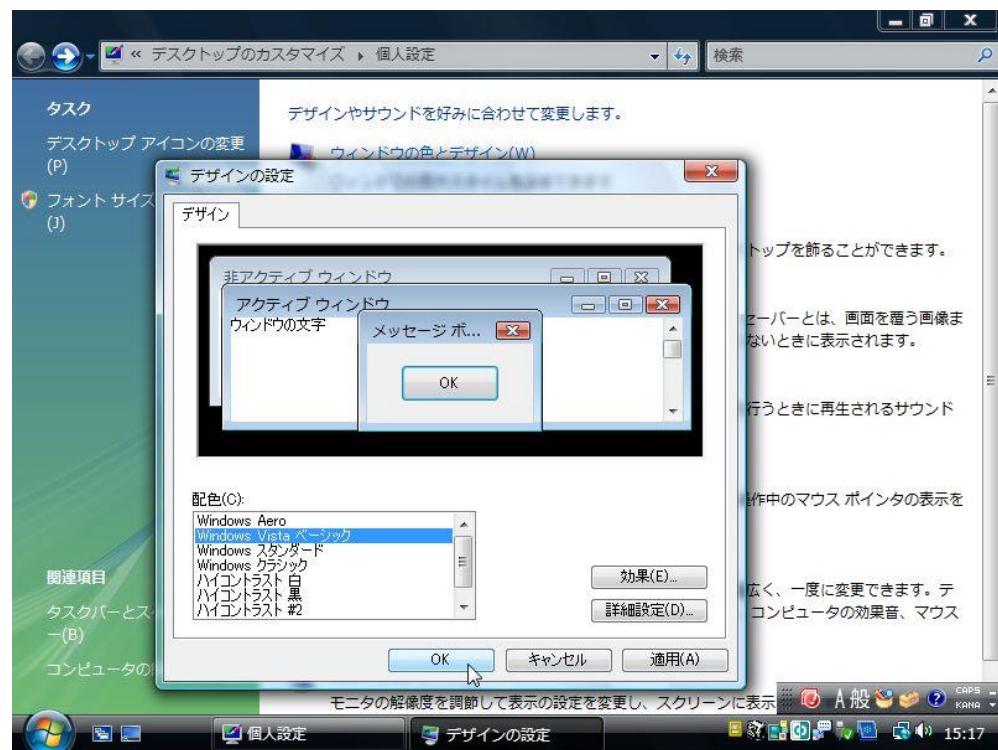
- 下部に表示される「詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの[デザイン]プロパティを開きます」を選択します



- OKボタンを押して設定を反映させます

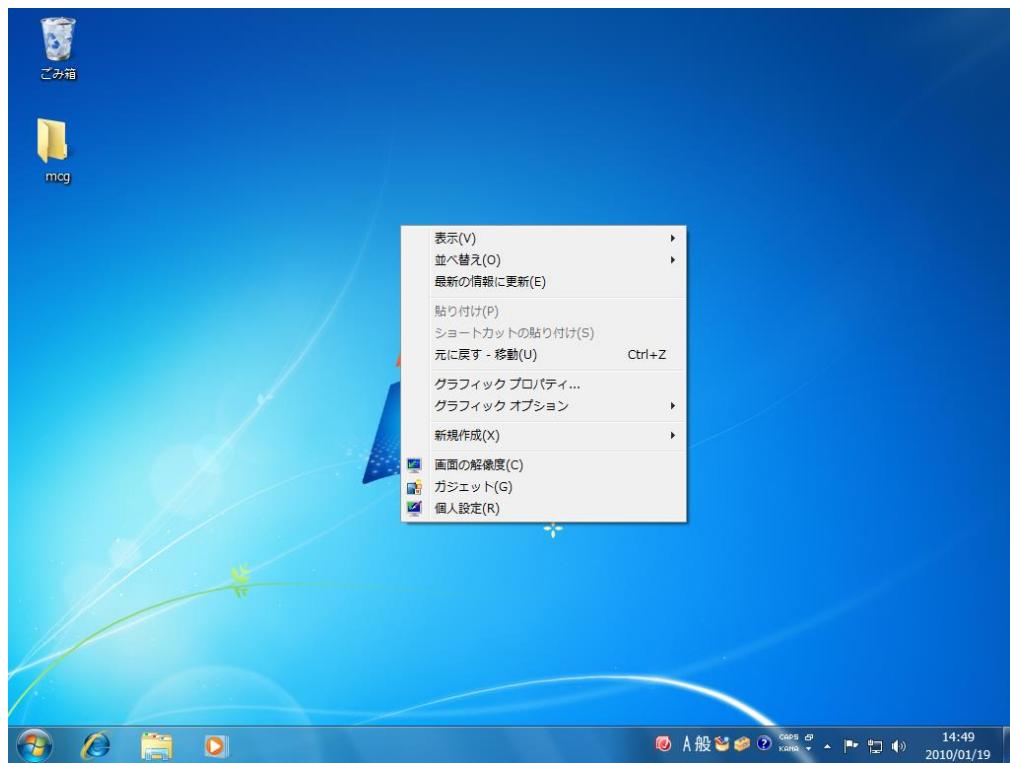


6. OK ボタンを押して設定を反映させます



Windows7/8 の場合

1. デスクトップ上を右クリックして、ポップアップメニューの「個人設定」を選択します



2. Windows7 の場合、ベーシックテーマから「Windows7 ベーシック」などの Aero テーマ以外のテーマを選択します。

Windows8 の場合、「デスクトップの背景: 単色」「色: 自動以外」を選択します。



以上で Windows Vista/7/8においてディスプレイの設定が完了です。

第4章 MCGPro のコントロールパネル

本章では、MCGPro のコントロールパネル(ツールバー、ビデオ・オーディオレコーダーパネル、スクリーンキャプチャコントロール及びコンテンツ編集のコントロールパネル)について説明します。

第1節 ツールバー



アイコン	説明
	ガイダンス機能でコースを作成
	新規コース
	録画コース
	ビデオ・オーディオファイルの保存
	現在のコースの削除
	前の動作の取消

アイコン	説明
	前の動作の繰り返し
	停止
	再読み込み
	Internet Explorer の起動(プレビュー)
	コースアップローダー

第2節 ビデオ・オーディオレコーダーパネル



アイコン	説明
	録画モードを終了します
	画面のプレビュー
	録画
	録画停止
	最初のページのスライドへ
	前のページのスライドへ
	次のページのスライドへ
	最後のページのスライドへ

アイコン	説明
	選んだスライドへスキップ
	表示したいスライド番号を入力する
	ズームインの追加
	ズームアウトの追加
	スクリーンキャプチャモードに切り替え
	録画時間
	録画状態の表示 録画していない - 緑、録画中 - 赤

第3節 WMV レコードコントロールパネル



アイコン	説明
	WMV 録画を終了し、保存する
	画面のプレビュー
	録画
	録画停止

00:00:00	録画時間
アイコン	説明
	録画状態の表示: 録画していない - 緑 録画中 - 赤

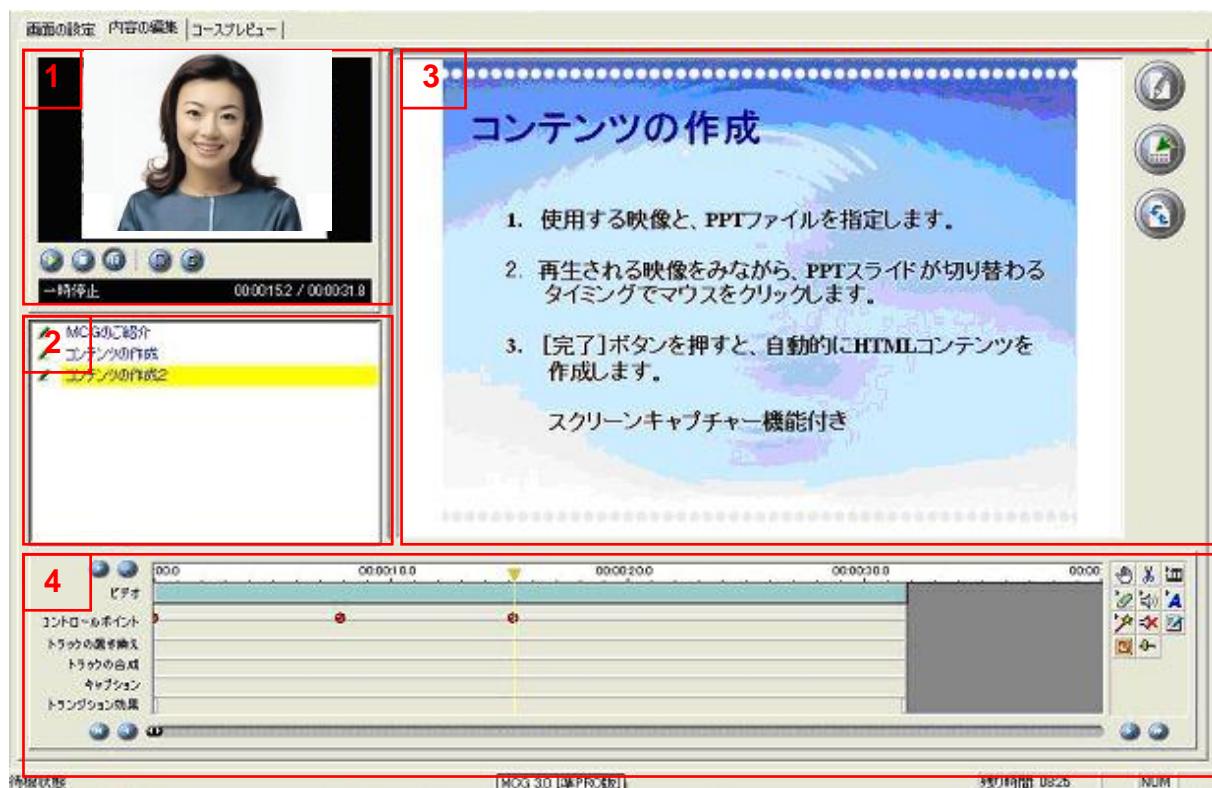
第4節 スクリーンキャプチャコントロールパネル



アイコン	説明	アイコン	説明
	スクリーンキャプチャを終了し、ビデオ・オーディオファイルを保存する		ビデオ・オーディオ録画モードに切り替え (メニュー→【ツール】→【スクリーンキャプチャ】から起動した時は使用できません)
	スクリーンキャプチャの録画を開始		録画時間 00:00:00
	スクリーンキャプチャの録画を停止する		録画状態の表示: 録画していない - 緑 録画中 - 赤

第5節 コンテンツ編集コントロールパネル

コンテンツ編集コントロールパネルは、ビデオ・オーディオエリア、コンテンツメニュー
エリア、スライドエリア及び編集操作エリアの 4 つのエリアからなっています。



1. ビデオ・オーディオエリア:

ビデオ・オーディオファイルの基本的操作、スクリーンキャプチャ及び関連情報の表示切り替えができます。

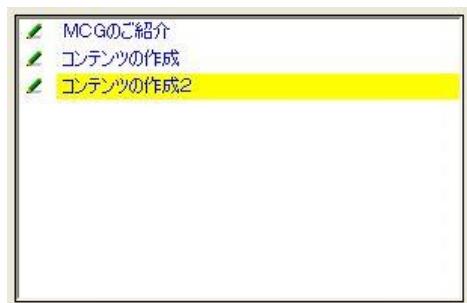


アイコン	説明
再生	
停止	
一時停止	

アイコン	説明
目	WMV ファイルの関連情報を表示する
保存	キャプチャした映像を画像として保存する

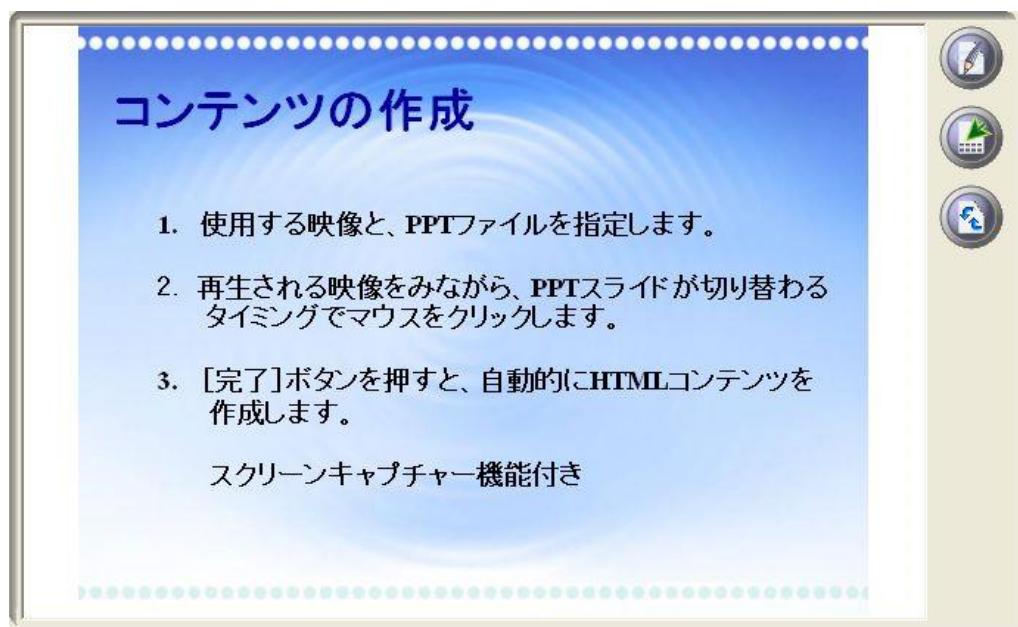
2. コンテンツメニューエリア:

スライドメニューの表示、また、左端の鉛筆マークをクリックすると編集ができます。



3. スライドエリア:

スライドの関連情報を表示し、スライドの編集・交換ができます。また編集後、最新のスライドをビデオ・オーディオファイルと同期処理します。



アイコン	説明
	PowerPoint を起動し、スライドの編集
	PowerPoint ファイルの交換
	新規 PowerPoint ファイルで改めてメニューとスライドを作成

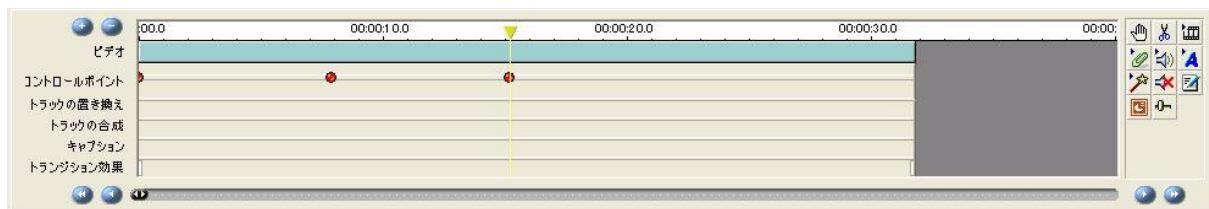


各ボタンの詳細な説明は

さらに詳細な機能の説明については、「第 11 章 コンテンツの編集 第 3 節 PowerPoint スライドの編集」をご覧ください。

4. 編集操作エリア:

動画、サウンドの編集、合成または効果の追加、コントロールポイントの付加などができます。



アイコン	説明
	ルーラーをズームイン
	ルーラーをズームアウト
	前のページ

アイコン	説明
	前の一秒
	次の一秒
	次のページ

アイコン	説明
	スライダー・バー。カーソルを動かすことで編集エリアの移動ができる。

コントロールポイント

アイコン	説明
	スライド。MCGPro で変換された html ファイルを表す。
	アニメーションを含むスライド。MCGPro で変換された html を表す。
	Web ページ。PowerPoint とは独立して挿入された html を表す。
	デモ。スクリーンキャプチャをアタッチすることができる。
	ズームイン。ビデオをスライドエリアで再生する。
	ズームアウト。ズームインの解除を行う。

編集ツールバー

アイコン	説明
	操作ブロックを定義
	削除ゾーンのマーク
	ビデオフレームの挿入/置き換え
	コントロールポイントを追加
	音声ファイルを追加
	キャプションを追加
	トランジション効果を追加
	一部のビデオフレームをミュートする
	コントロールポイントの編集
	スライドコントロールポイントを設定
	音声とビデオの調整



第5章 コースの録画

ツールバー及びドロップダウンメニューから「ガイダンス機能でコースを作成」作業が選択できます。



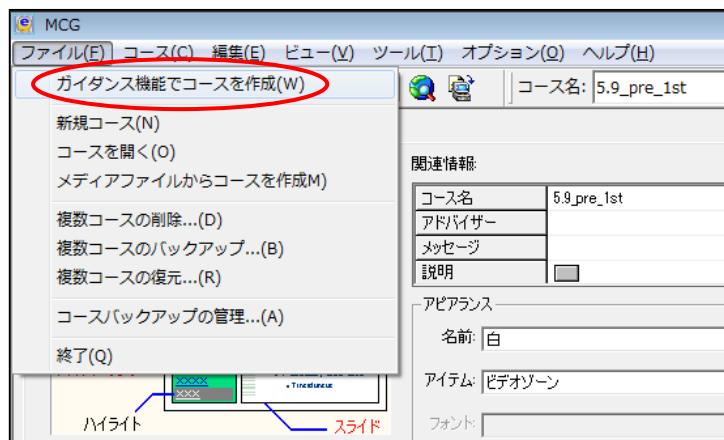
PowerPoint のバージョンについて

実際の作業に入る前に、コースの作成に使用する「プレゼンテーションファイル」を作成した PowerPoint のバージョンと、MCGPro を導入したパソコンにインストールされている PowerPoint のバージョンを確認してください。

MCGPro を導入したパソコンにインストールされている PowerPoint のバージョンが、コースの作成に使用する「プレゼンテーションファイル」を作成した PowerPoint より以前のバージョンだと、正常にコースを生成できない可能性があります。

1. 「新規コース」ウィンドウを開きます。

「メニュー」
メニュー【ファイル】から
【ガイダンス機能でコースを作成】を選択します。



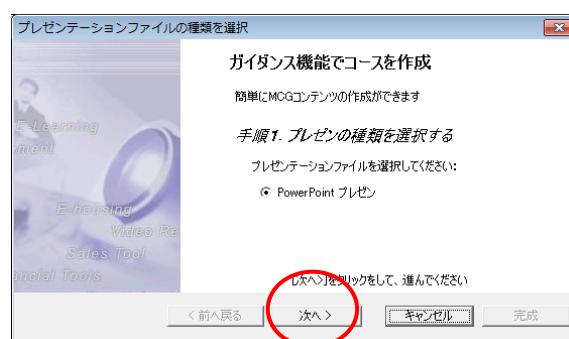
「ツールバー」
【ツールバー】にある【ガイダンス機能でコースを作成】ボタンをクリックすることでも同様に開くことができます。



2. コースの録画設定をします。

①

【プレゼンテーションのファイルの種類を選択】ウィンドウにて【次へ】を選択します。



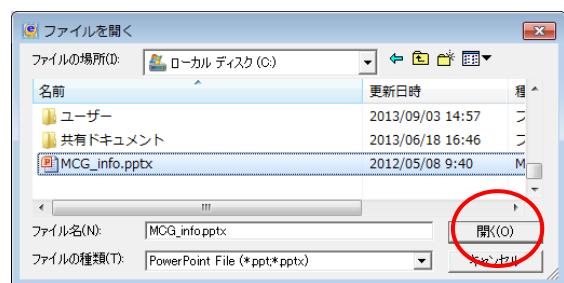
②

フォルダのアイコン「」をクリックしてファイル選択ウィンドウを開きます。



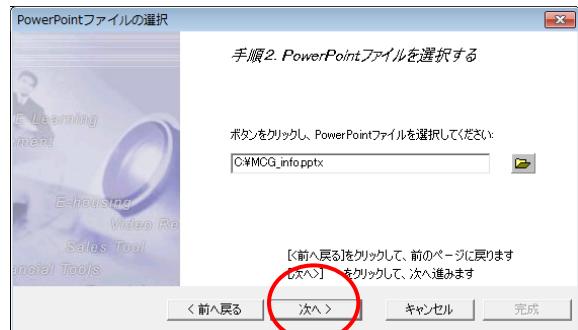
③

ご使用になるPowerPointファイルを選択し、【開く】をクリックします。



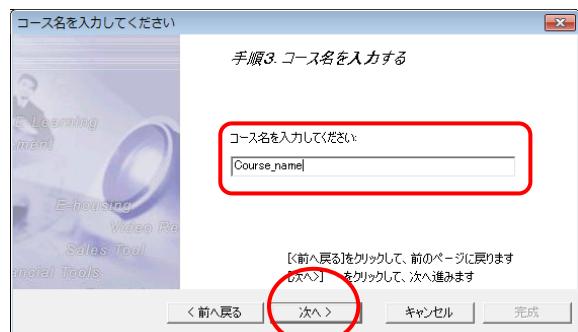
④

ファイルパスが表示されたのを確認して【次へ】をクリックします。



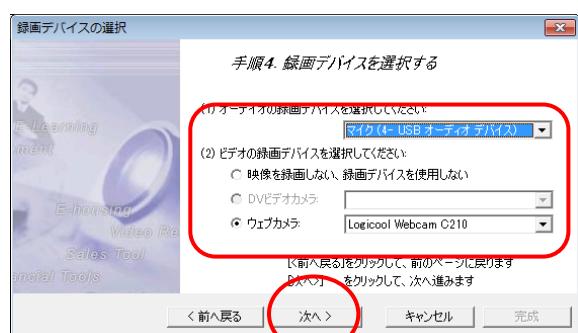
⑤

任意にコース名を入力し、【次へ】をクリックします。



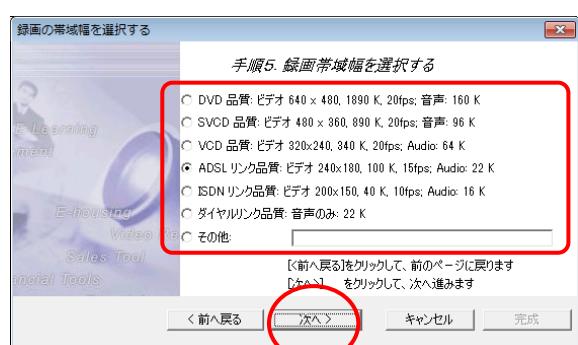
⑥

録画に使用する入力デバイスを選択し【次へ】をクリックします。



⑦

録画する際の録画帯域幅を選択し、【次へ】をクリックします。



⑧

出力するコンテンツのレイアウトを決めます。

変更しない場合は【次へ】をクリックします。

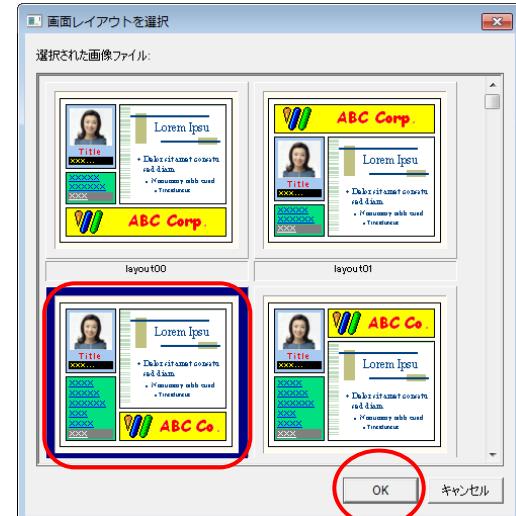
変更する場合は中央の画像をダブルクリックします。



⑨

手順⑧にて画像をダブルクリックすると右画像のようなウインドウが開きます。使用したいレイアウトをクリックし【OK】をクリックします。

手順⑧のウインドウが表示されるので【次へ】をクリックします。



⑩

外観及びテレビフレームを選択します。

【外観】は背景の色を選択します。

【サイズ】は録画動画の解像度を選択します。

中央左の画像はダブルクリックし、テレビイメージを選択します。

選択を終了したら【完成】をクリックします。

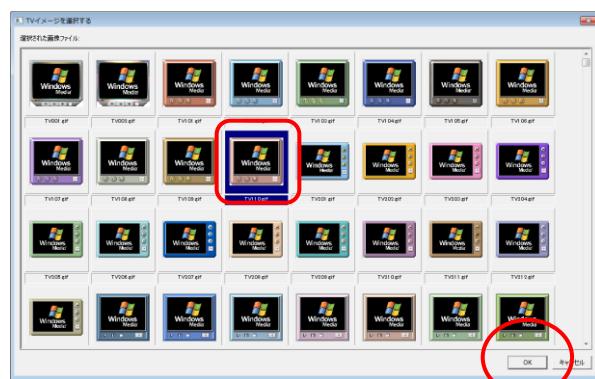


⑪

手順⑩にて画像をダブルクリックすると右の画像のようなウインドウが開きます。

使用したいテレビイメージをクリックし【OK】をクリックします。

手順⑩のウインドウが表示されるので【完成】をクリックします。



3. 「プレビュー」ウィンドウが自動で開きます。必要に応じて録画デバイスのフォーカスを調整します。



4. 【録画】ボタンを押して、タイマー及び録画インジケータをチェックします。タイマーがカウントを始め、インジケータが点滅すれば、録画していることを表します。

①録画前



②録画中



5. 録画ツールバーの紹介



アイコン	説明	アイコン	説明
	録画を終了し、コースを作成する		表示したいスライド番号を入力する
	画面のプレビュー		ズームインの追加
	録画		ズームアウトの追加
	録画停止		スクリーンキャプチャモードに切り替え
	最初のページのスライドへ		録画時間
	前のページのスライドへ		録画状態の表示 録画していない-緑、 録画中-赤、一時停止-オレンジ
	次のページのスライドへ		
	最後のページのスライドへ		
	選んだスライドへスキップ		



カメラの電源オートオフ機能の注意



収録画面に遷移後にカメラからの信号が届いていない状態で収録を開始すると、上のようなダイアログが表示されることがあります。これは、カメラからの入力信号がパソコンへ届いてないことが原因です。

- ・ カメラ-PC間接続ケーブルの接触不良
- ・ カメラの電源が OFF

以上のようなことが考えられます。特に、最近のカメラには電源オートオフ機能が多用されていますので、可能なら電源オートオフが働かないように設定して収録に臨んでください。



スクリーンキャプチャの操作方法

詳細な操作法については、「第 14 章 スクリーンキャプチャツール」を合わせてご覧ください。

6. 最後のスライドに来たときに【次ページのスライドへ】を押すと、録画の停止を確認する「確認ダイアログ」が開きます。【はい】を押します。

①

最後のスライドで【次ページのスライドへ】をクリック



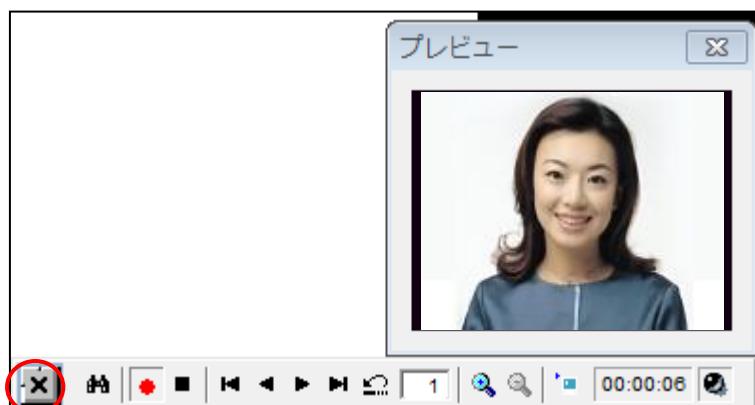
②

録画を停止する場合は【はい】をクリックし録画を停止します。



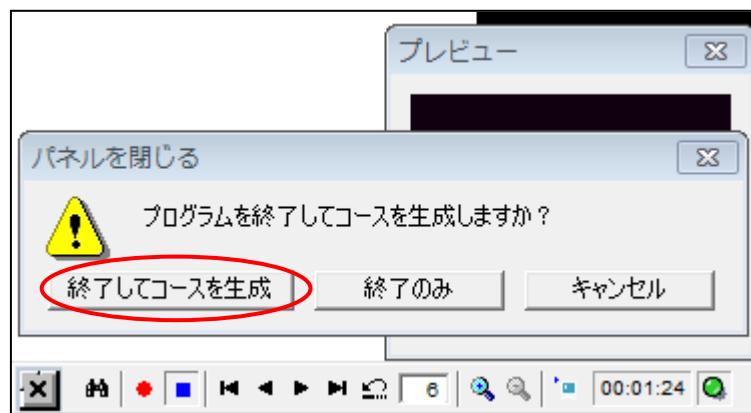
7. 【閉じる】ボタン

を押して録画を終了すると、コースを生成するか問い合わせる確認ダイアログが表示されます。



8. 【終了してコースを生成】ボタンをクリックすると、コースの生成が行われます。

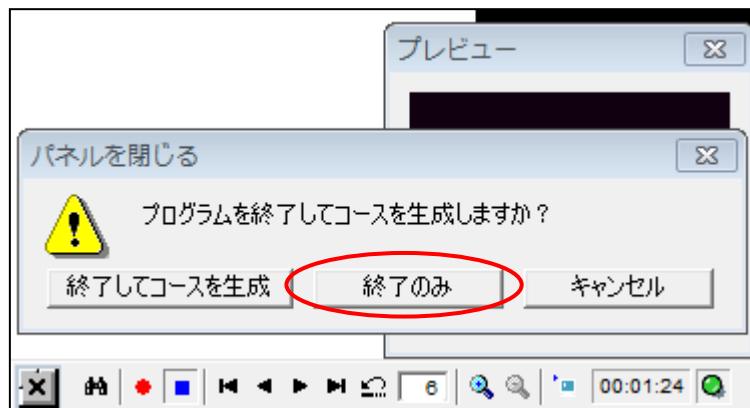
①



②コースの作成がはじまります。



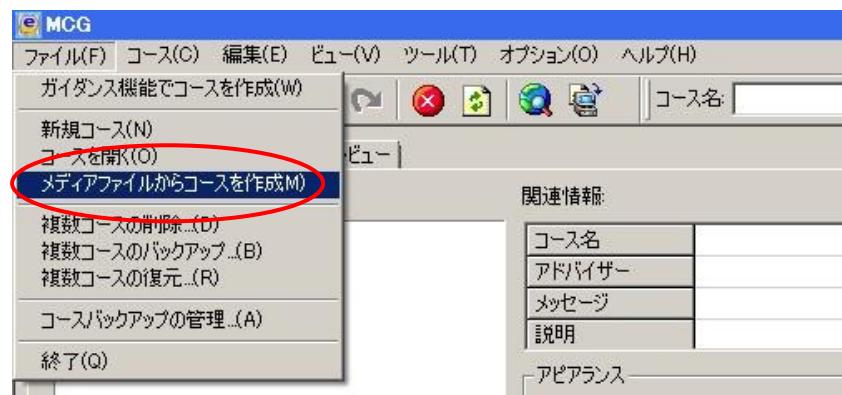
9. 【終了のみ】ボタンをクリックしたときは、コースを生成せずに MCGPro に戻ります。
コースは生成されません。



第6章 ビデオ・オーディオファイルからコースを作成

メニュー【メディアファイルからコースを作成】により、予め録画したビデオ・オーディオファイルと PowerPoint ファイルを同期させ、コースを作成することができます。

1. メニュー【ファイル】→【メディアファイルからコースを作成】を選択すると、「メディアファイルから新規コース作成」ウィンドウが開きます。

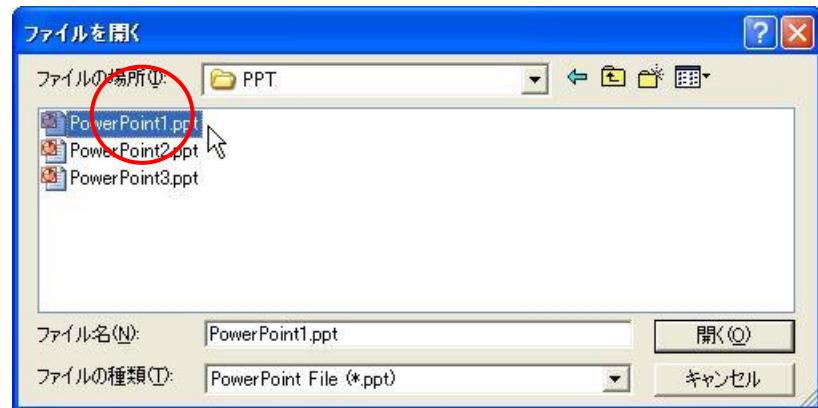


2. PowerPoint ファイルを選択します。

①
フォルダアイコンボタンをクリックして「ファイルを開く」ウィンドウをひらきます。



②
プレゼンテーションファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。



3. WMV ファイルを選択し任意のコース名を入力してから「メディアファイルから新規コース作成」ウィンドウの【OK】ボタンをクリックします。コースの生成が開始されます。

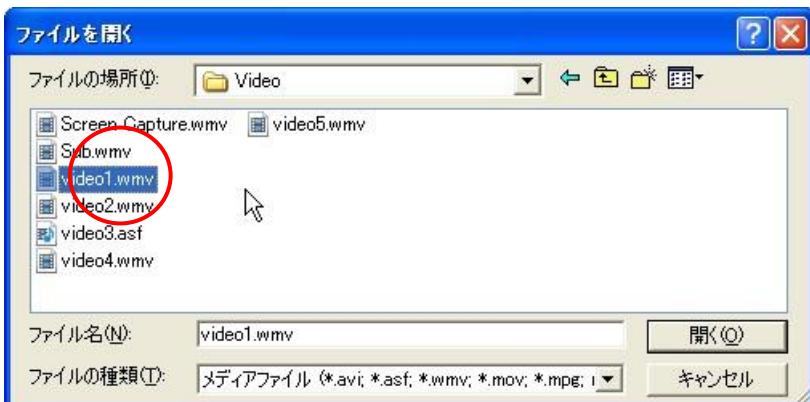
①

フォルダアイコンボタンをクリックして「ファイルを開く」ウィンドウを開きます。



②

メディアファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。

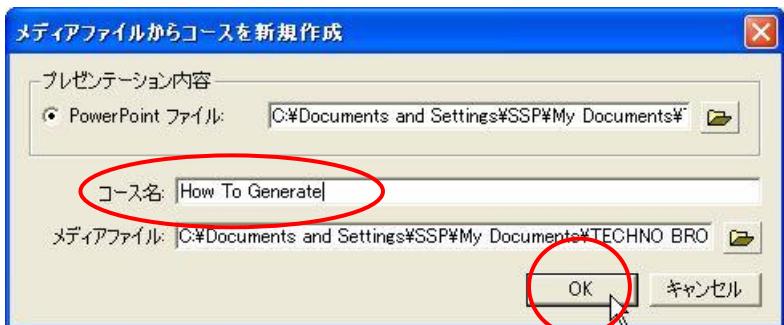


《ご注意》 選択するメディアファイルについて

MCGPro で作成したコンテンツのコースフォルダにある WMV ファイルは選択しないでください。使用した場合、正常なコンテンツが作成されないことがあります。

③

【コース名】を入力し、【OK】ボタンをクリックします。



④

プレゼンテーションファイルと、メディアファイルの変換が始まります。

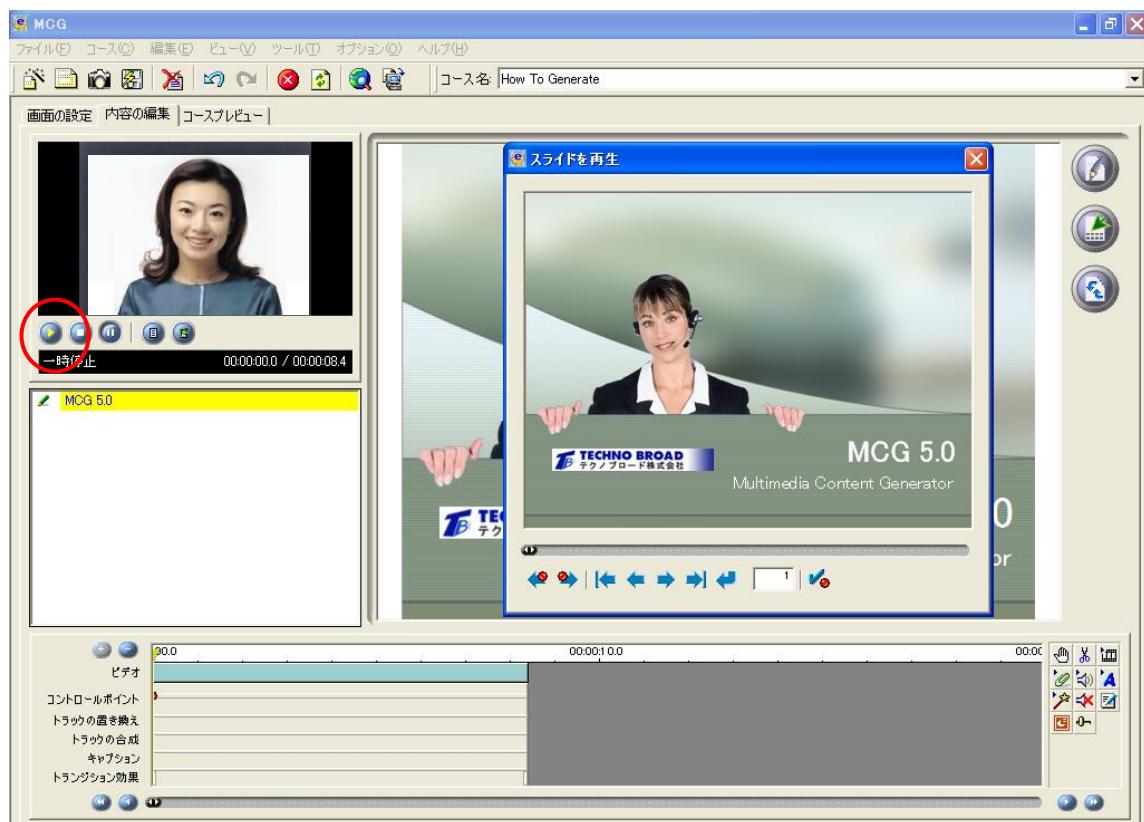


⑤

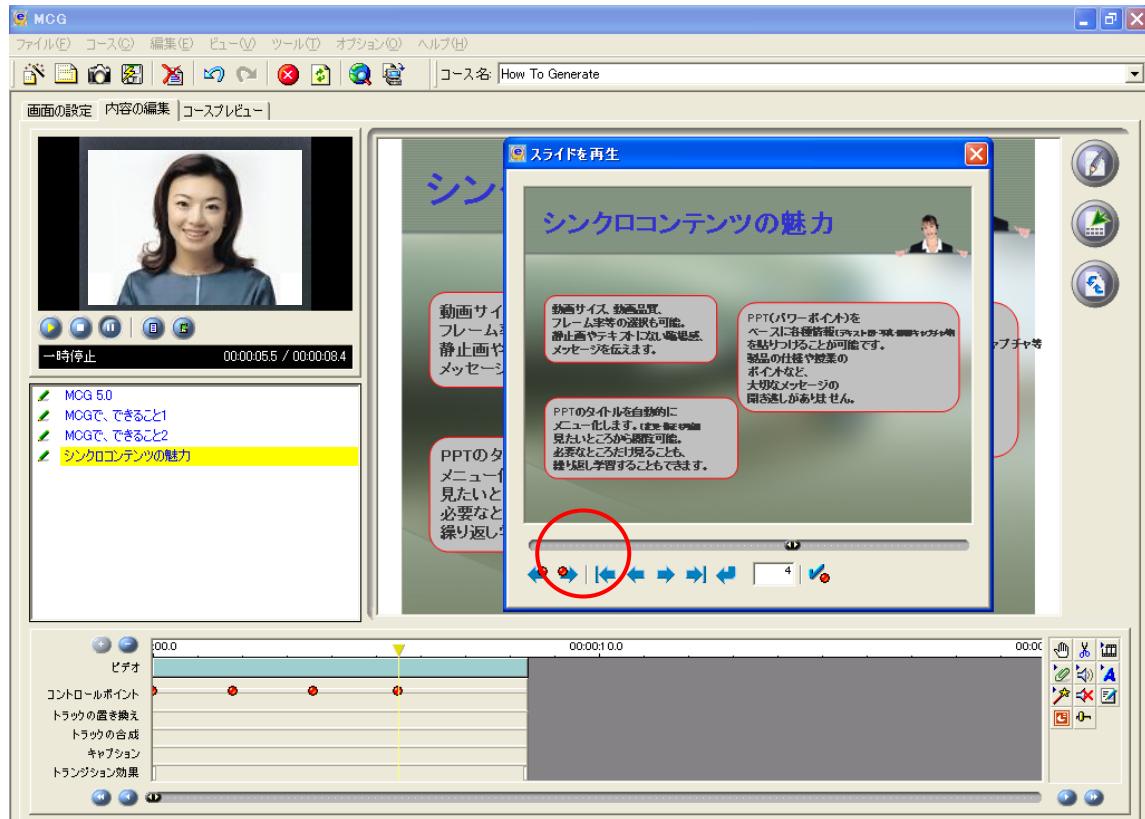
変換が完了しました。次に進みます。



4. 【再生】ボタンをクリックします。



5. 動画の進み具合に従って、必要なボタンを押してコントロールポイントを追加します。



6. 「スライドを再生」ウィンドウの説明



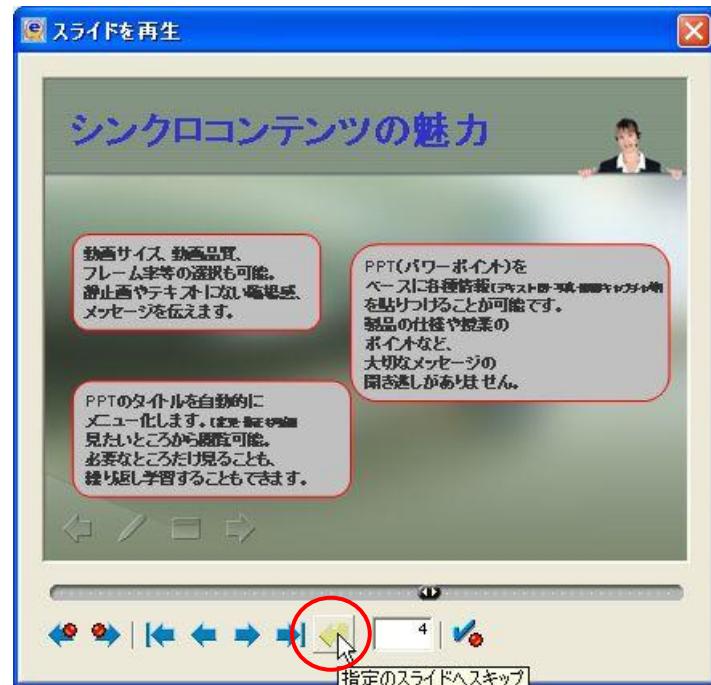
アイコン	説明
	タイムラインにコントロールポイントを追加して、ひとつ前のスライドにスキップします。
	タイムラインにコントロールポイントを追加して、ひとつ後のスライドにスキップします。
	先頭のスライドにスキップします。
	ひとつ前のスライドにスキップします。
	ひとつ後のスライドにスキップします。
	末尾のスライドにスキップします。
	「指定のスライドへスキップ」ウィンドウを表示します。
	入力された番号のスライドへスキップします。
	スライドを移動せずに、コントロールポイントを追加します。

アイコン	説明
	つまみの位置にあるスライドへ移動します。

7. 【指定のスライドへスキップ】ボタン右のテキストボックスに直接にスライド番号を入力し【ENTER】キーを押すか、【指定されたスライドへスキップ】ボタンを押して「指定のスライドへスキップ」ウィンドウを表示し、任意のスライドを選択すると、希望するスライドにスキップできます。

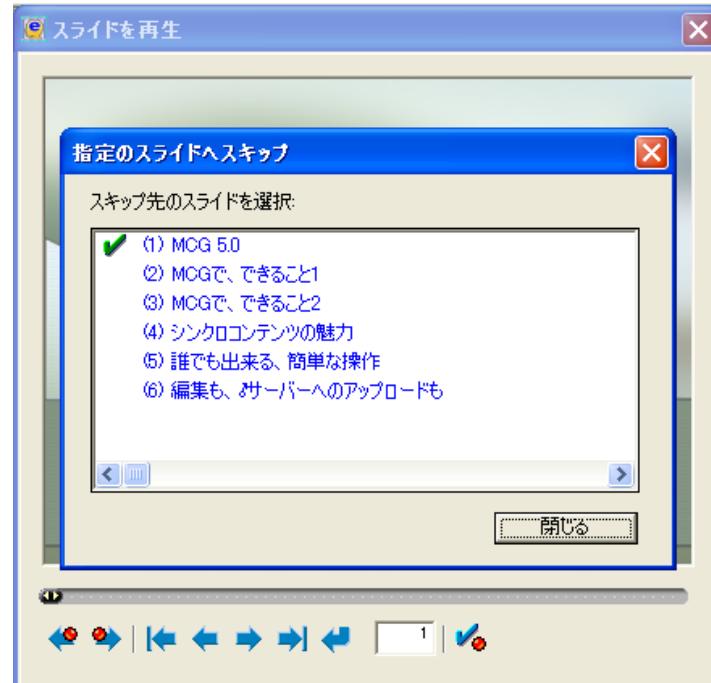
①

【指定のスライドへスキップ】ボタンをクリックして、「指定のスライドへスキップ」ウィンドウを表示する。



②

表示したいスライドを選択します。



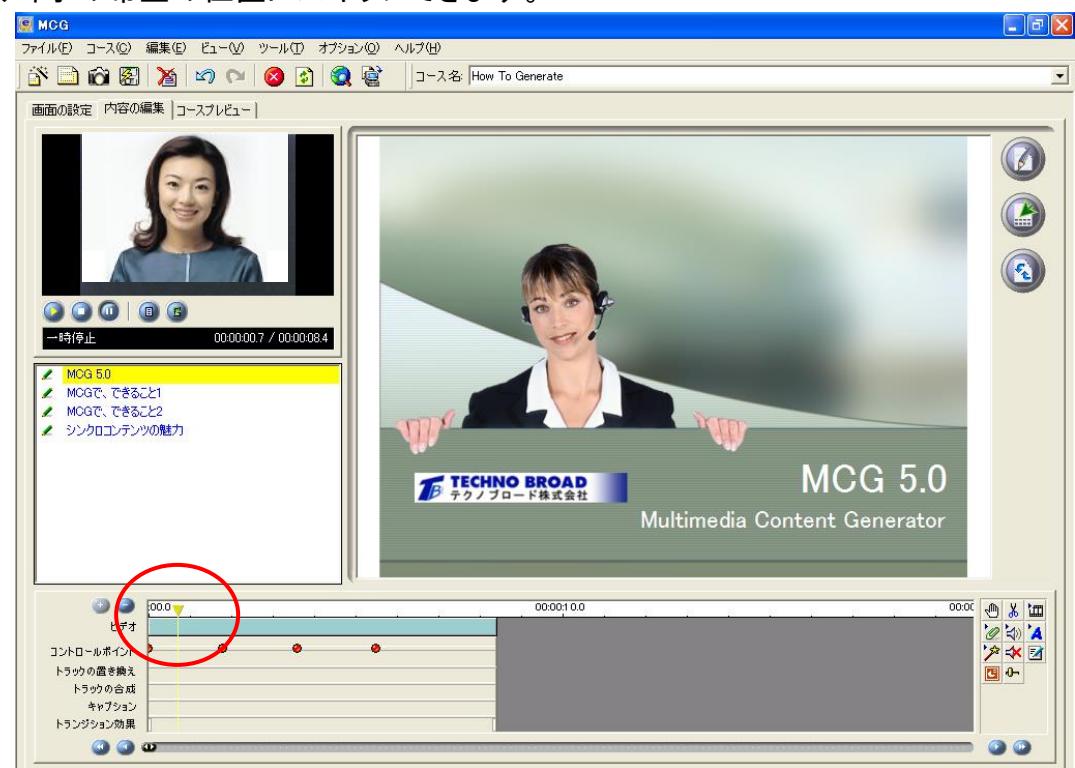
③

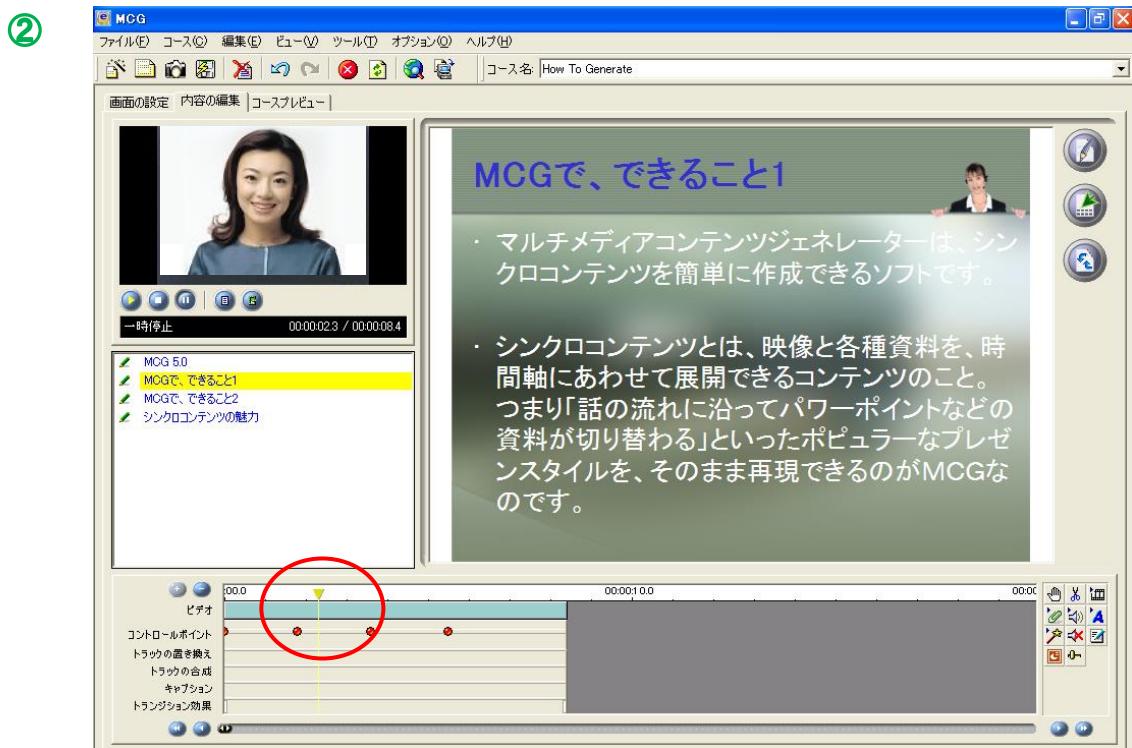
スライドが切り替わります。



8. スライダー及びタイムライン上のカーソルを移動することによって、ビデオ・オーディオの希望の位置にスキップできます。

①



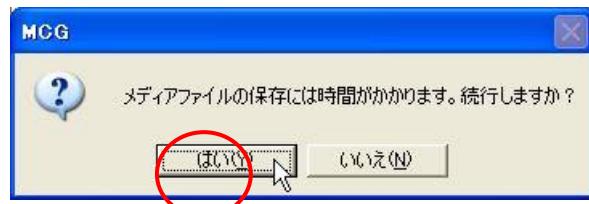


9. コントロールポイントまたはデモポイントを追加した場合、ビデオ・オーディオファイルを保存する必要があります。

① メニュー【コース】→【メディアファイルを保存】をクリックします。



② 【はい】ボタンをクリックしてメディアファイルを保存します。



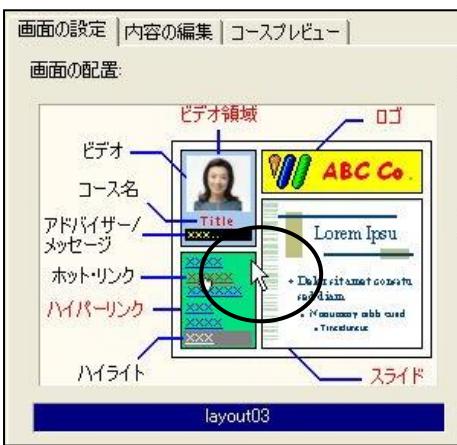
第7章 コースのアピアランス設定

次の各節に述べる設定変更操作は、変更した状態を【コースプレビュー】タブをクリックすることで、確認することができます。

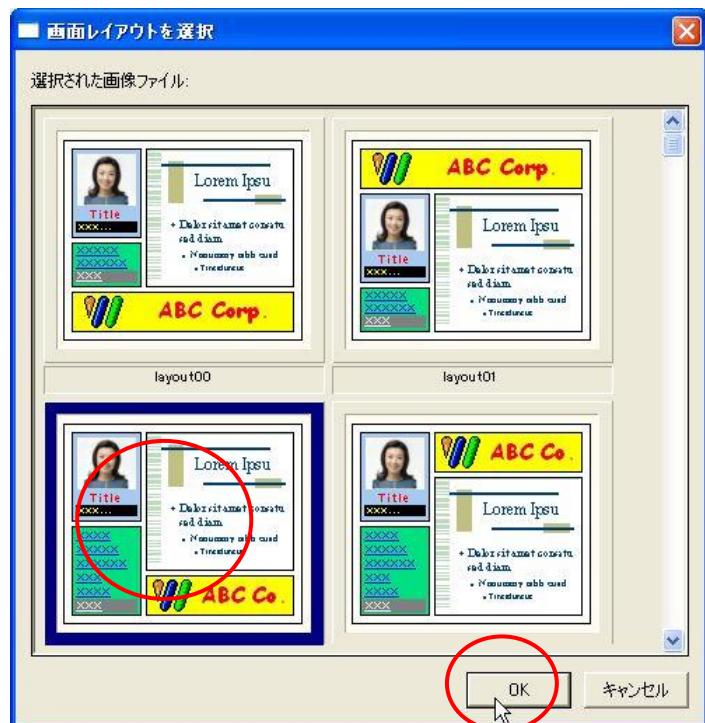
第1節 画面レイアウトの設定

画面レイアウトを設定します。

- ① 【画面の設定】タブをクリックします。



- ② 画面レイアウトエリアでマウスをダブル・クリックして「画面レイアウトを選択」ウィンドウを開きます。



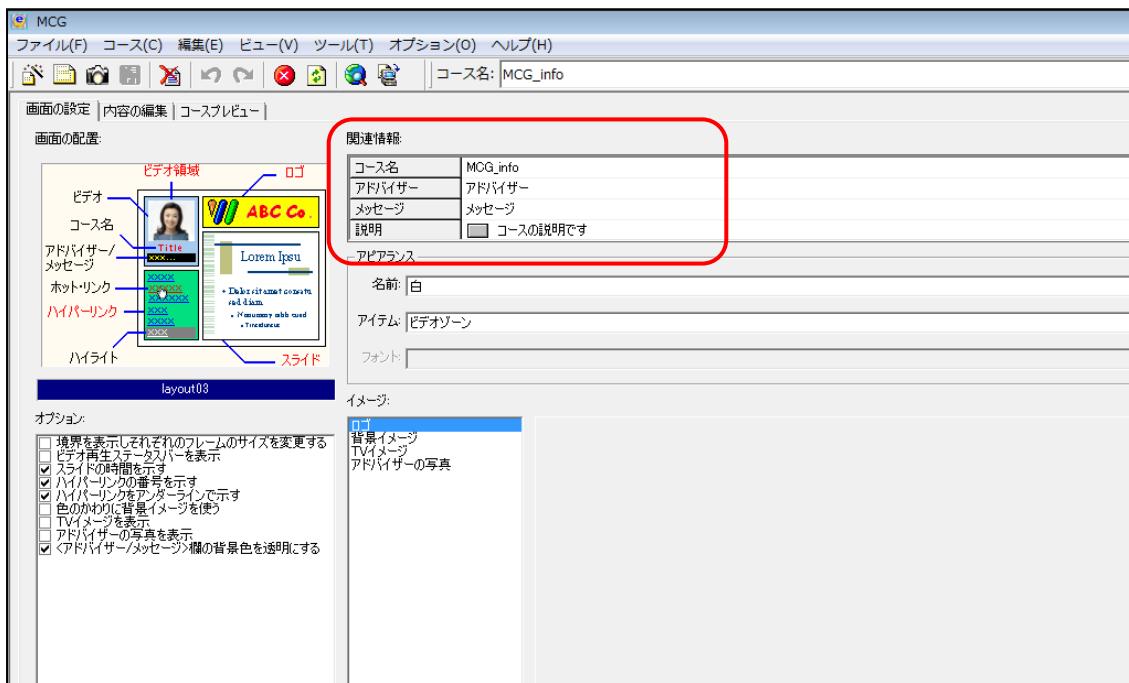
- ③ 利用した画面レイアウトを選択した後、【OK】ボタンをクリックして設定を完了します。

第2節 関連情報-コース名、アドバイザー及びメッセージ

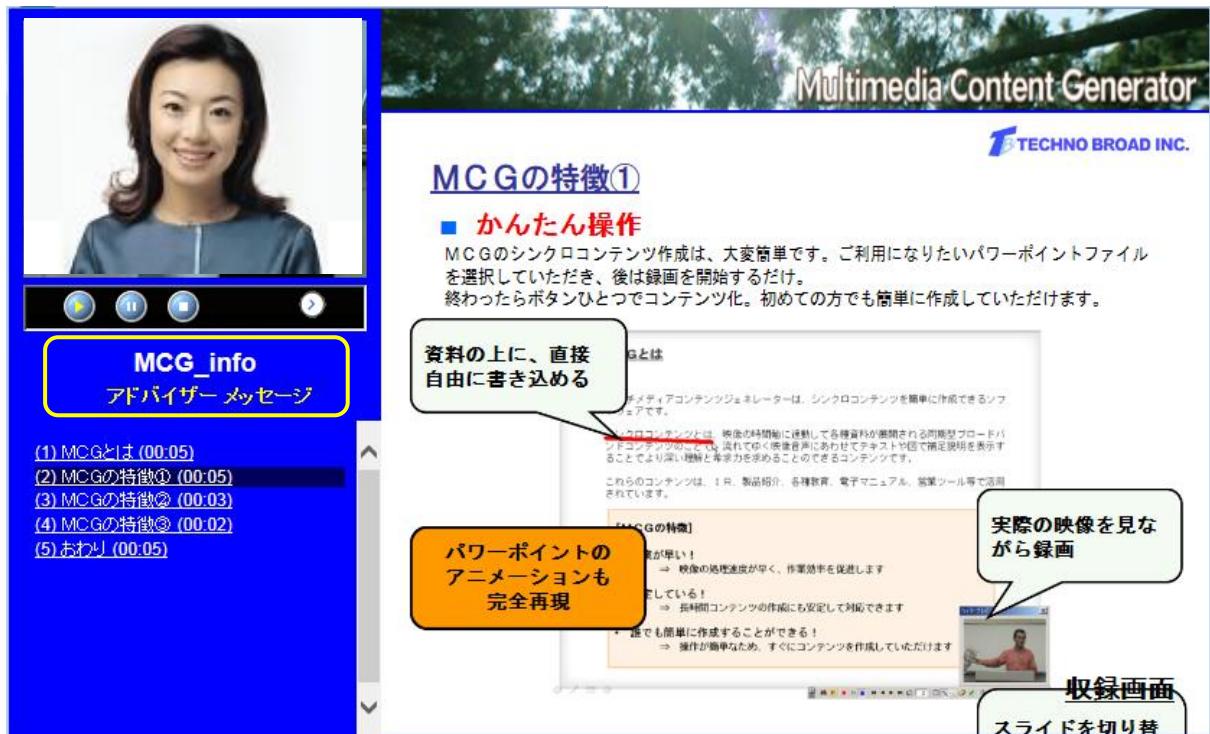
コース名を設定します。

項目名	説明
コース名	コンテンツに表示されるコース名
アドバイザー	講演者、コンテンツの配信者名
メッセージ	コンテンツの説明

- ① 【画面の設定】タブをクリックします。【コース名】入力枠、【アドバイザー】入力枠、【メッセージ】入力枠にそれぞれ表示したい文字を入力します。



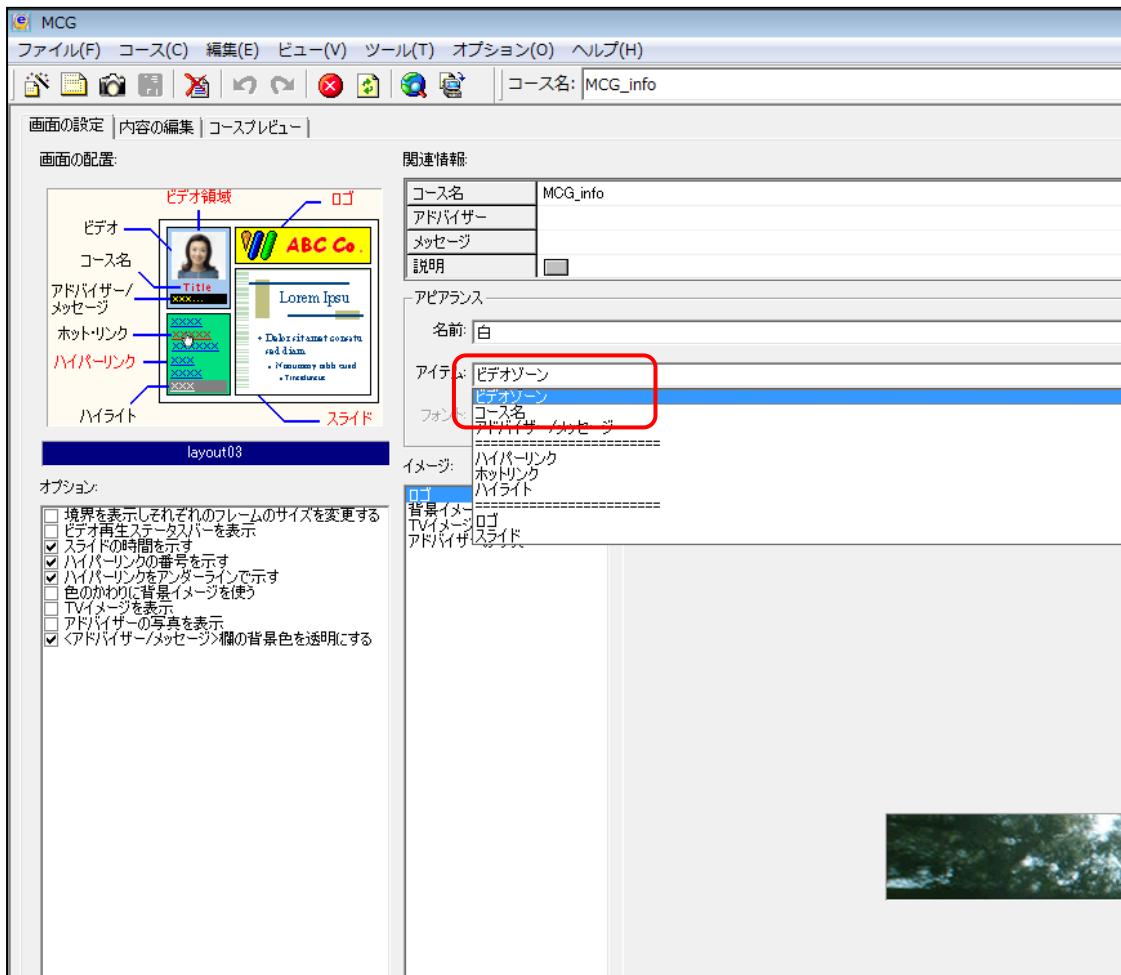
- ② ビデオ画面の下側に、入力した情報が反映されます。



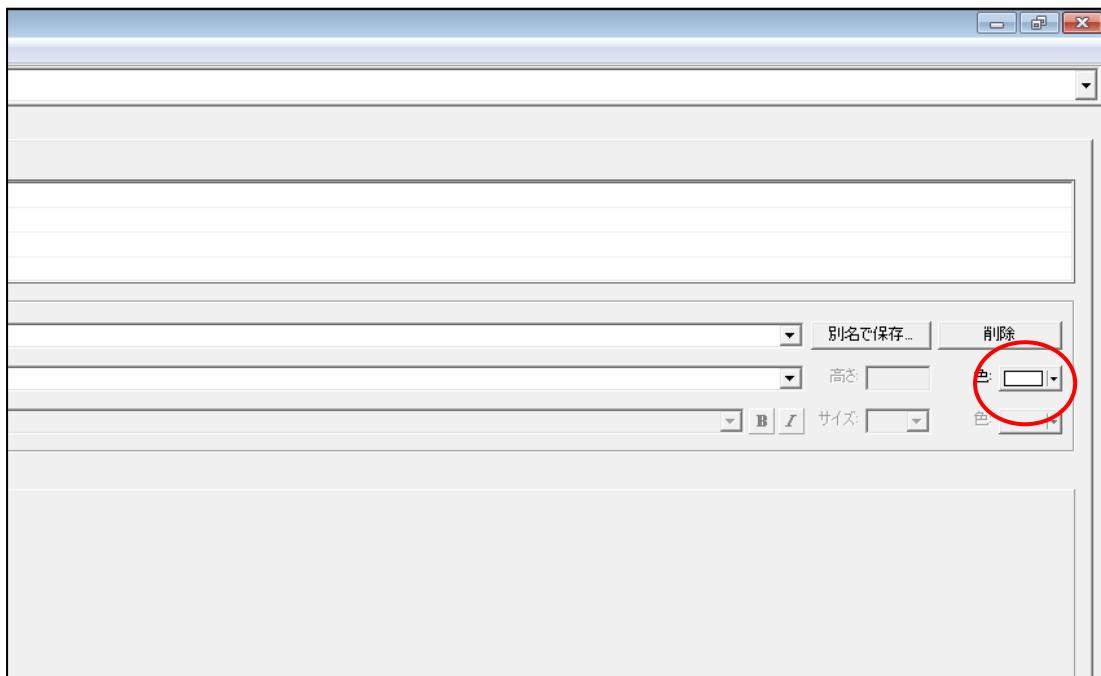
第3節 アピアランス-ビデオゾーン、コース名、アドバイザー/メッセージ

「ビデオゾーン」、「コース名」、「アドバイザー/メッセージ」の背景色、フォントを設定します。

- 【画面の設定】タブをクリックします。「アピアランス」エリアの「アイテム」の中から【ビデオゾーン】、【コース名】、【アドバイザー/メッセージ】をそれぞれクリックします。



2. ビデオ・オーディオエリアの背景色、コース名のフォント色及びフォントの大きさ、アドバイザー/メッセージの背景色及びフォント色をそれぞれ変更します。



3. ビデオ・オーディオエリアに変更が反映されます。

MCGとは

MCG (マルチメディアコンテンツジェネレーター) は、シンクロコンテンツを簡単に作成できるソフトウェアです。

動画のアピール力

- ・ダイレクトに解る
- ・印象的

資料の説得力

- ・数値やグラフ
- ・言葉の力

二つをあわせもった抜群の伝達力

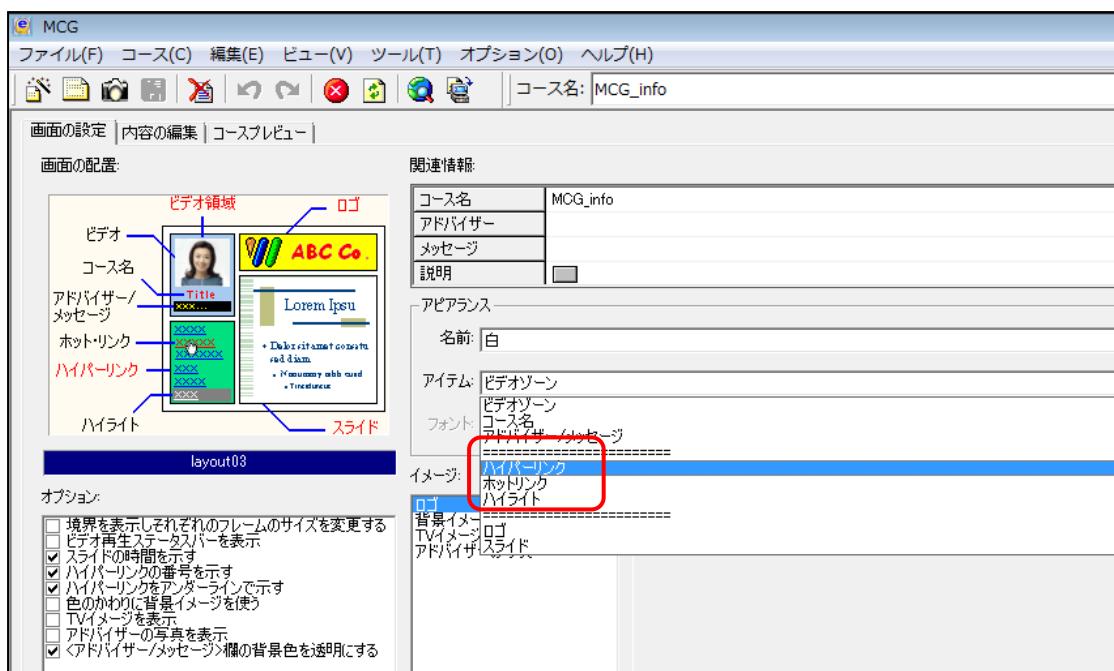
シンクロ
コンテンツ

これらのコンテンツは、e-ラーニング教材、製品紹介、社内教育、電子マニュアル、営業ツールなど幅広く活用されております。

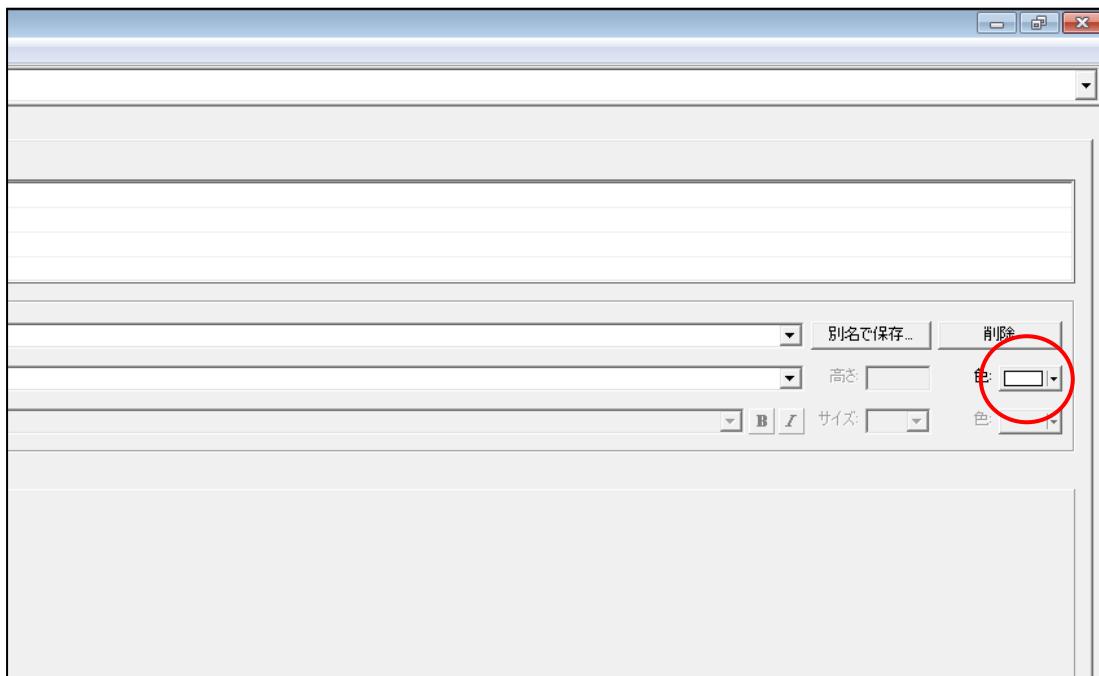
第4節 アピアランス-ハイパーリンク、ホットリンク、ハイライト

「ハイパーリンク」の背景色、文字の色を設定します。

- 【画面の設定】タブをクリックします。項目の中から【ハイパーリンク】、【ホットリンク】、【ハイライト】をそれぞれクリックします。



2. ハイパーリンクの背景色及び文字の色、ホットリンクの文字の色、ハイライトの背景色及び文字の色を変更します。



3. ハイパーリンクエリアに変更が反映されます。

MCGとは

MCG (マルチメディアコンテンツジェネレーター) は、シンクロコンテンツを簡単に作成できるソフトウェアです。

シンクロコンテンツとは、動画・音声の時間軸に連動して各種資料が展開される同期型webコンテンツのことです。流れでゆく映像音声にあわせてテキストや図で補足説明を表示することで、より深い理解と希求力を求めることのできるコンテンツです。

(1) MCGとは (00:05)
(2) MCGの特徴① (00:05)
(3) MCGの特徴② (00:03)
(4) MCGの特徴③ (00:02)
(5) おわり (00:05)

動画のアピール力
・ダイレクトに伝える
・印象的

資料の説得力
・数値やグラフ
・言葉の力

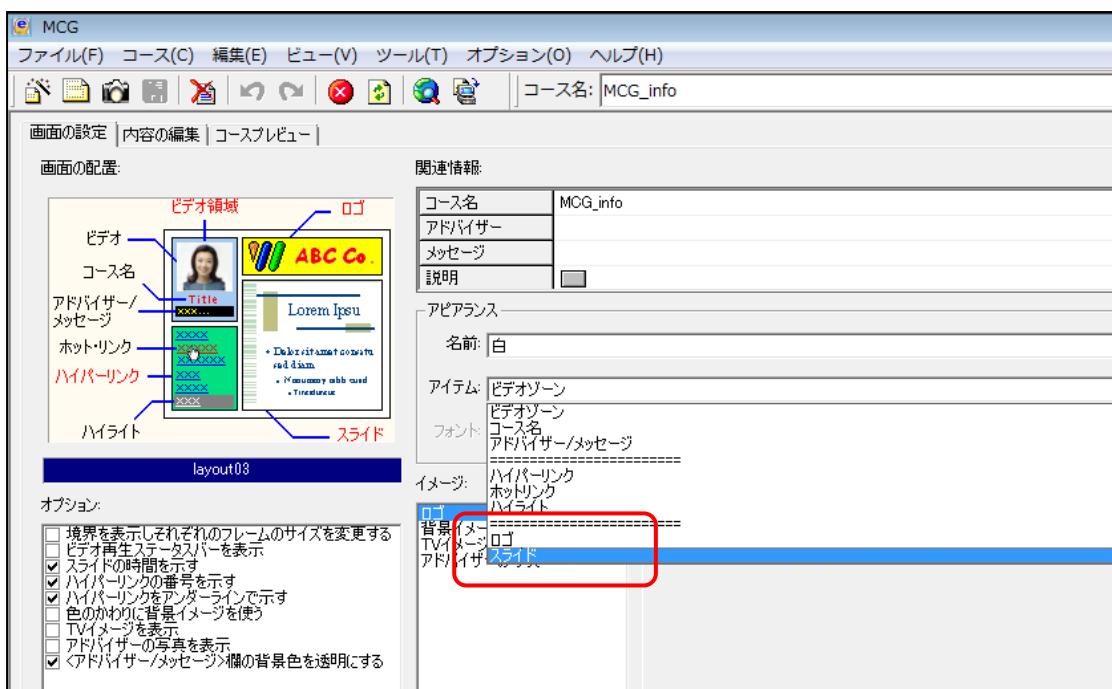
二つをあわせもった抜群の伝達力
**シンクロ
コンテンツ**

これらのコンテンツは、e-ラーニング教材、製品紹介、社内教育、電子マニュアル、営業ツールなど幅広く活用されております。

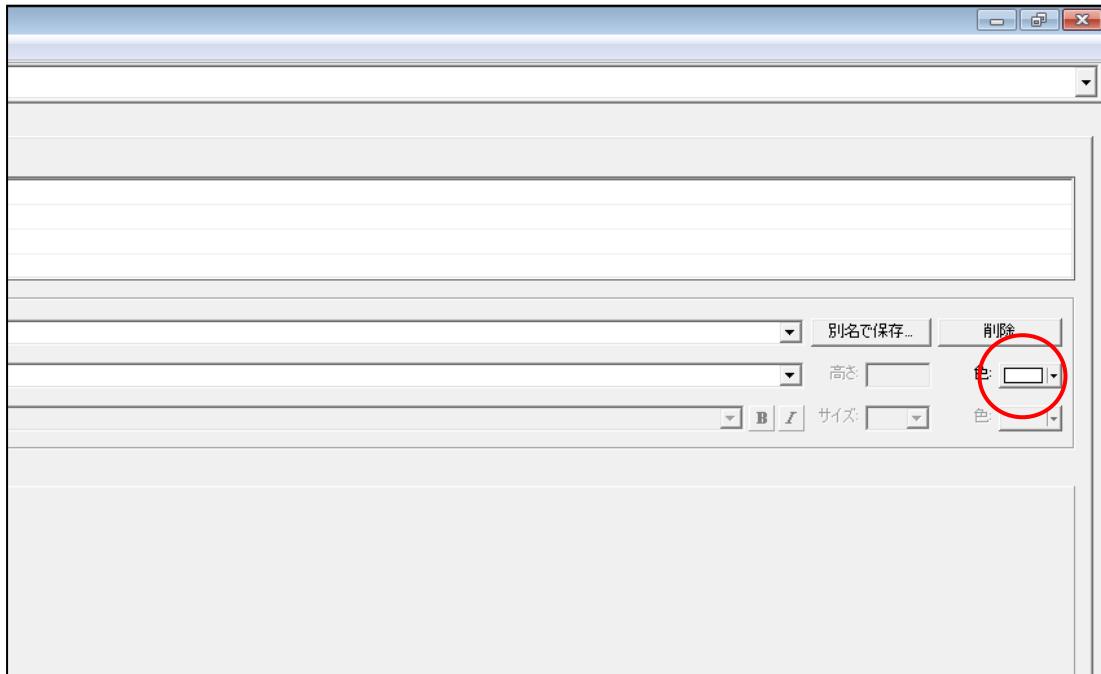
第5節 アピアランス - ロゴ、スライド

「ロゴの背景色」を設定します。

- 【画面設定】タブをクリックします。項目の中から【スライド】、【ロゴ】をそれぞれクリックします。



2. スライドエリアの背景色、ロゴの背景色をそれぞれ変更します。



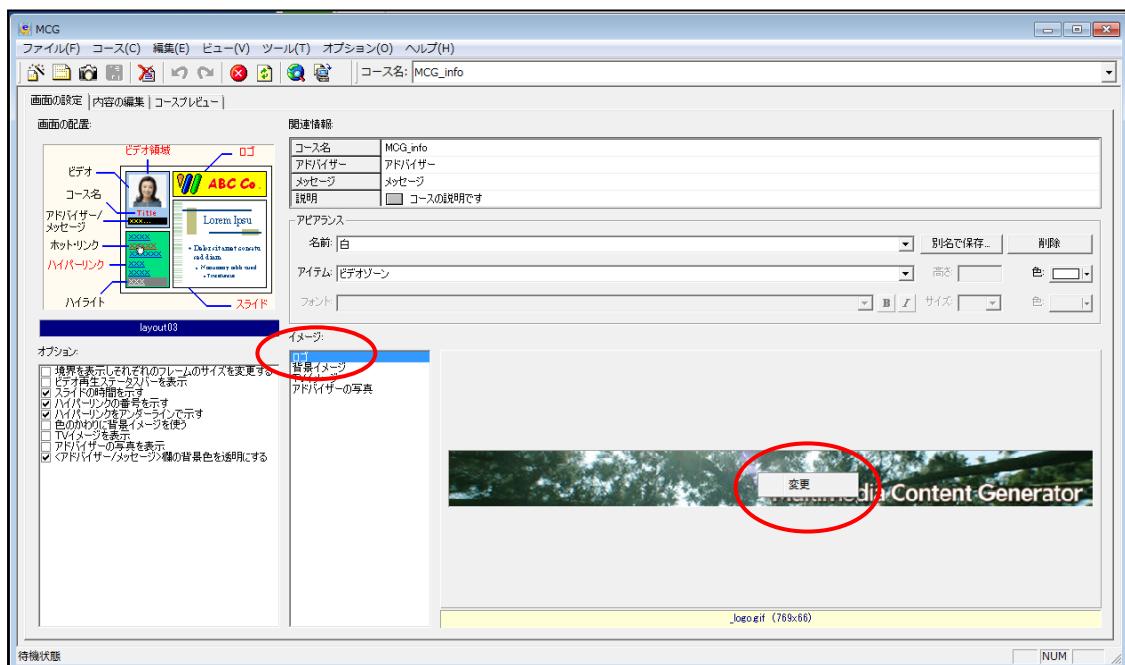
3. スライドエリアに変更が反映されます。



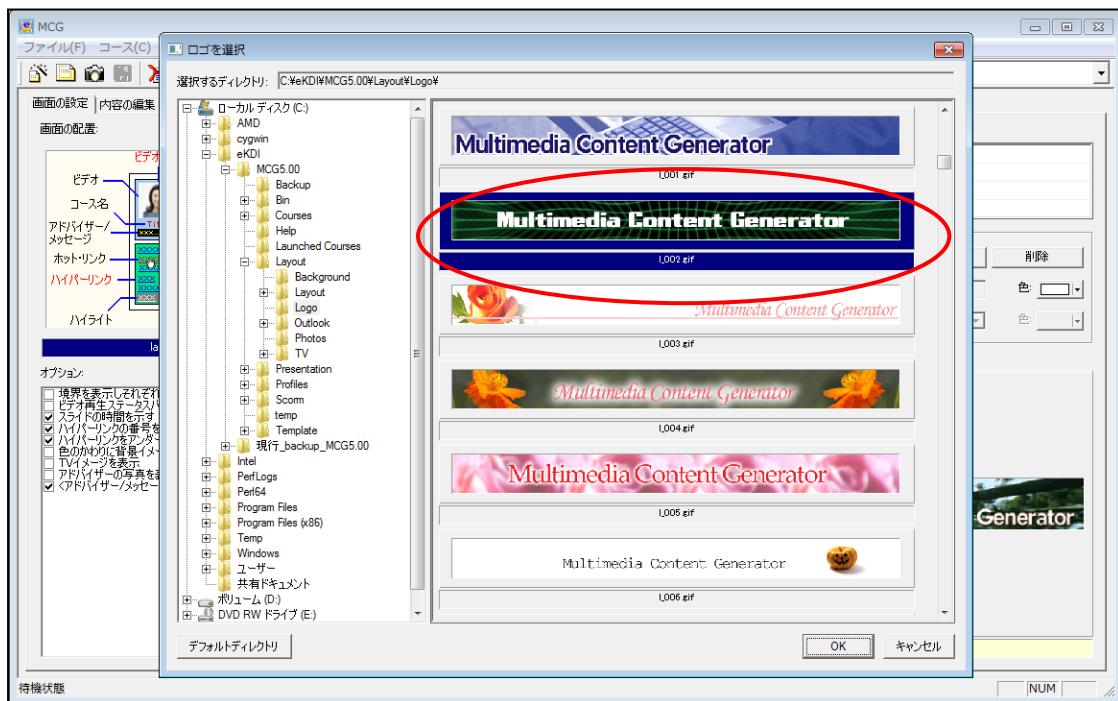
第6節 イメージ - ロゴ

「ロゴ」を設定します。

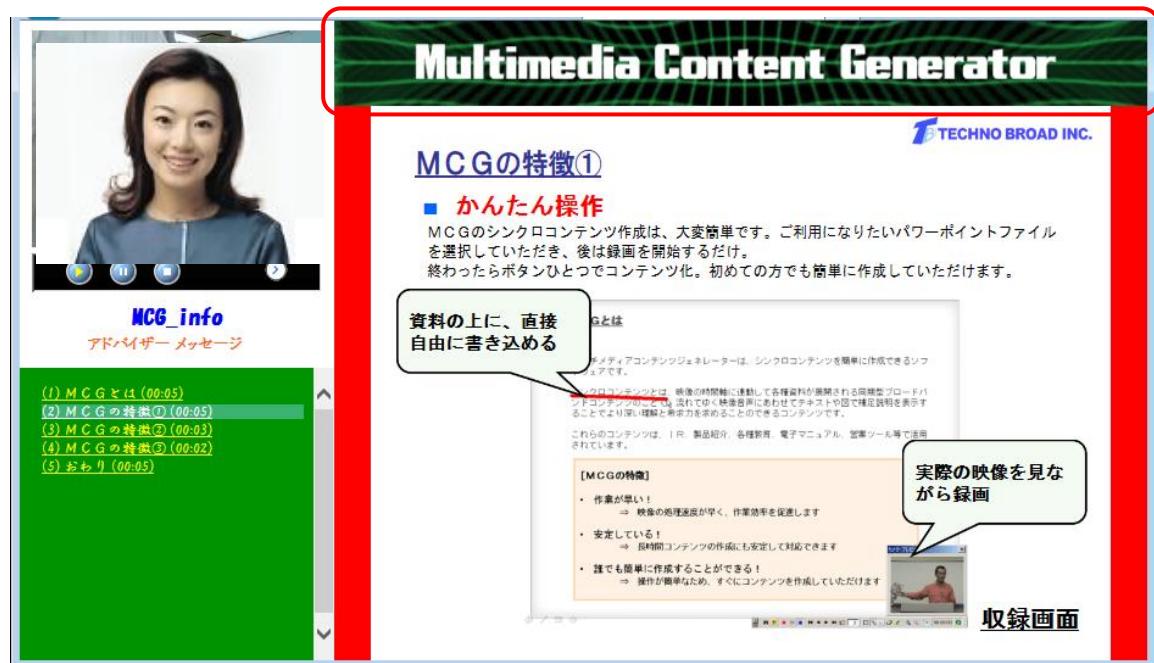
1. 【画面の設定】タブをクリックします。【イメージ】の中から【ロゴ】をクリックします。ロゴエリアでダブル・クリックするか、右クリックメニューから【変更】を選択し、「ロゴを選択」ウィンドウを開きます。



2. 「ロゴを選択」ウィンドウから、ロゴを選びます。



3. ロゴエリアに変更が反映されます。





ロゴのサイズとロゴエリアのサイズの関係について

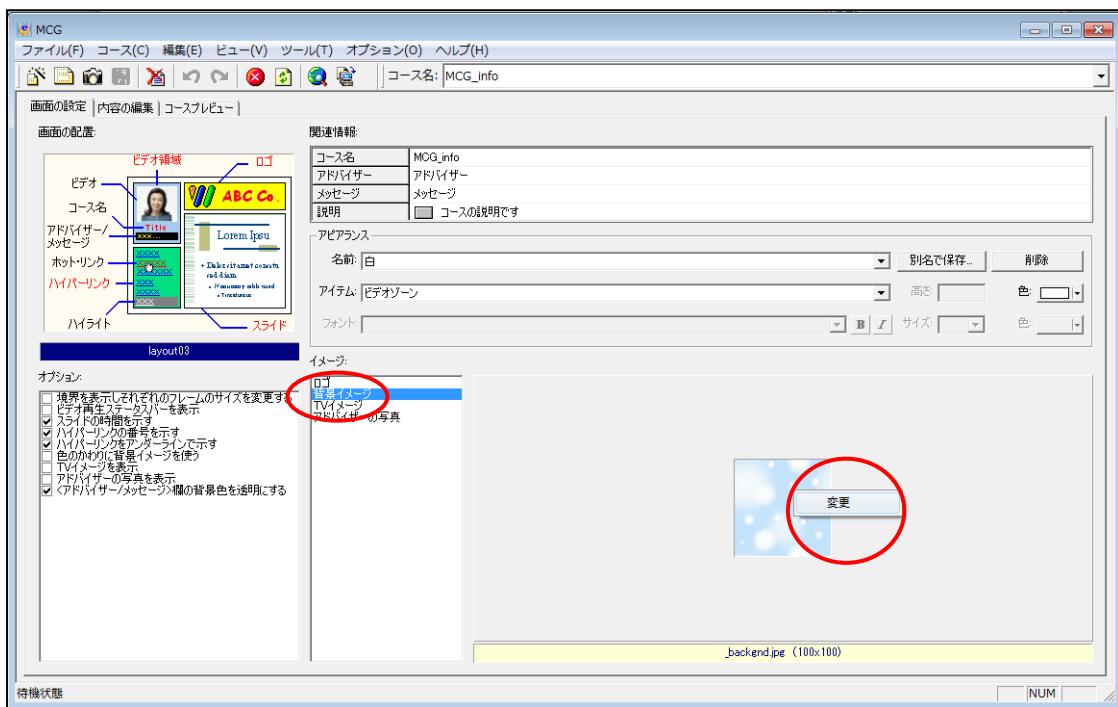
サイズの小さいロゴ画像を選択した場合、プレビュー、またはブラウザで閲覧すると画像はロゴエリア全体に拡大表示されます。「ロゴを選択」ウィンドウで選択したロゴ画像のサイズは、【画面の設定】タブ右下のイメージエリア下部に表示されます。



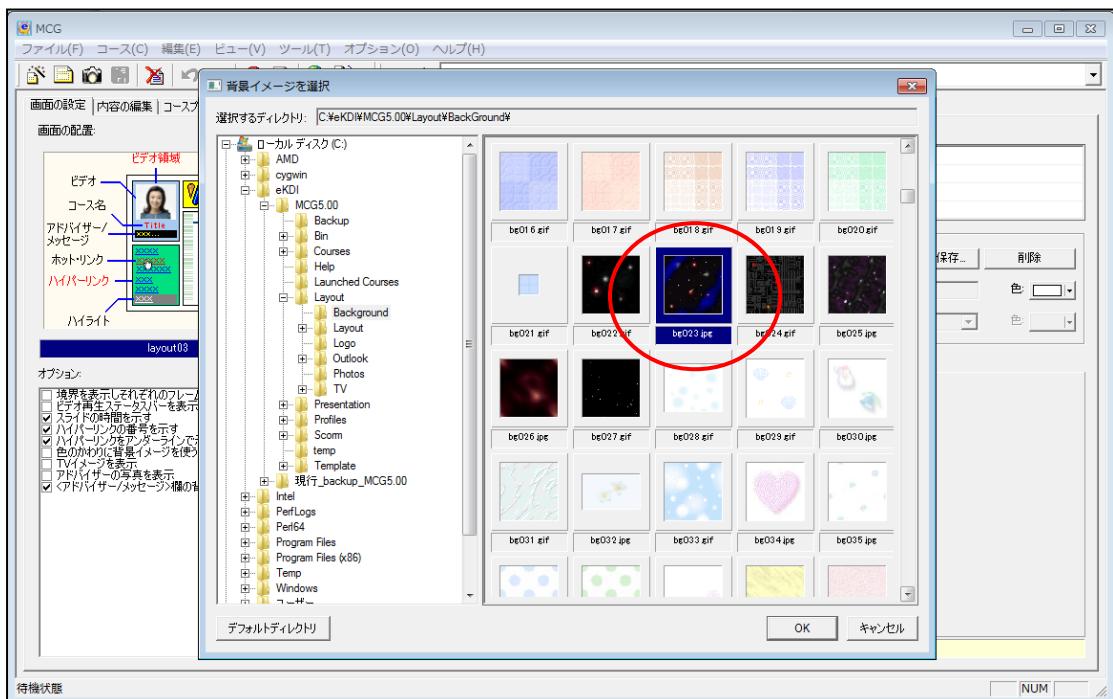
第7節 イメージ背景画像

「背景画像」を設定します。

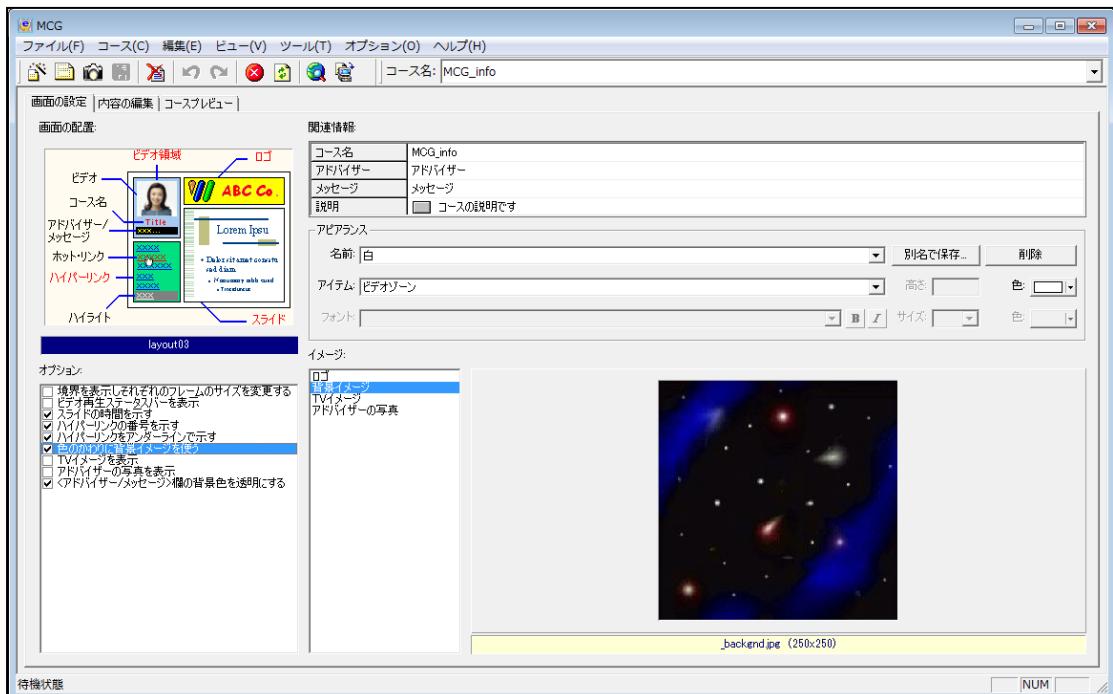
1. 【画面設定】タブをクリックします。
2. イメージの中から【背景画像】を選択します。
3. 背景画像エリアでダブル・クリックするか、または右クリックメニューから【変更】を選択し、「背景画像を選択」ウィンドウを開きます。



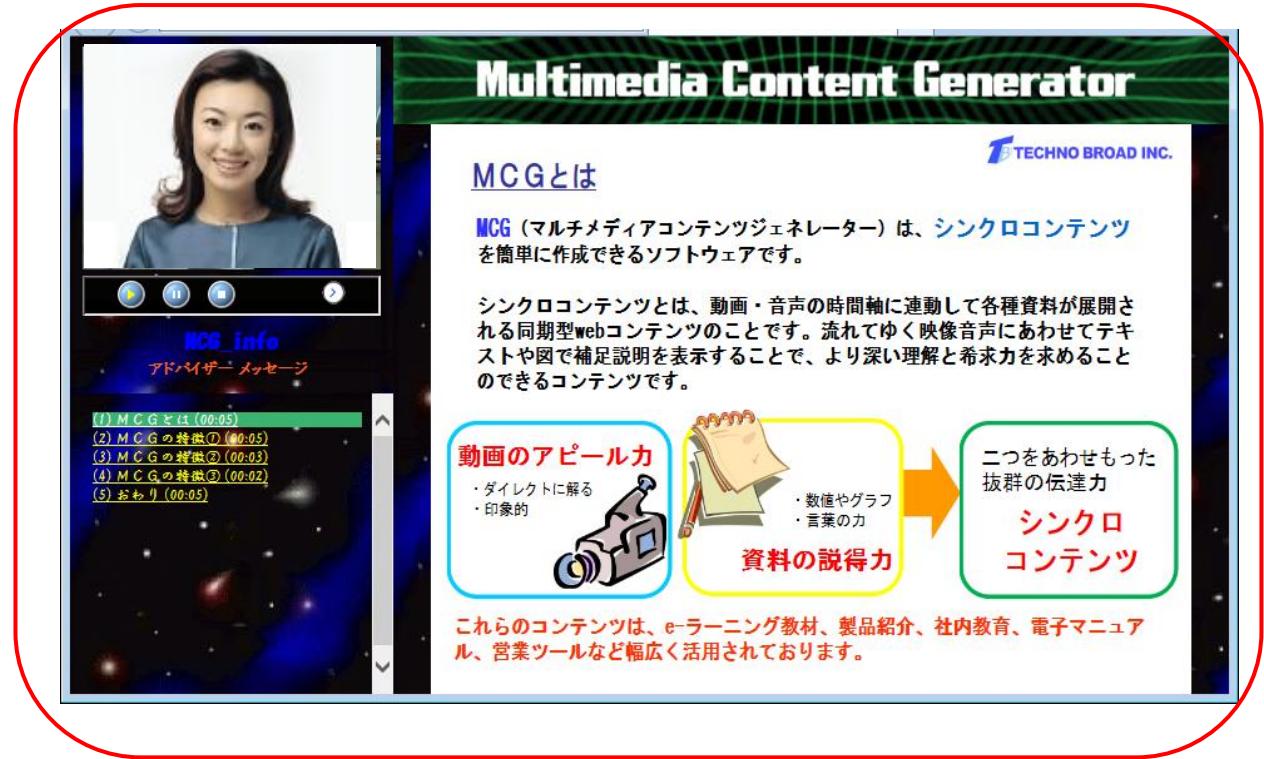
4. 「背景画像を選択」ウィンドウから、背景画像を選びます。



5. オプションの【色のかわりに背景イメージを使う】にチェックします。



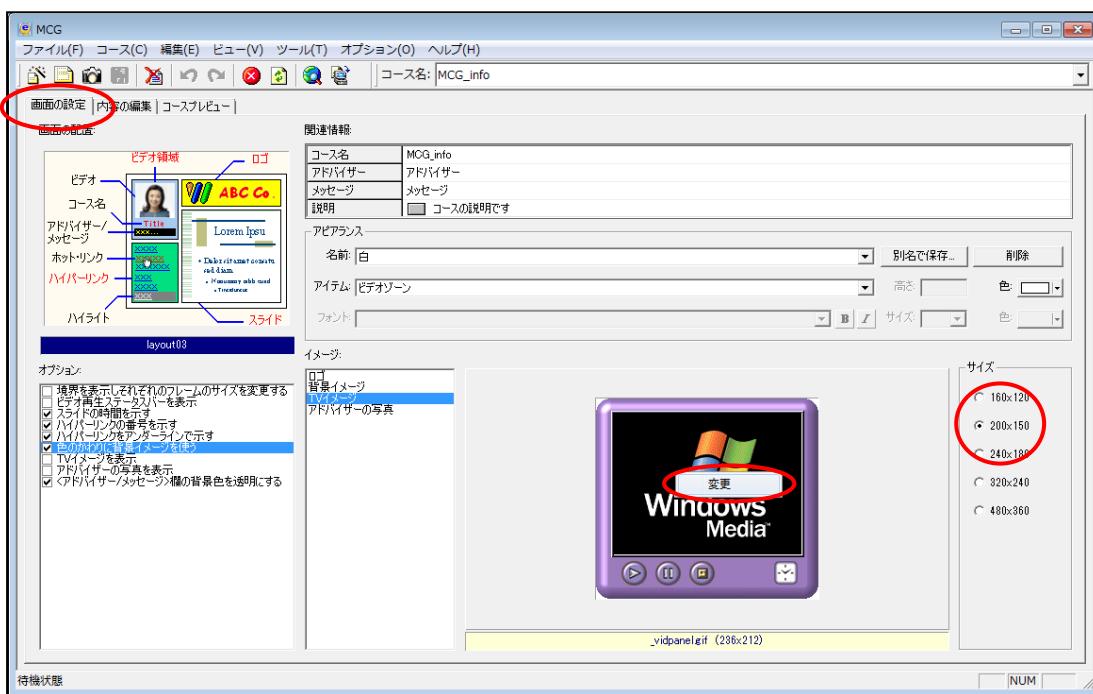
6. 背景エリアに変更が反映されます。



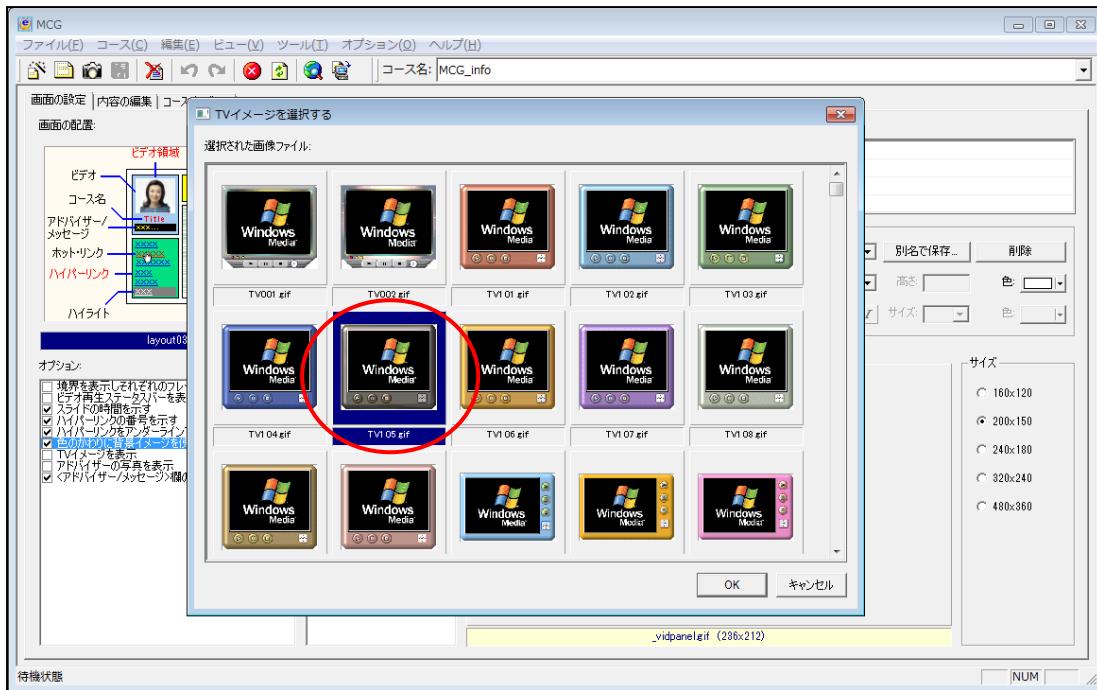
第8節 イメージ-TVイメージ

「TVイメージ」を設定します。

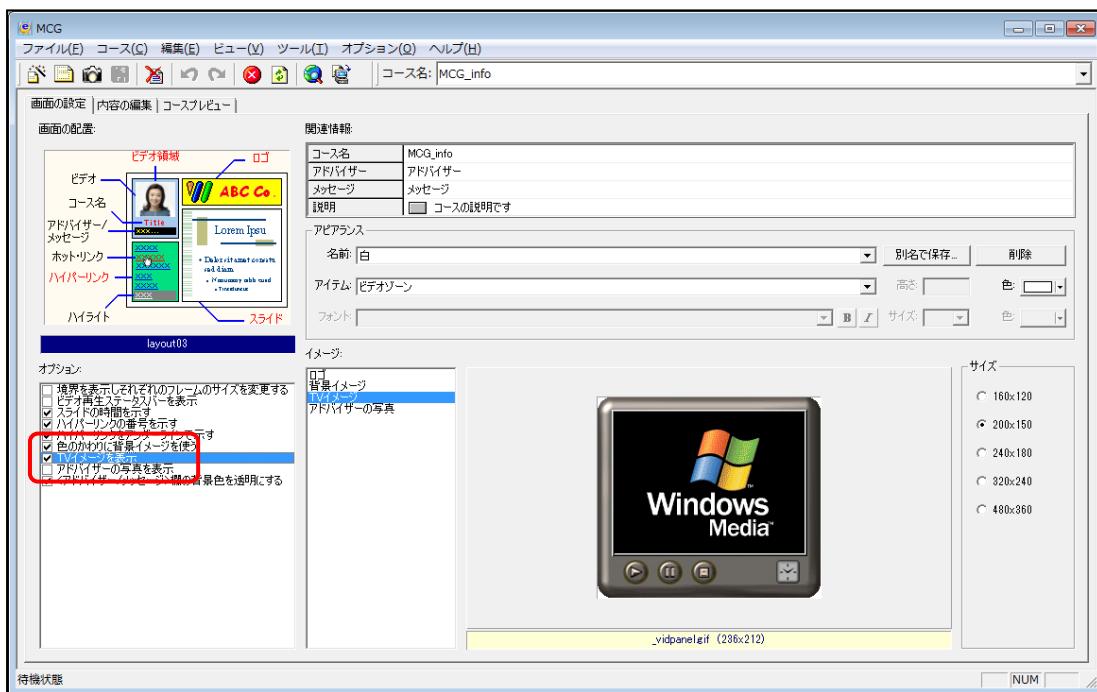
- 【画面の設定】タブをクリックします。
- イメージの中から【TVイメージ】を選択します。
- TVイメージのサイズを選択します。
- TVイメージエリアでダブルクリックするか、または右クリックメニューから【変更】を選択して「TVイメージ選択」ウィンドウを開きます。



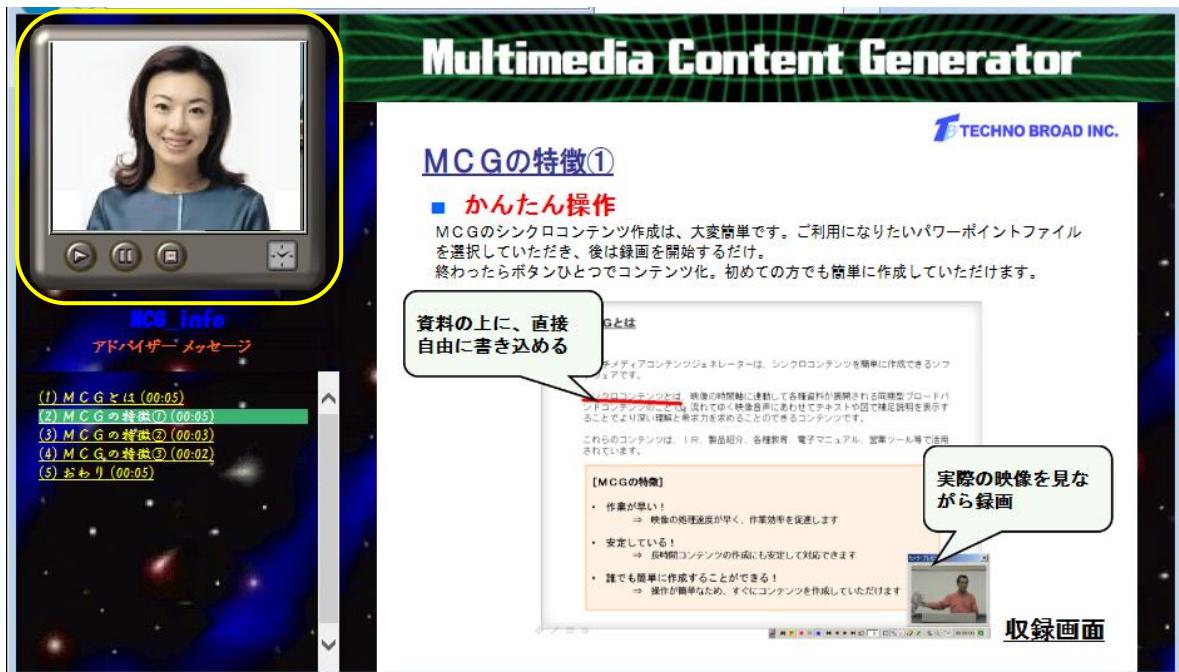
5. 「TVイメージ選択」ウィンドウからTVイメージを選びます。



6. オプションの【TV イメージを表示】にチェックします。



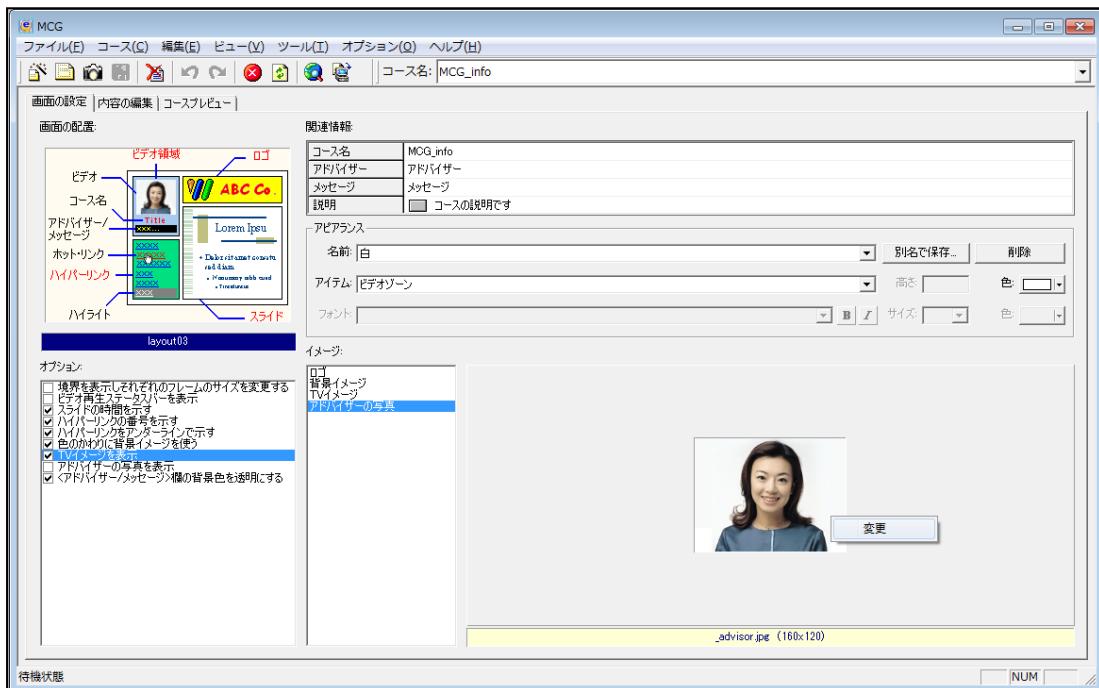
7. ビデオ・オーディオエリアに TV イメージが反映されます。



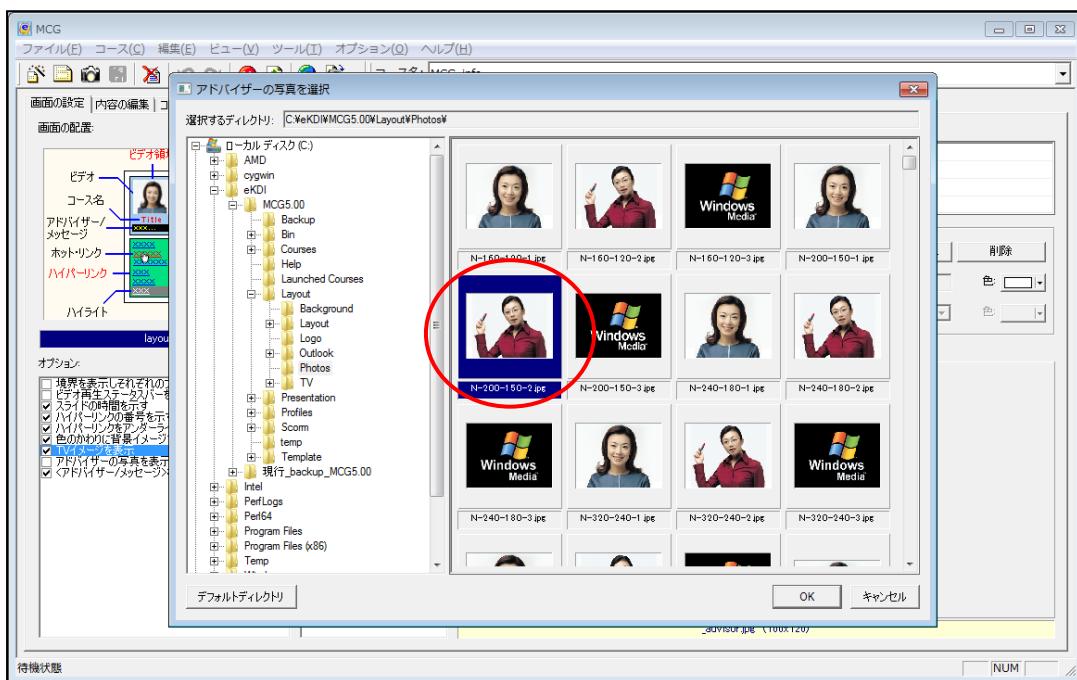
第9節 イメージアドバイザーの写真

「アドバイザーの写真」を設定します。ビデオ画像をスライド部分にズームインするときに、この画像がTVイメージのエリアに表示されます。

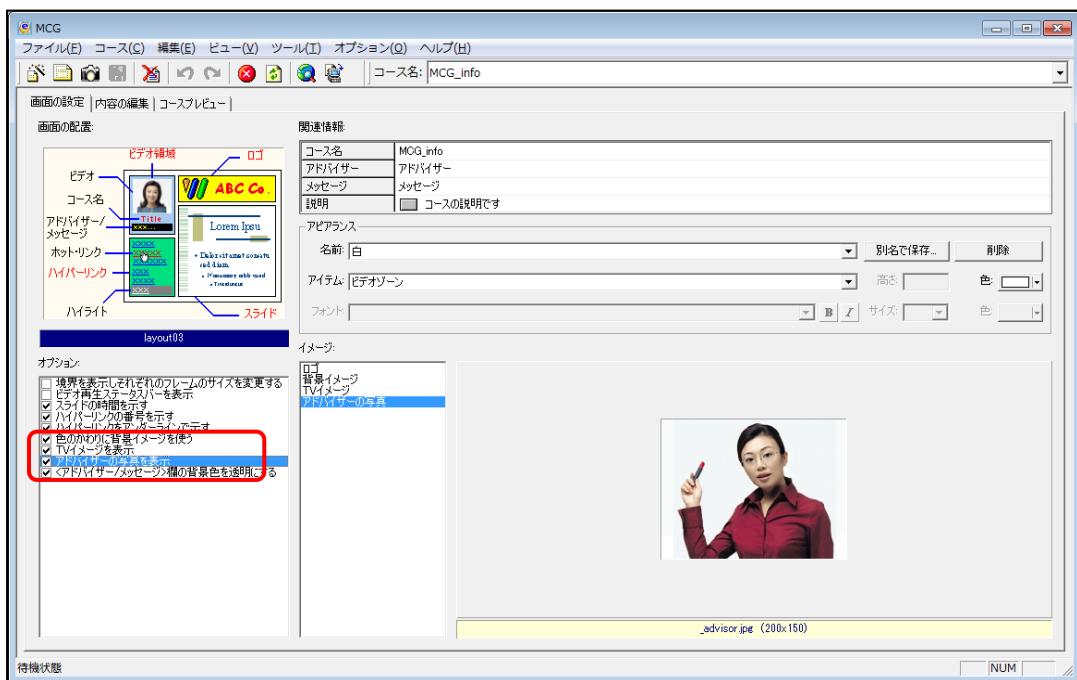
1. 【画面の設定】タブをクリックします。
2. 【イメージ】の中から「アドバイザーの写真」をクリックします。
3. アドバイザーの写真エリアでダブル・クリックするか、または右クリックメニューから【変更】を選択し、「アドバイザーの写真を選択」ウィンドウを開きます。



4. 「アドバイザーの写真を選択」ウィンドウから、アドバイザーの写真を選びます。



5. オプションの【アドバイザーの写真を表示】にチェックします。

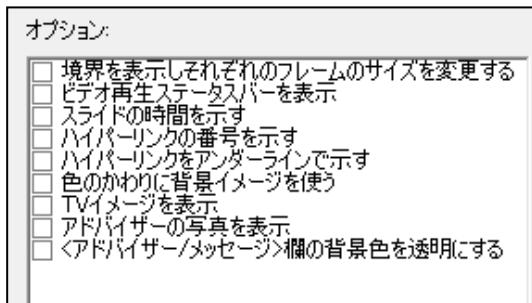


6. ビデオ・オーディオエリアにアドバイザーの写真が反映されます。

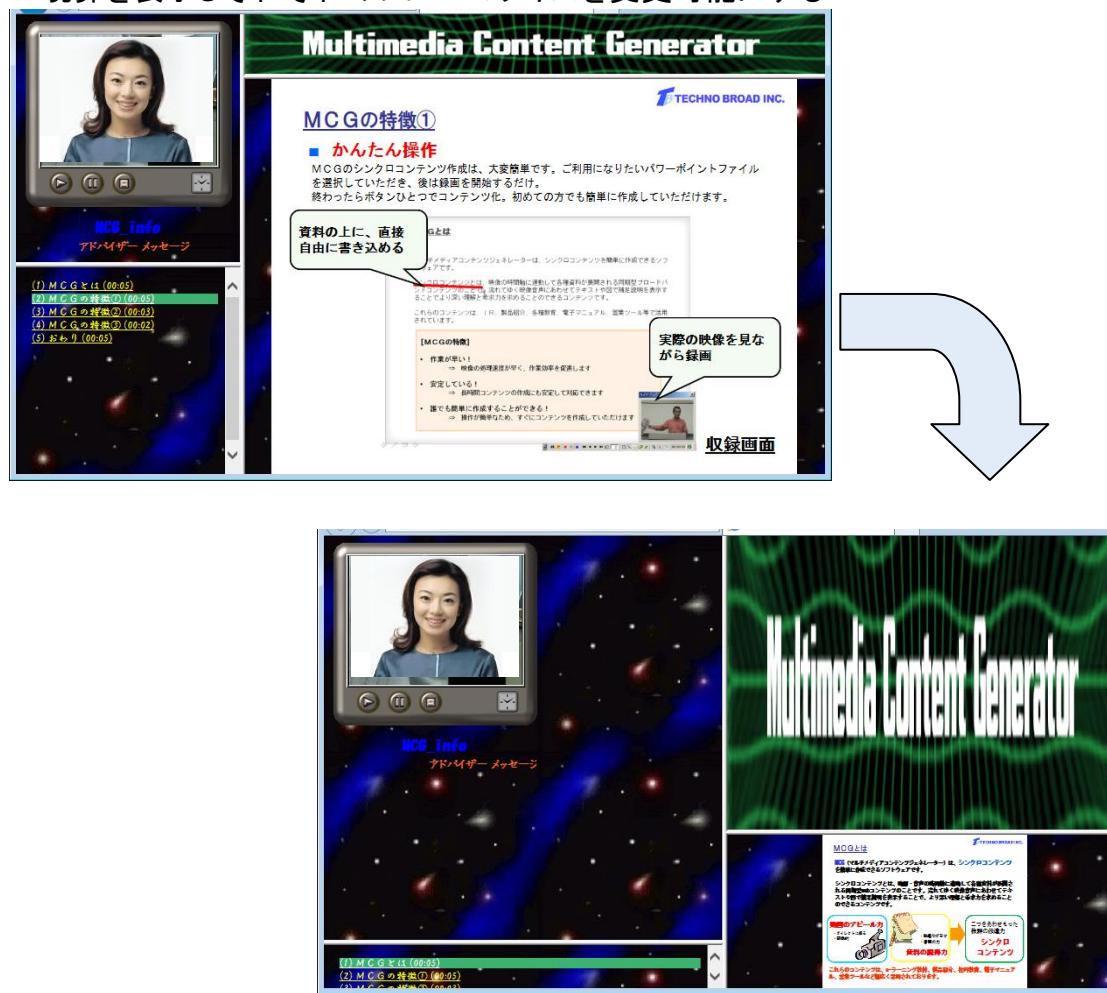


第10節 オプション

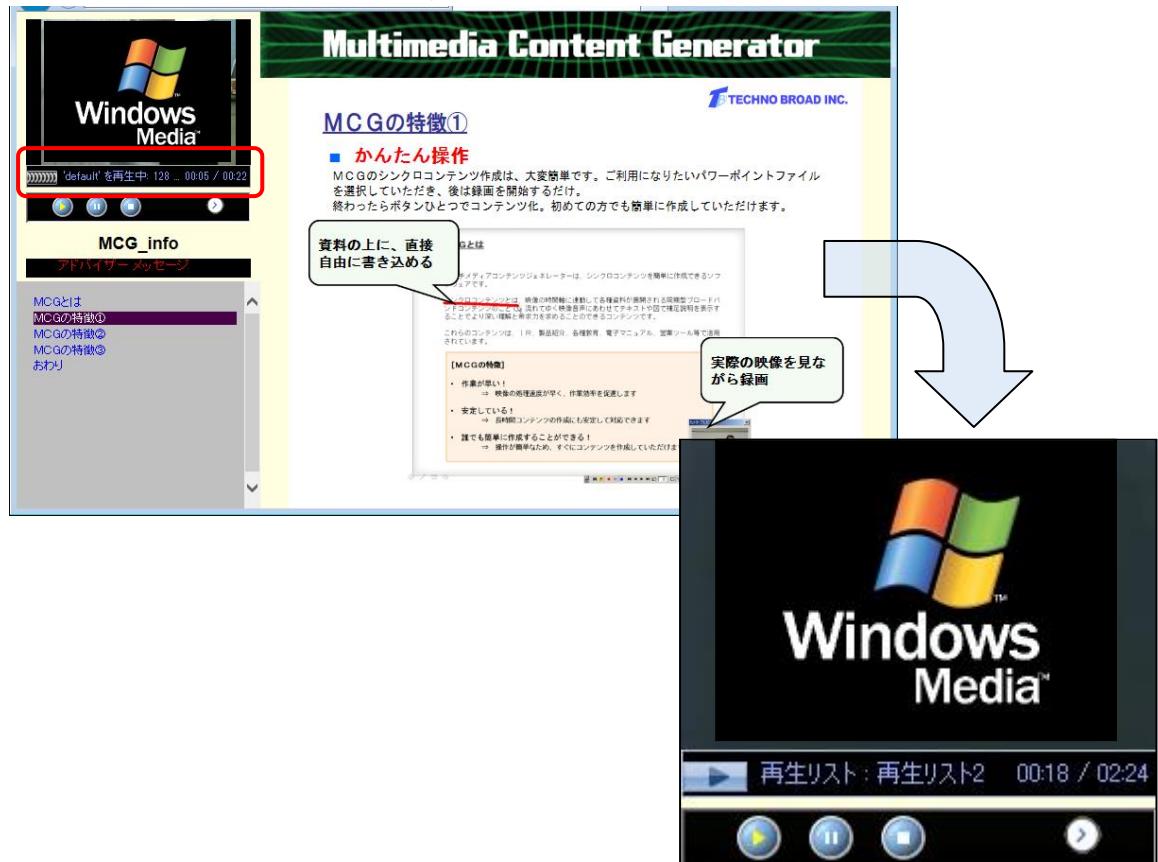
コースを選択し、「画面の設定」タブをクリックすると、オプションエリアが表示されます。左の□にチェックをつけると、そのオプションを選択したことになります。オプションを選択したら、コースプレビューで確認してください。



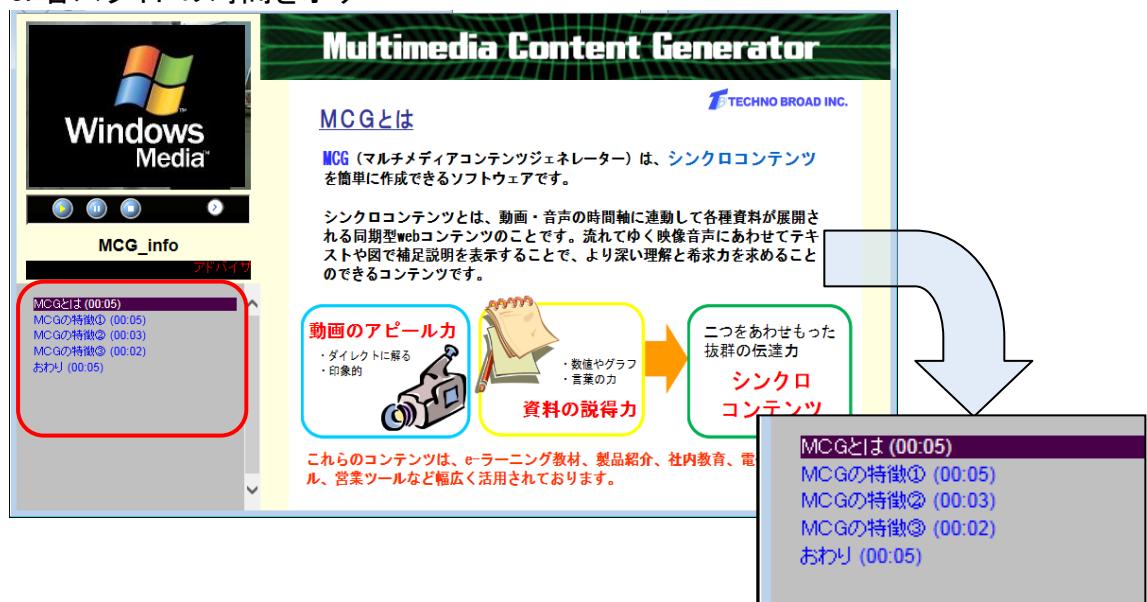
1. 境界を表示しそれぞれのフレームサイズを変更可能にする



2. ビデオ再生ステータスバーを表示する



3. 各スライドの時間を示す



4. ハイパーリンクの番号を表示する

The screenshot shows the software's main window with a sidebar on the left containing a navigation menu:

- (1) MCGとは
- (2) MCGの特徴①**
- (3) MCGの特徴②
- (4) MCGの特徴③
- (5) おわり

A red box highlights the second item, "(2) MCGの特徴①". A callout bubble points to this item with the text "資料の上に、直接自由に書き込める". To the right, a large blue arrow points down to a secondary window titled "Multimedia Content Generator". This window displays the same numbered menu, with the second item again highlighted by a red box. A callout bubble from this window points to the same "資料の上に、直接自由に書き込める" text.

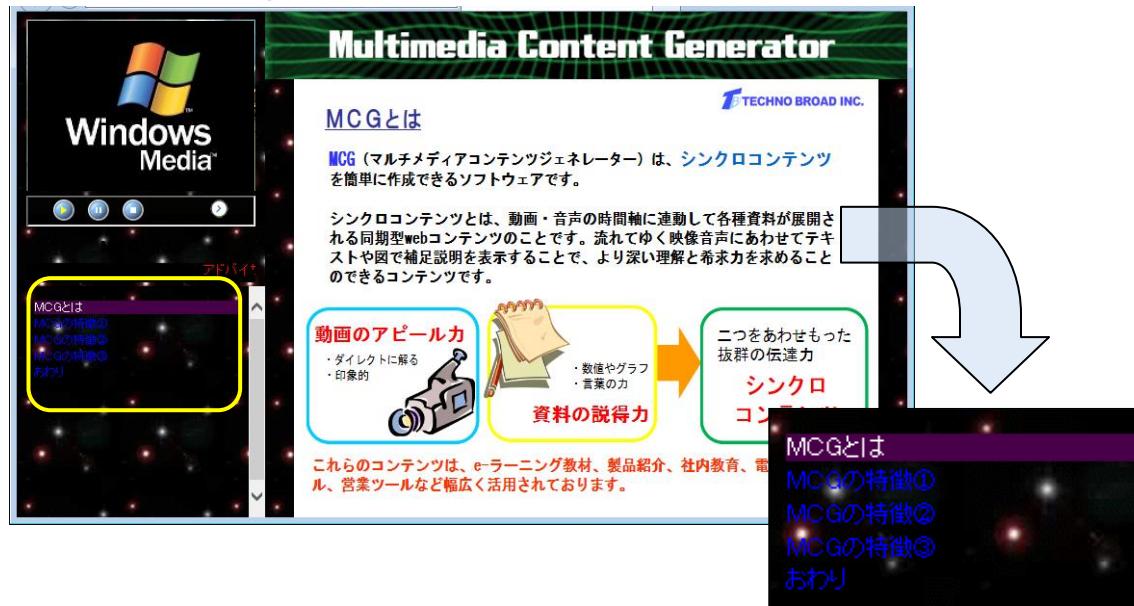
5. ハイパーリンクをアンダーラインで示す

The screenshot shows the software's main window with a sidebar on the left containing a navigation menu:

- MCGとは
- MCGの特徴①**
- MCGの特徴②
- MCGの特徴③
- おわり

A red box highlights the second item, "**MCGの特徴①**". To the right, a large blue arrow points down to a secondary window titled "Multimedia Content Generator". This window displays the same numbered menu, with the second item again highlighted by a red box. A callout bubble from this window points to the underlined "MCGの特徴①" text.

6. 色のかわりに背景イメージを使う



7. TVイメージを表示

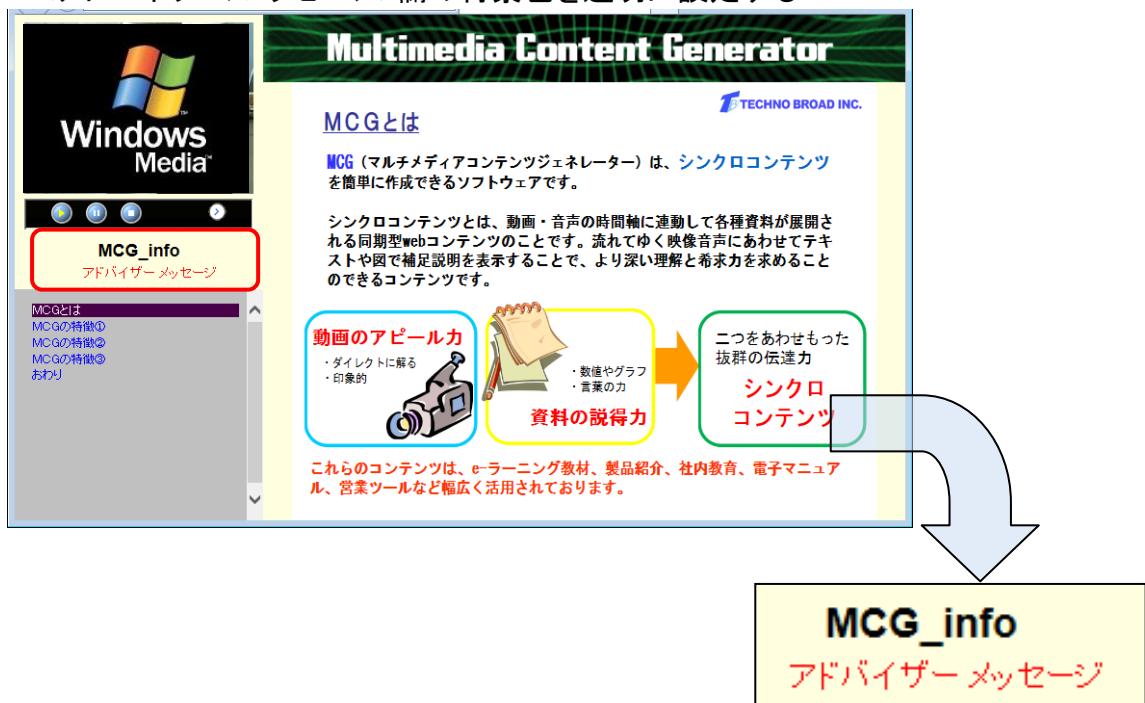


8. アドバイザーの写真を表示

「サウンドだけ(画像含まず)をレコード」して、アドバイザーの写真を表示する場合、あるいはビデオ画像をズームインする場合に使う。



9. <アドバイザー/メッセージ>欄の背景色を透明に設定する



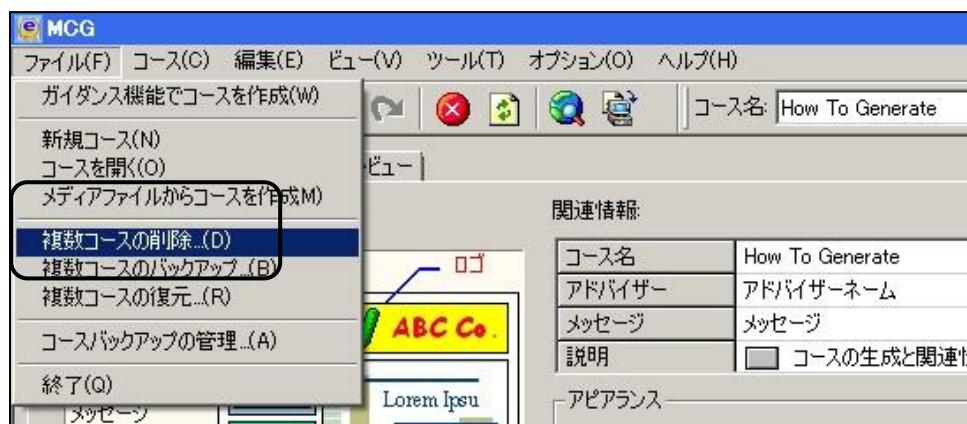
第8章 コース管理

第1節 複数コースの管理機能

「複数コースの削除」、「複数コースのバックアップ」及び「複数コースの復元」それぞれの作業によって複数のコースの削除、バックアップ及び復元が行えます。メニューの【ファイル】から【複数コースの削除】を選べば、複数コースの削除を行うことができます。

ここでは複数のコースを削除する方法を紹介しますが、複数コースのバックアップ及び複数コースの復元も、同じ操作で行うことができます。

1. メニューの【ファイル】から【複数コースの削除】を選択します。



2. 「コース削除」ウィンドウで削除したいコースを選択します。



3. 【OK】ボタンをクリックして選択したコースを削除します。

- ① 削除したいコースを選択し、
【OK】ボタンをクリックしま
す。



- ② 削除してよければ、【はい】ボタンを
クリックして削除します。

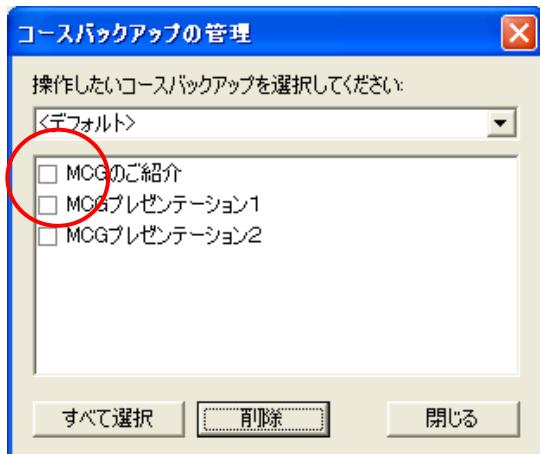
第2節 コースバックアップの管理

「コースバックアップの管理」を利用して、バックアップ用に保存したコースを削除することができます。

1. メニューの【ファイル】から【コースバックアップの管理】を選んで「コースバックアップの管理」ウィンドウを開きます。

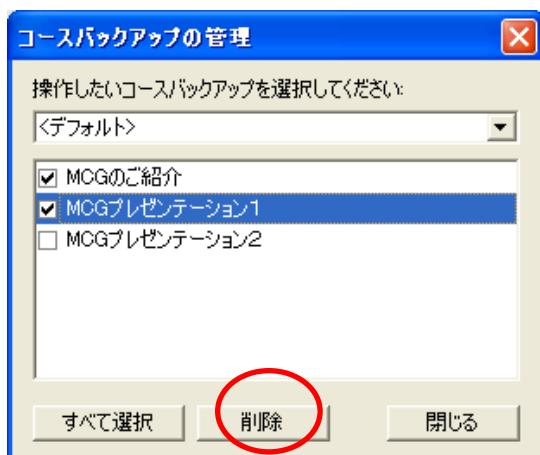


2. 削除したいバックアップコースを選択します。



3. 【削除】ボタンをクリックして削除を行います。

①



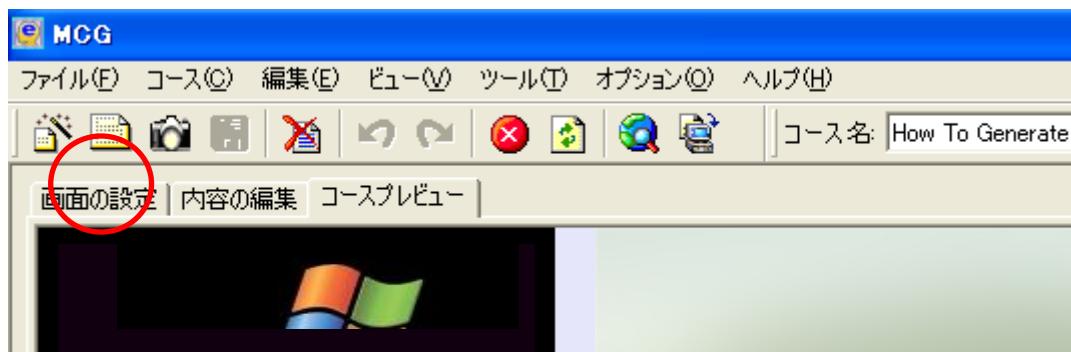
②



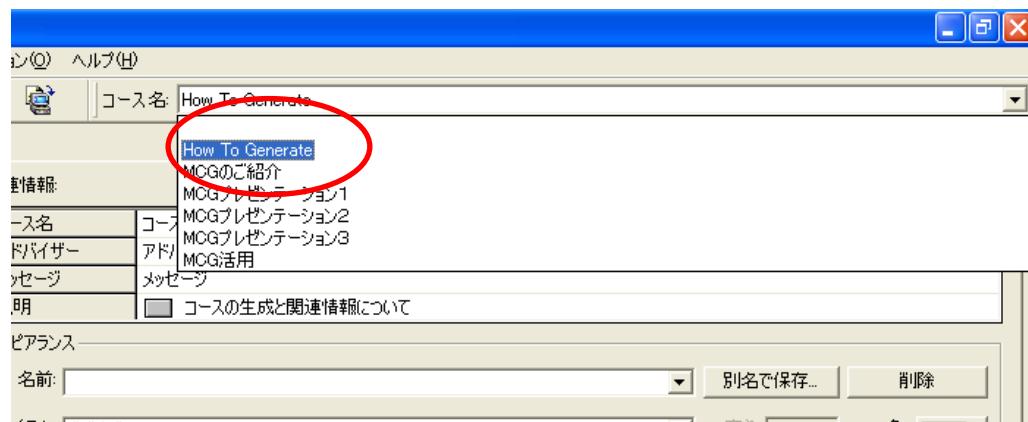
第3節 コース情報の設定

コース名を設定します。

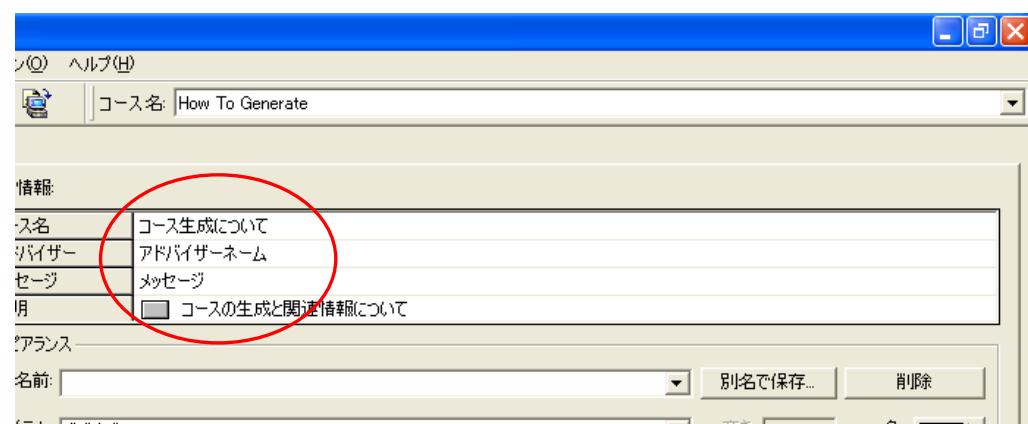
1. 「画面の設定」タブをクリックします。



2. コース名プルダウンをクリックして、編集したいコースを選択します。アピアランス項目で字体の大きさ、色及びフォントが変更できます。

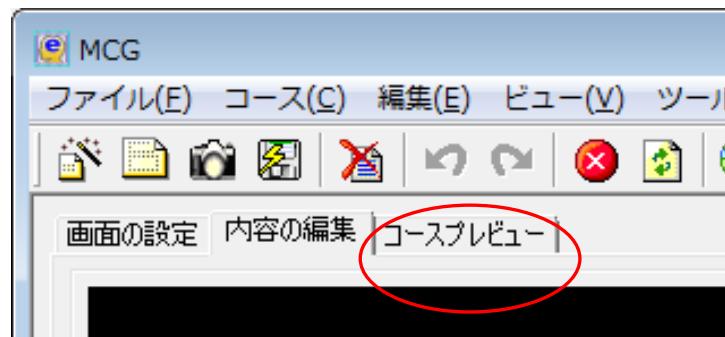


3. 関連情報項目で、コース名、アドバイザー、メッセージ及び説明を編集します。アピアランス項目で字体の大きさ、色及びフォントが変更できます。



※プルダウンのコース名は、コースをサーバへアップロードした時にURLの一部となりますので、半角英数字にします。

4. 「コースプレビュー」タブをクリックします。



5. アドバイザー及びメッセージの設定・編集は、コース名と同様に行います。アドバイザー及びメッセージの表示は、電光掲示板のようにスクロールしながら表示が繰り返されます。

A screenshot of the Course Preview window. On the left, there's a slide with the Windows Media logo. On the right, there's a text area with the word "Multimedia" and a section titled "MCGとは". Below the slide, there's a message box with the text "MCG_info" and "アドバイザーメッセージ". A red circle highlights this message box. To the right of the message box, there's explanatory text about what MCG is and what Syncronized Content is.

第9章 ビデオコンテンツの編集

MCGPro は、優れたコンテンツ編集機能を備えており、コンテンツの管理も容易にできます。コンテンツの編集を完了したら、メニューの【コース】から【メディアファイルを保存】の機能を利用して修正したコンテンツを保存してください。

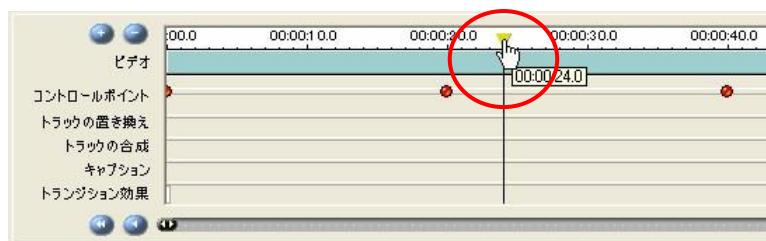
- (1) ビデオ・オーディオの編集
- (2) コンテンツメニューの編集
- (3) スライドの編集
- (4) スクリーンキャプチャの編集

第1節 ビデオ・オーディオの編集

(1) ビデオ・オーディオの削除

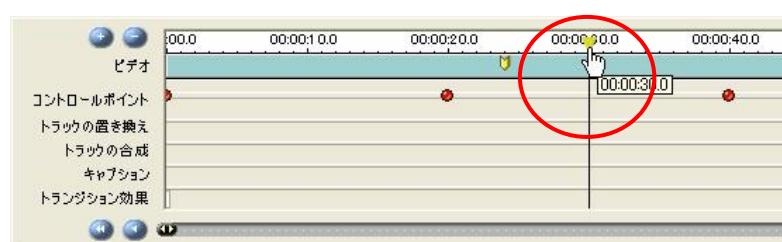
削除したい起点及び終止点を選んで、この二点それぞれにおいて手のひらツールをクリックします。削除するエリアがグレーで表示されたら、はさみツールで削除できます。

- ①
手のひらツールで任意の位置にポジションポインタを移動します。削除の起点が設定されます。



- ②
【操作ブロックを定義】ボタンをクリックして、削除の起点の定義をします。もう一つ、操作ブロックを定義するためのポインタが現れます。

- ③
手のひらツールでポジションポインタを移動し、削除の終点を設定します。



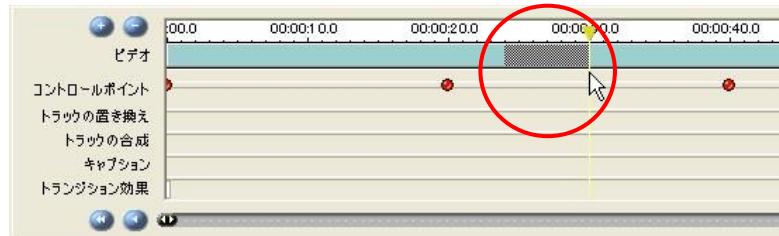


④

【操作ブロックを定義】ボタンをクリックすると、削除対象の検索プロックが定義されます。

⑤

図の色が反転した部分
が操作ブロックになります。



⑥

【削除ゾーンのマーク】ボタンをクリックすると、操作ブロックが削除されます。



(2) ビデオ・オーディオの挿入

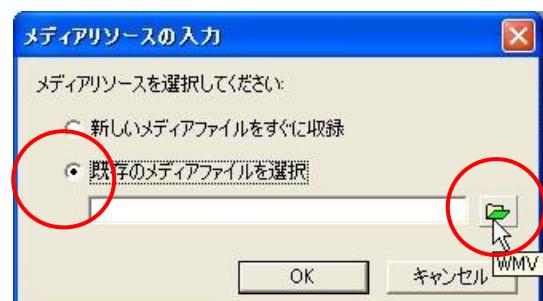
- 既存のメディアファイルを挿入する場合

①

手のひらツールで任意の位置にポジションピントを移動し、ビデオ・オーディオファイルの挿入位置を設定します。



②【ビデオフレームの挿入/置き換え】ボタンをクリックして、「メディアリソースの入力」ウィンドウを表示します。



③【既存のメディアファイルを選択】を選択して、【OK】ボタンをクリックします。「ファイルを開く」ウィンドウが表示されます。



③ 挿入したいメディアファイルを選択して【開く】ボタンをクリックします。

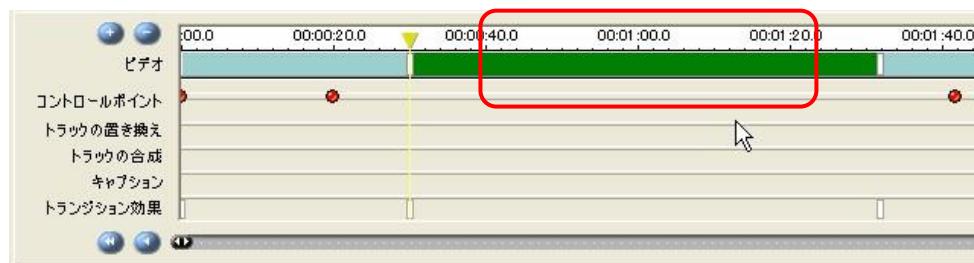
④ メディアファイルを選択したら【OK】ボタンをクリックします。



⑤ 確認ダイアログが表示されるので、【OK】ボタンをクリックしてメディアファイルの変換を行います。



① ファイルの変換後、挿入部分がタイムライン上に緑色で表示されます。



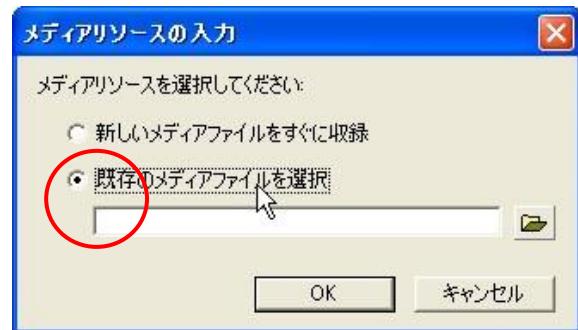
※ 現在、QuickTime／AVI フォーマットの動画を挿入することはできません。

(3) ビデオ・オーディオの置き換え

録画済みのビデオ・オーディオを置き換えることができます。

- 既存のメディアファイルで置き換える場合

- ① 【既存のメディアファイルを選択】を選択して、【OK】ボタンをクリックします。「ファイルを開く」ウィンドウが表示されます。



- ② 置き換えた
いメディアファイル
を選択して
【開く】ボタンをク
リックします。

- ③ 置き換えるメディアファイルは、タイ
ムラインにマークした時間と等しくなるよ
うにします。

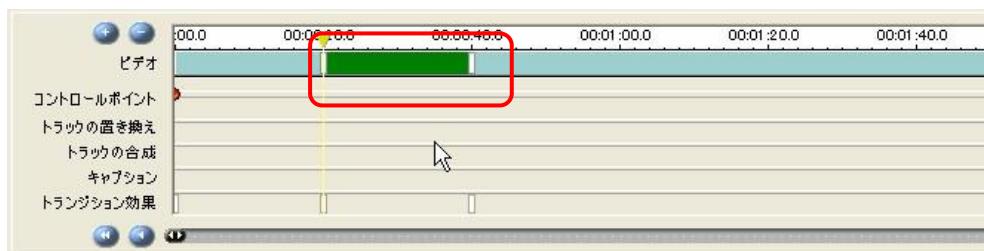
**収録時間の長いメディアファイルを使用
すると、意図しない部分も置き換えられ
てしまいます。**



- ④ 確認ダイアログが表示されるので、【OK】ボタンをクリックしてメディアファイルの
変換を行います。



- ⑤ ファイルの変換後、置き換え部分がタイムライン上に緑色で表示されます。



※ 現在、QuickTime／AVI フォーマットの動画を挿入することはできません。

(2) 音量とビデオの調整

【音声とビデオの調整】ボタンをクリックすると「音量とビデオの調整」ウィンドウが現れます。各スライドを調節することで、ビデオの音量、明るさとコントラストを調整することができます。

- 音量: 右へスライドするほどビデオの音量が大きくなります
- 明るさ: 右へスライドするほどビデオの明るさが増します
- コントラスト: 右へスライドするほどビデオのコントラストが大きくなります。

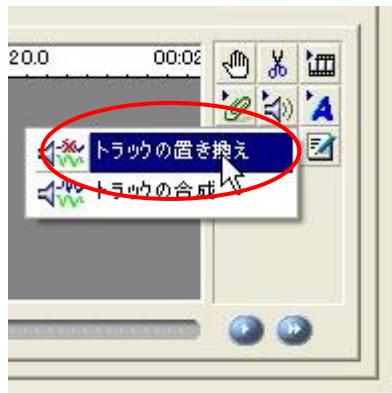
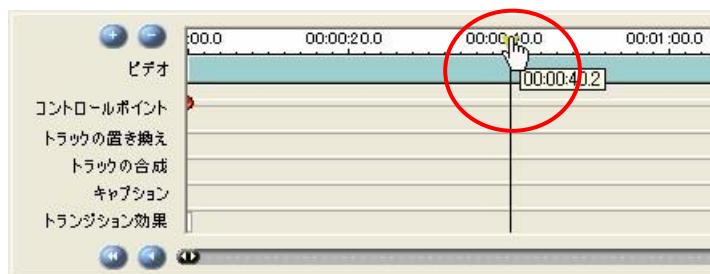


(3) オーディオの合成と置き換え

【音声ファイルを追加】ボタンをクリックし、オーディオファイルを取り込んで、BGM 用途にオーディオの合成、または任意の範囲のオーディオを取り込んだオーディオファイルと置き換えることができます。合成・置き換えたオーディオの範囲は、タイムラインのトラック上の置き換え・トラックの合成が青色で表示されます。

- ・ トラックを置き換える場合

- ①手のひらツールで任意の位置にポジションポイントを移動し、オーディオトラック置き換えの位置を設定します。

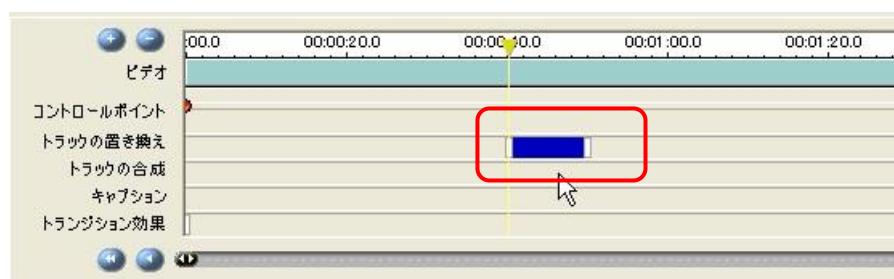


- ②【トラックの置き換え】ボタンをクリックして、「ファイルを開く」ウィンドウを開きます。

- ③ メディアファイルを選択して、【開く】ボタンをクリックします。

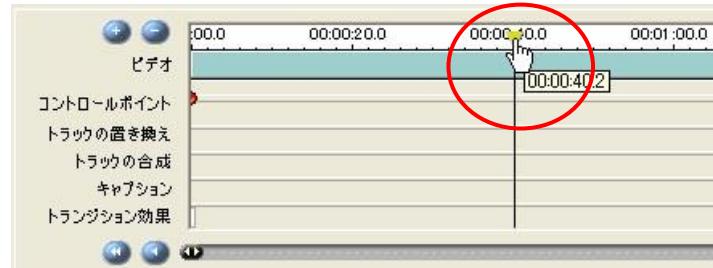


- ④ 置き換えられたオーディオトラック部分は、タイムライン上に青色に表示されます。



・ トラックを合成する場合

- ① 手のひらツールで任意の位置にポジションポイントを移動し、オーディオトラック合成の位置を設定します。

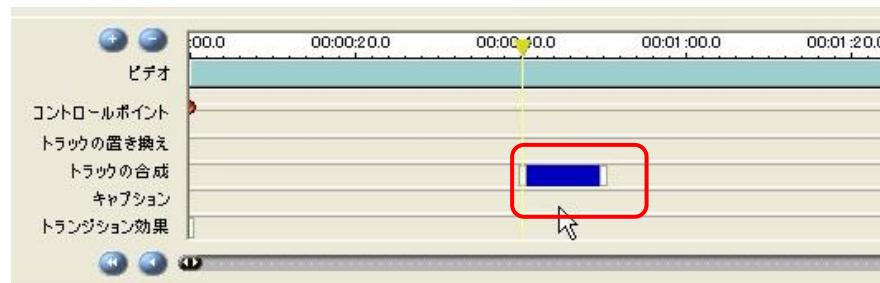


- ② 【トラックの合成】をクリックして、「ファイルを開く」ウィンドウを表示します。

- ③ メディアファイルを選択して、【開く】ボタンをクリックします。



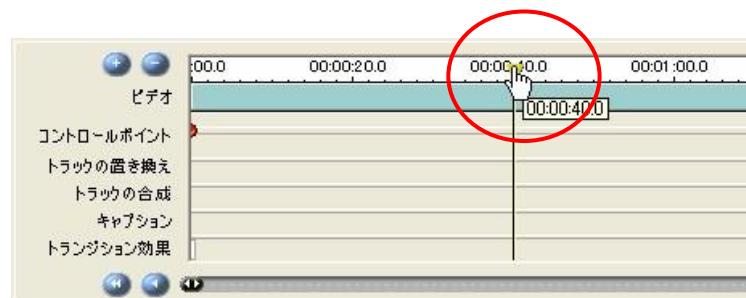
- ④ 合成されたオーディオトラック部分は、タイムライン上に青色に表示されます。



- (4) オーディオのミュート

選択した一部のビデオフレームをミュート(消音)することができます。適当なビデオ・オーディオの範囲を手のひらツールで選択して、【一部のビデオフレームをミュートする】ボタン~~OK~~をクリックするとミュートすることができます。ミュートされたビデオ・オーディオ部分は、次のように赤色で表示されます。

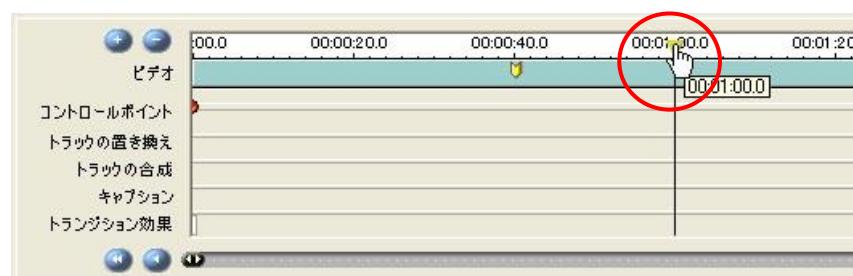
- ① 手のひらツール任意の位置にポジションポインタを移動し、ミュートの始点を設定します。





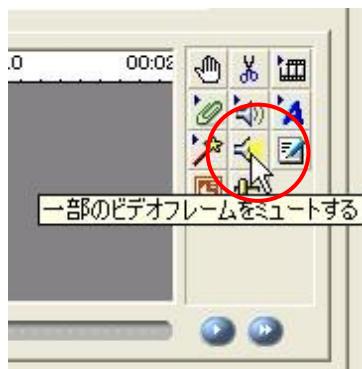
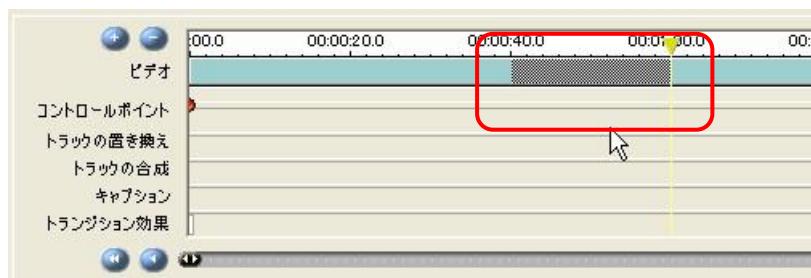
② 【操作ブロックを定義】ボタンをクリックして、ミュートの始点の定義をします。

③ 手のひらツールでポジションポイントを移動し、ミュートの終点を設定します。



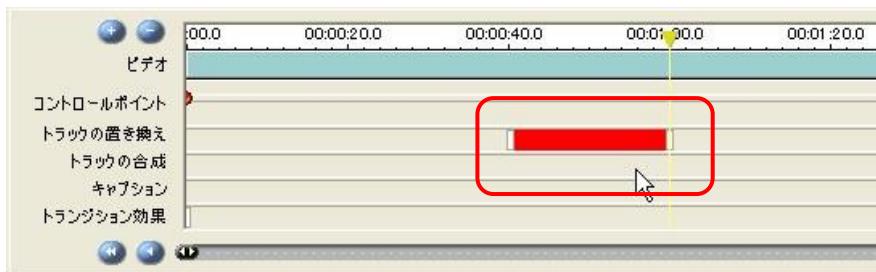
④ 【操作ブロックを定義】ボタンをクリックすると、ミュート対象の操作ブロックが定義されます。

⑤ 図の色が反転した部分が操作ブロックになります。



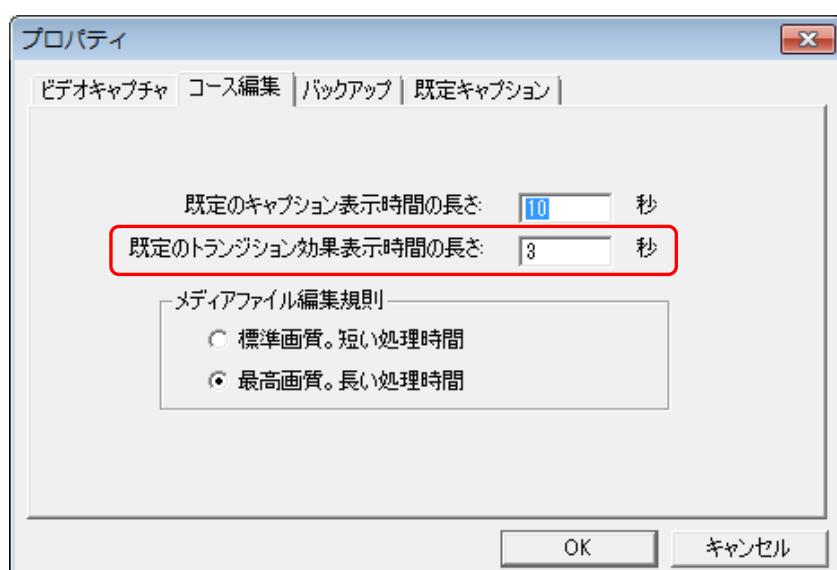
⑥ 【一部のビデオフレームをミュートする】ボタンをクリックして操作ブロックをミュートします。

⑦ ミュートされた部分がタイムライン上に赤色で表示されます。



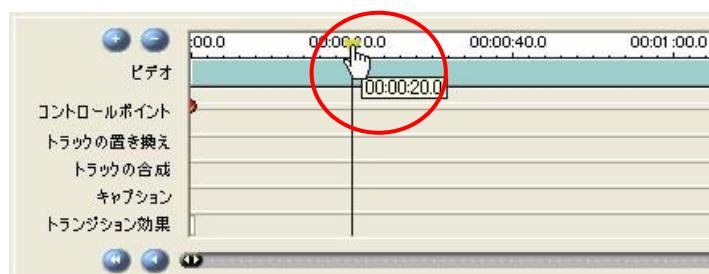
(5) トランジションの効果

MCGPro では、トランジション効果を追加できます。メニューの【オプション】から【プロパティ】をクリックすると、「プロパティ」ダイアログが現れます。【コース編集】タブの「既定のトランジション効果表示時間の長さ」を設定します。



適当なビデオ・オーディオ位置に時間インジケータを移動し、【トランジション効果を追加】ボタン をクリックすると、「効果の選択」ウィンドウが現れます。追加したいトランジション効果を選択してください。

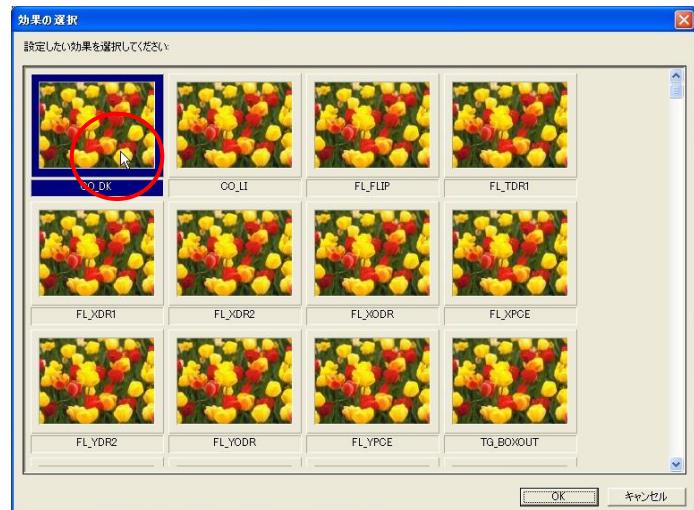
① 手のひらツールでポジションポイントを移動し、トランジション効果の挿入位置を設定します。



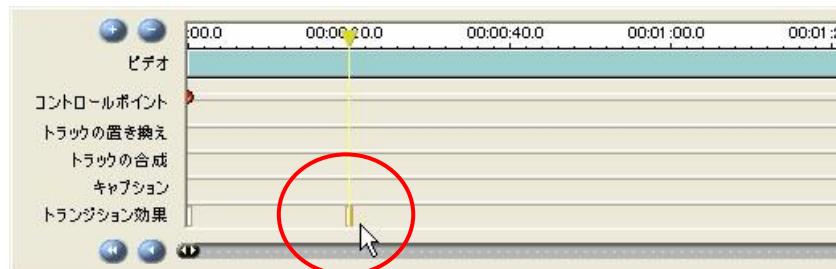


②【トランジション効果を追加】ボタンをクリックして「効果の選択」ウィンドウを表示します。

③ 効果を選択して【OK】ボタンをクリックします。

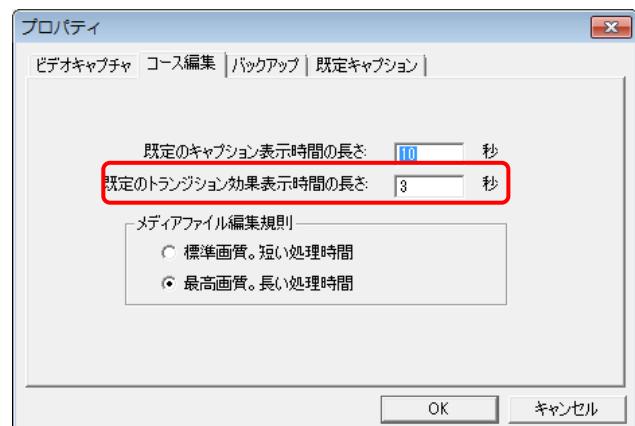


④ 插入されたトランジション効果は、タイムライン上で下図のように表示されます。

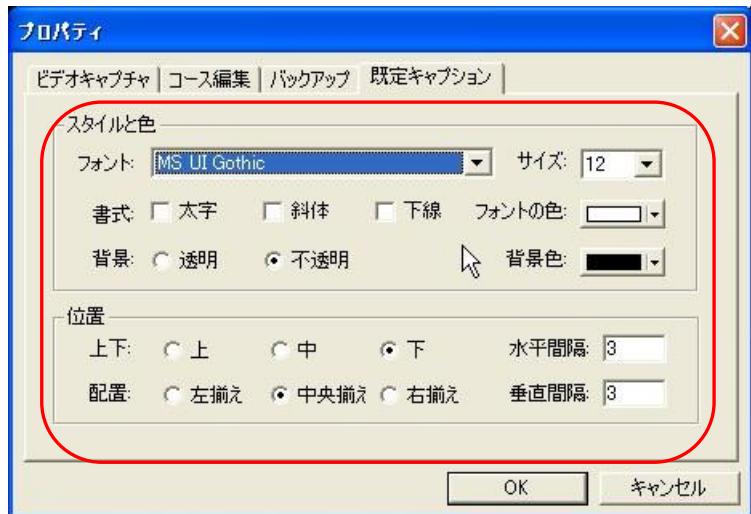


(8) 字幕(キャプション)の追加

MCGPro では、字幕を追加することができます。メニューの【オプション】から【プロパティ】をクリックすると、「プロパティ」ダイアログが現れます。【コース編集】タブの「既定のキャプション表示時間の長さ」を設定します。

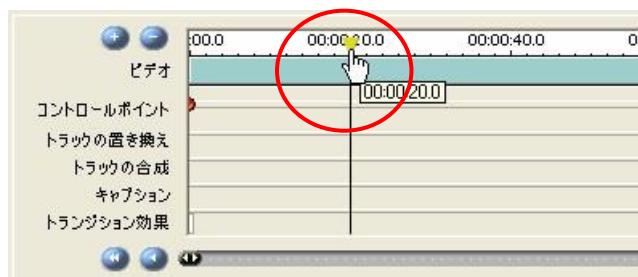


次に、【既定キャプション】タブの「スタイルと色」、「位置」を設定します。



適当なビデオ・オーディオ位置に時間インジケータを移動し、【キャプションを追加】ボタン'A'をクリックすると「キャプションを入力」ダイアログが現れます。字幕の内容及び関連設定を入力してください。

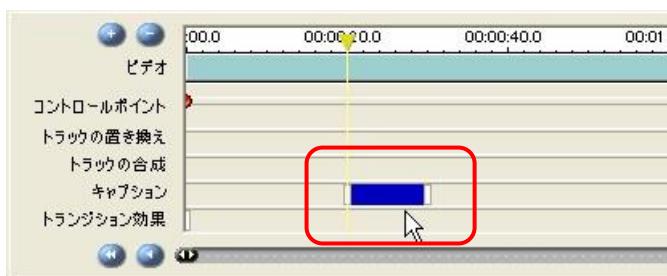
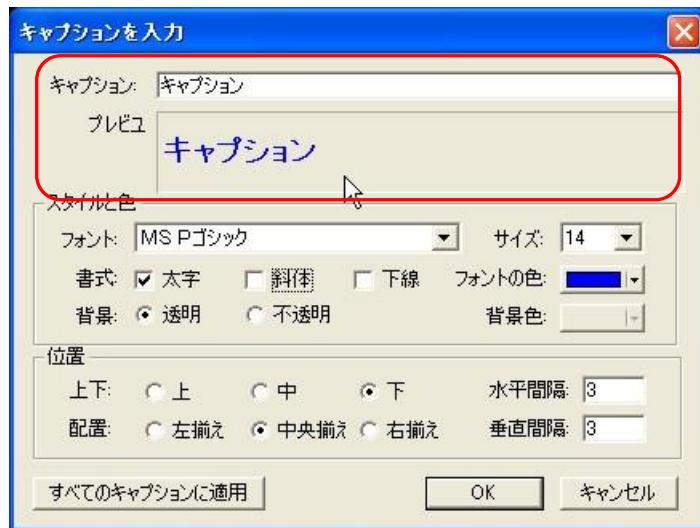
① 手のひらツールで任意の位置にポジションピントを移動し、キャプションの挿入位置を設定します。



② 【キャプションを追加】ボタンをクリックし、「キャプションを入力」ウィンドウを表示します。



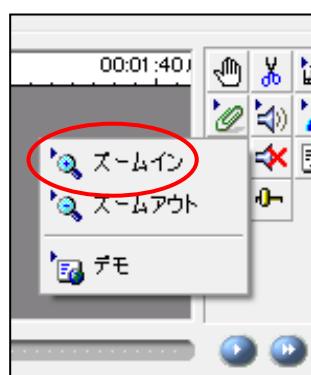
③ キャプションを入力します。



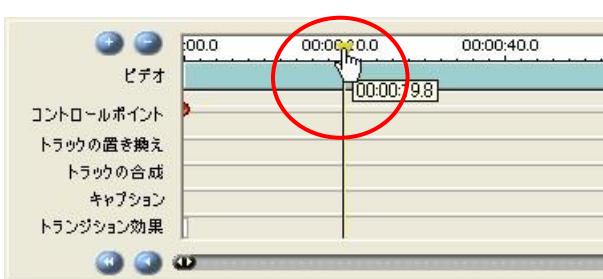
④ 插入されたキャプションは、タイムライン上で下図のようになります。

(9) 画像の「ズームイン/ズームアウト」の設定

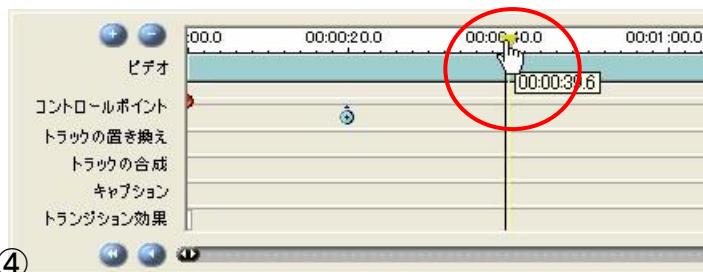
MCG では、画像のズームイン(動画をスライド部分に表示)/ズームアウト(元に戻す)を行うことができます。適当なビデオ・オーディオ位置で【コントロールポイントを追加】ボタン + をクリックして、画像のズームイン/ズームアウト表示の設定を行います。



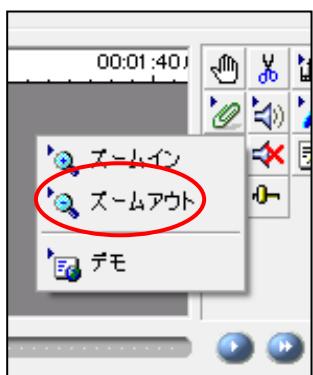
① 手のひらツールで任意の位置にポジションポインタを移動し、ズームインの位置を設定します。



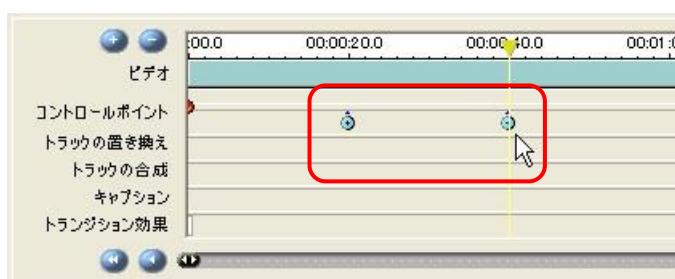
② 【ズームイン】をクリックして、ズームインコントロールポイントを挿入します。



④

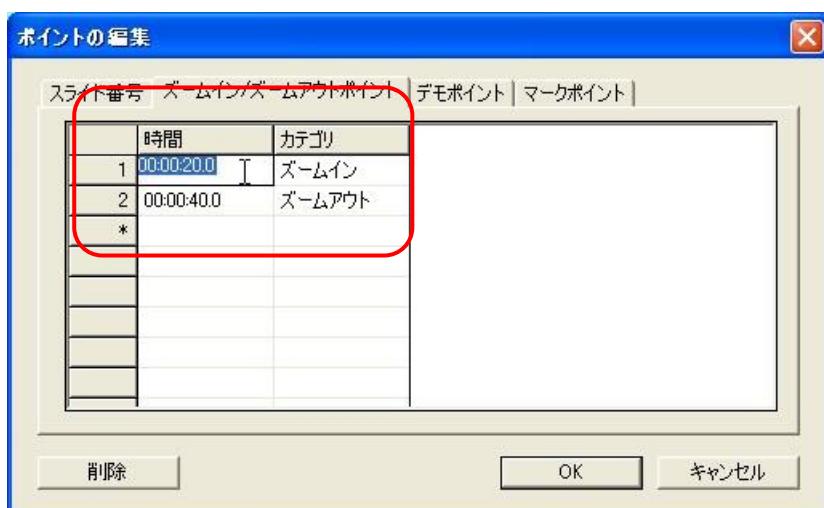


⑤ 【ズームアウト】をクリックして、ズームアウトコントロールポイントを挿入します。



⑥ ズームイン・ズームアウトは、タイムライン上で図のよう表示されます。

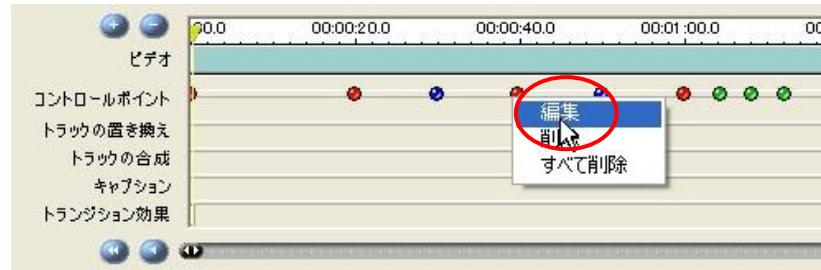
タイムライン上で設定済みのズームポイントを右クリックすると、「ポイントの編集」ダイアログが現れます。【ズームイン/ズームアウトポイント】タブを表示して、時間欄、カテゴリ欄の設定の修正を行うこともできます。



第2節 コンテンツメニューの編集

下の図からコントロールポイント(赤、緑または青のスポット)を選択し、右クリックして「編集」をクリックするか、または【コントロールポイントの編集】ボタンをクリックすると、「ポイントの編集」ダイアログが現れます。【スライド番号】タブで、コンテンツメニューの内容や同期する時間を修正することができます。

- ① コントロールポイントを右クリックして、【編集】を選択します。



- ② 【コントロールポイントの編集】ボタンをクリックして、「ポイントの編集」ウィンドウを表示します。

- ③ 右図のウィンドウで、コントロールポイントの同期などを細かく設定できます。

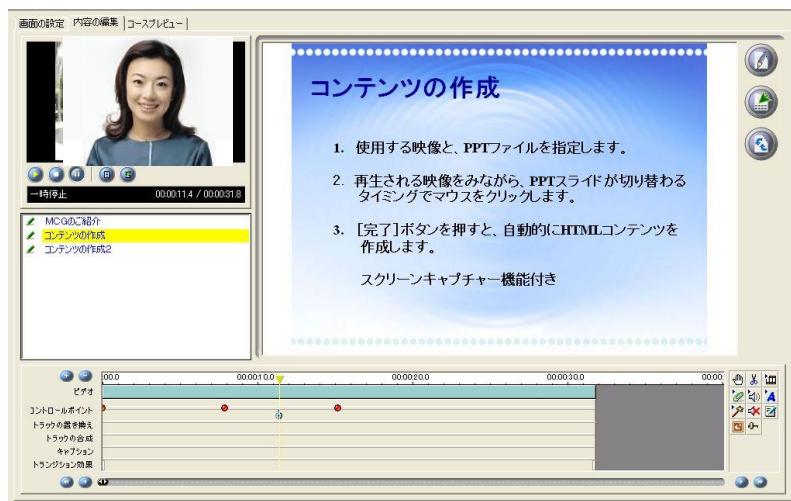


第3節 PowerPoint スライドの編集

コース作成後、PowerPoint スライドを修正して(スライドの枚数を増加または減少せずに)、改めてコースを作成します。

(1) PowerPoint スライドの枚数を変えずにコースの再作成

PowerPoint スライドの誤字などを修正したい場合は、【PowerPoint ファイルを編集】ボタン①をクリックして選択したコースの PowerPoint スライドを開き、修正・保存して PowerPoint を終了します。その後で【新しい PowerPoint ファイルでコースを再作成】ボタン②をクリックすると、改めてコースを作成できます。この場合、PowerPoint のスライドから改めてコンテンツメニューエリアのハイパーリンク文字列を作成するか、または元のハイパーリンク文字列を保留するかを確認するダイアログボックスが表示されます。「いいえ」を選ぶと、新たにハイパーリンク文字列は作成されません。改めてコースを作成する際にかかる時間は、1 時間のコースの場合で2分弱程度です。



(2) PowerPoint スライドの枚数を追加した場合のコースの再作成

PowerPoint のスライドを追加したい場合、【PowerPoint ファイルを編集】ボタン①をクリックすると、選択したコースの PowerPoint ファイルを Microsoft PowerPoint アプリケーションで開きます。この場合、**追加するスライドが、元のコースの同期設定に影響しないよう、一番後に加えてください。** スライドを追加した後、ファイルを保存して PowerPoint を終了します。

MCG に戻り、【新しい PowerPoint ファイルでコースを再作成】ボタン②をクリックしてコースの再作成を行ってください。

(3) PowerPoint スライドを削除する(スライドの枚数を減らす)

スライドを削除したい場合、選択した PowerPoint のスライドを実際に削除する必要はありません。次のいずれかの方法でコースを編集してください。

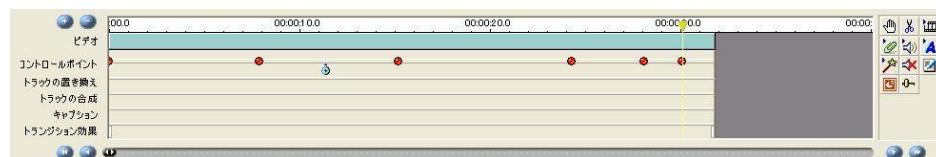
- PowerPoint スライド及びビデオ・オーディオと一緒に削除する。

この操作は、第 1 節のビデオ・オーディオの削除と同様です。ビデオ・オーディオの削除確認ウィンドウにおいて、コントロールポイントも削除するよう指定します。



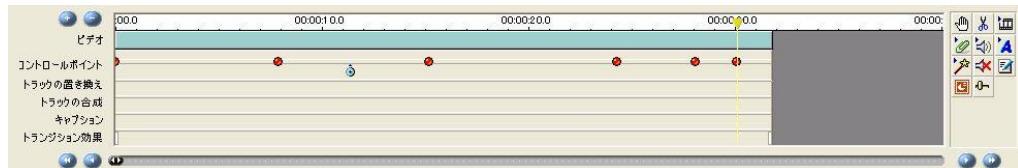
- PowerPoint のスライドのみ削除

【コントロールポイントの編集】ボタンで、コンテンツメニューの中から不要な PowerPoint スライドを選択し、【削除】ボタンを押してください。



第4節 スクリーンキャプチャの編集

適当なビデオ・オーディオ位置で【コントロールポイントの追加】のアイコンをクリックして【デモ】を選択すると、スクリーンキャプチャの画像を指定した時間に追加できます。



挿入した【デモ】ポイントの上でマウスの右ボタンをクリックし、表示されたメニューから右の図にある【スクリーンキャプチャ】機能を選んでスクリーンキャプチャ操作を行うか、【ファイルを取り込む】機能で既存のスクリーンキャプチャファイルをインポートします。スクリーンキャプチャの録画が完了したら、【ビデオを見る】機能を使ってスクリーンキャプチャの内容をプレビューできます。もしスクリーンキャプチャを録画し直したい場合は、もう一度【スクリーンキャプチャ】機能を選んで二回目のスクリーンキャプチャ操作を行ってください。

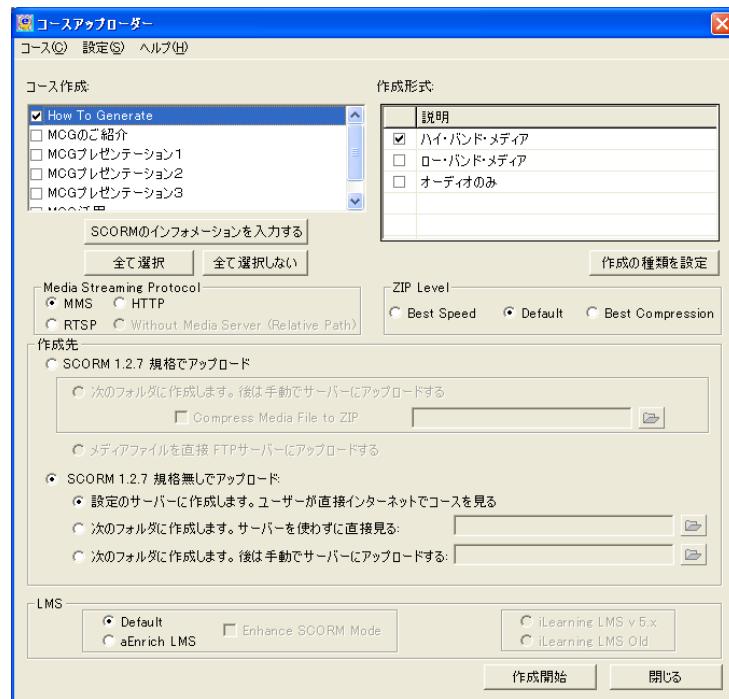


第10章 コースアップロードツール

第1節 コース作成機能

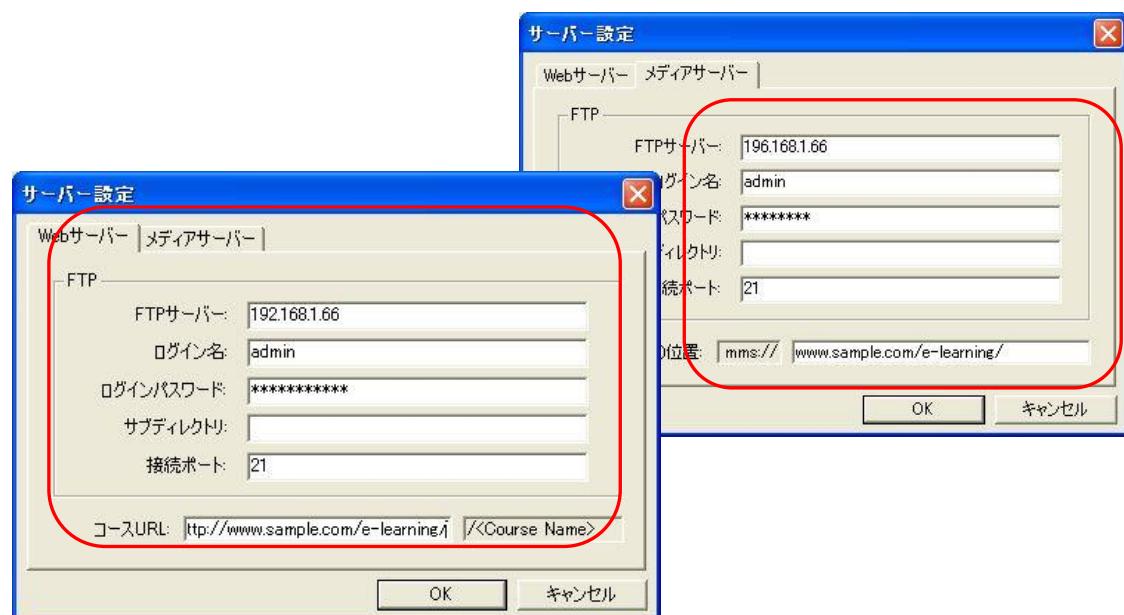
MCGPro を使ってコースをサーバーにアップロードできます

- メニュー【ツール】→【コースアップローダー】を選択します。「コースアップローダー」ウィンドウが開きます。



3. サーバーの設定:

【設定】ドロップダウンメニューを選択して【サーバー設定】を選びます。Web サーバー及びメディアサーバーに必要なパラメーターを入力してください。



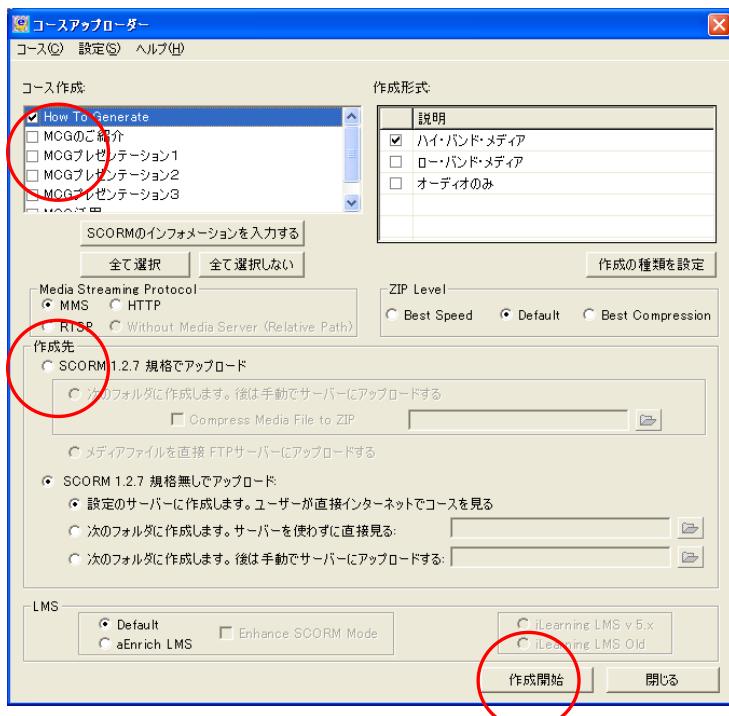
4. アップロードのタイプ設定:



メニュー【設定】→【作成形式設定】を選ぶと、下図「アップロードのタイプを設定」ウィンドウが開きます。また、【作成の種類を設定】ボタンを押すことでも同じようにウィンドウが開きます。ここで、ラジオボタン【次の設定で各メディアファイルを変換】を選択すると、デフォルトと異なる帯域幅のエンコード方式を設定することができます。

収録に使用した録画デバイス（ビデオ/オーディオリソース）の表示が「USB Camera」などの場合は、「変換せずにコースのメディアファイルを使う」にチェックを付けて下さい。「次の設定で各メディアファイルを変換」にチェックを付けてエンコード方式の設定を変更した場合、正常に出力が行われない場合があります。

5. アップロードの実施:



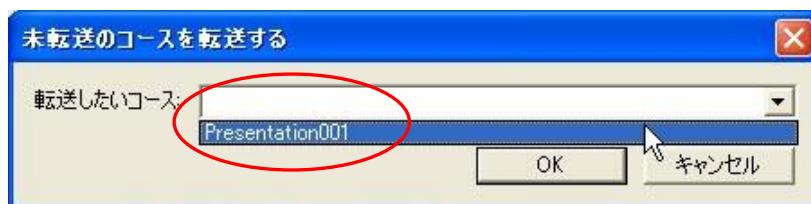
2、3 の設定が済んだら、【コース作成一覧】からサーバへアップロードしたいコースを選択し、【作成先】を選択して、下部の【作成開始】ボタンを押下します。コースのアップロードが開始されます。

第2節 その他機能

1. 途中になってしまったアップロードを再開する

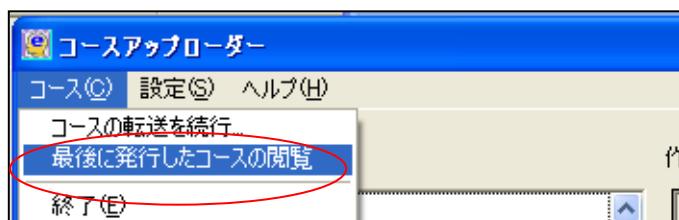


- ① メニュー【コース】→【コースの転送を続行】を選択して、「未転送のコースを転送する」ウィンドウを開く。



- ② 【転送したいコース】プルダウンからアップロードが途中になってしまったコースを選択して【OK】ボタンを押下。

2. アップロードしたコースをブラウザでプレビューする



- ① コースをアップロード後、メニュー【コース】→【再度に発行したコースの閲覧】を選択する。

3. Media Streaming Protocol 設定



アップロードしたコンテンツを閲覧する際に参照する動画のパスの記述を設定します。

項目名	説明
MMS	動画のパスは、mms://～で始まります。
HTTP	動画のパスは、http://～で始まります。
RTSP	動画のパスは、rtsp://～で始まります。
Without Media Server (Relative Path)	動画のパスは、htmlコンテンツの相対パスになります。

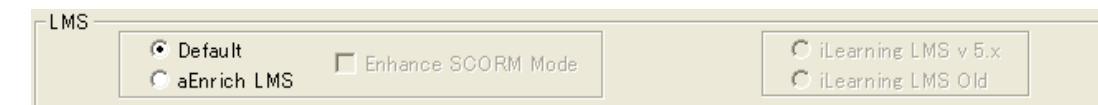
4. Media Streaming Protocol 設定



コンテンツのアップロード先を指定します。

項目		説明
SCORM 1.2.7 規格でアップロード	次のフォルダに作成します。後は手動でサーバーにアップロードする	すべてのコンテンツが、選択したフォルダへ出力されます。ビデオ・オーディオファイル以外のコンテンツは ZIP 圧縮されます。
	メディアファイルを直接 FTP サーバーにアップロードする	ビデオ・オーディオファイルは、設定したメディアサーバーへアップロードします。その他のコンテンツは、ZIP 圧縮され、選択したフォルダへ出力されます。
SCORM 1.2.7 規格なしでアップロード	設定のサーバーに作成します。ユーザーが直接インターネットでコースを見る	ビデオ・オーディオファイルは、設定したメディアサーバーへアップロードされます。それ以外のコンテンツは、Web サーバーへアップロードされます。
	次のフォルダに作成します。サーバーを使わずに直接見る	すべてのコンテンツが、選択したフォルダに出力されます。
	次のフォルダに作成します。後は手動でサーバーにアップロードする	すべてのコンテンツが、サーバーにアップロードしてから閲覧できる形式で、選択したフォルダに出力されます。

5. LMS 設定



項目	説明
Default	大部分の LMS プラットフォームで選択します。Enhance SCORM Mode にチェックして互換性の問題が発生した場合はチェックをはずしてください。
aEnrich	aEnrich Learning Management System を使用している場合に選択します。
iLearning LMS v 5.x	iLearning Ver5.0 以上の LMS プラットフォームを使用している場合に選択します。
iLearning LMS Old	iLearning Ver5.0 以前の LMS プラットフォームを使用している場合に選択します。

第3節 コースアップローダーのトラブルシューティング

STEP1: 例えば、コースアップローダーを使ってsample01というコースを以下のURLにアップロードしたとします。

Web Server http://www.sample.com/e-learning/

Media Server mms://media.sample.com/e-learning/

STEP2: インターネットエクスプローラーで、

http://www.sample.com/e-learning/sample01/index.htm または

http://www.sample.com/e-learning/sample01/combination0/default.htm

を指定して、コースが再生できるかどうか確認します。コースを再生できない場合は、以下の手順を踏みます。

STEP3: コースsample01のビデオ・オーディオファイルが、次のURLからIEを使って単独に再生できるかどうか確認してください:

mms://media.sample.com/e-learning/sample01/v_combination0/default.wmv

問題がある場合、コースアップローダーで設定したメディアサーバーの、各パラメータが正しいか確認してください。

例えば、メディアサーバーのURLがmms://media.sample.com/で、その実際のパスがC:¥ASFRootである場合、ビデオ・オーディオファイル(default.wmv)が既にMedia ServerのC:¥ASFRoot/e-learning/sample01/v_combination0/フォルダの下にアップロードされているかどうかを確認してください。

ビデオ・オーディオファイルがどうしても再生できない場合、Media Server管理者に連絡して、問題を解決してください。

STEP4: コースsample01のHTMLファイルのWeb Serverにおける実際パス、及びファイル_frame.htmに記述されたビデオ・オーディオファイルURLが正確かどうかを確認してください。

例えば、Web Server URLがhttp://www.sample.com/で、

その実際パスがC:¥Inetpub\wwwrootの場合、sample01のHTML関連ファイル(index.htm, combination0サブフォルダ[default.htm及びhtmlサブフォルダを含む])が既にアップロードされているかどうか確認してください。

Web ServerのC:¥Inetpub\wwwroot\e-learning\sample01\フォルダに移動し、htmlサブフォルダ内の”_frame.htm”を”Notepad”、あるいはその他のテキストエディタで開き、以下の二行のテキストを探します。

```
var g_strServer="mms://media.sample.com/e-learning/sample01/v_combination0/";
```

```
var g_strDefaultASF="default.wmv";
```

もし上記の内容と一致していない場合は、手動で修正・保存し、再びStep 2を実行してコースを再生してください。

注: 上記の手動で行った操作を参考に、コースアップローダーのパラメーター設定を修正した後、コースアップローダーが正確に機能するかどうかを確認するため、もう一度アップロード作業を行ってください。

第4節 手動設定でのコースアップロード

例えば、アップロードしたいコースのコース名がsample01で、MCGProインストールフォルダに保存されている場合

【例】 C:\eKDI\MCGPro\Coursesサブフォルダ

STEP1: sample01 コースファイルフォルダにあるファイル(太字)をそれぞれ次のサーバーのフォルダにコピーしてください

- (1) Web Server: http://www.sample.com/e-learning/sample01/
 - **default.htm**
 - **html(サブフォルダは html/videos、サブフォルダ及びサブフォルダ内のファイルを含まない)**
- (2) Media Sever: mms://media.sample.com/e-learning/sample01/
(例えば Media Sever の URL は mms://media.sample.com/ で、実際パスは C:\ASFRoot/であるため、次の html/videos サブフォルダ内の **default.wmv** などのファイルは C:\ASFRoot/e-learning/sample01/フォルダの下にコピーされる)
 - **html (サブフォルダ)内の html/videos サブフォルダ内の default.wmv 等のファイル**

注: コース内にあるその他のファイル(以下に例示)はコース編集の際にのみ必要なファイルなので、オンラインサーバーにコピーする必要はありません。

- **video(サブフォルダ)**
- **Course.ini**
- **YourCoursePointPointFile.ppt**

STEP2: コース sample01 のビデオ・オーディオファイルが、インターネットエクスプローラーを使って以下の URL から単独に再生できるかどうか確認してください。

<mms://media.sample.com/e-learning/sample01/default.wmv>

問題がある場合、以下の方法で、Media Server の URL、及びコース sample01 のビデオ・オーディオの Media Server における実際のパスが正確かどうか確認してください。

例えば、Media Server のシングルポイントブロードキャストパス URL が <mms://media.sample.com/> で、その実際のパスが C:\ASFRoot の場合、sample01 ビデオ・オーディオファイル(default.wmv)が既に Media Server の C:\ASFRoot/e-learning/sample01/フォルダの下にアップロードされているかどうか確認してください。

もしコース sample01 のビデオ・オーディオファイルが再生できない場合、Media Server 管理者に連絡して問題を解決してください。

STEP3: サーバーの sample01 の html サブフォルダ内にある _frame.htm の default.wmv の URL を修正してください。

例えばあなたの Web Server URL が http://www.sample.com/ で、その実際のパスが C:\Inetpub\wwwroot である場合、sample01 の HTML 関連ファイル (default.htm 及び html サブフォルダを含む) が Web Server の C:\Inetpub\wwwroot\ e-learning\sample01\ フォルダの下にアップロードされているかどうかを確認してください。

上記の html サブフォルダから “_frame.htm” を “ノートパッド (Notepad)” または その他のテキストエディタで開き、以下のような二行の文字を探します。

```
var g_strServer = "./";  
var g_strDefaultASF = "video/default.wmv";
```

一行目の内容を次のように修正してください:

```
var g_strServer = "mms://media.sample.com/e-learning/sample01/";  
var g_strDefaultASF = "default.wmv";
```

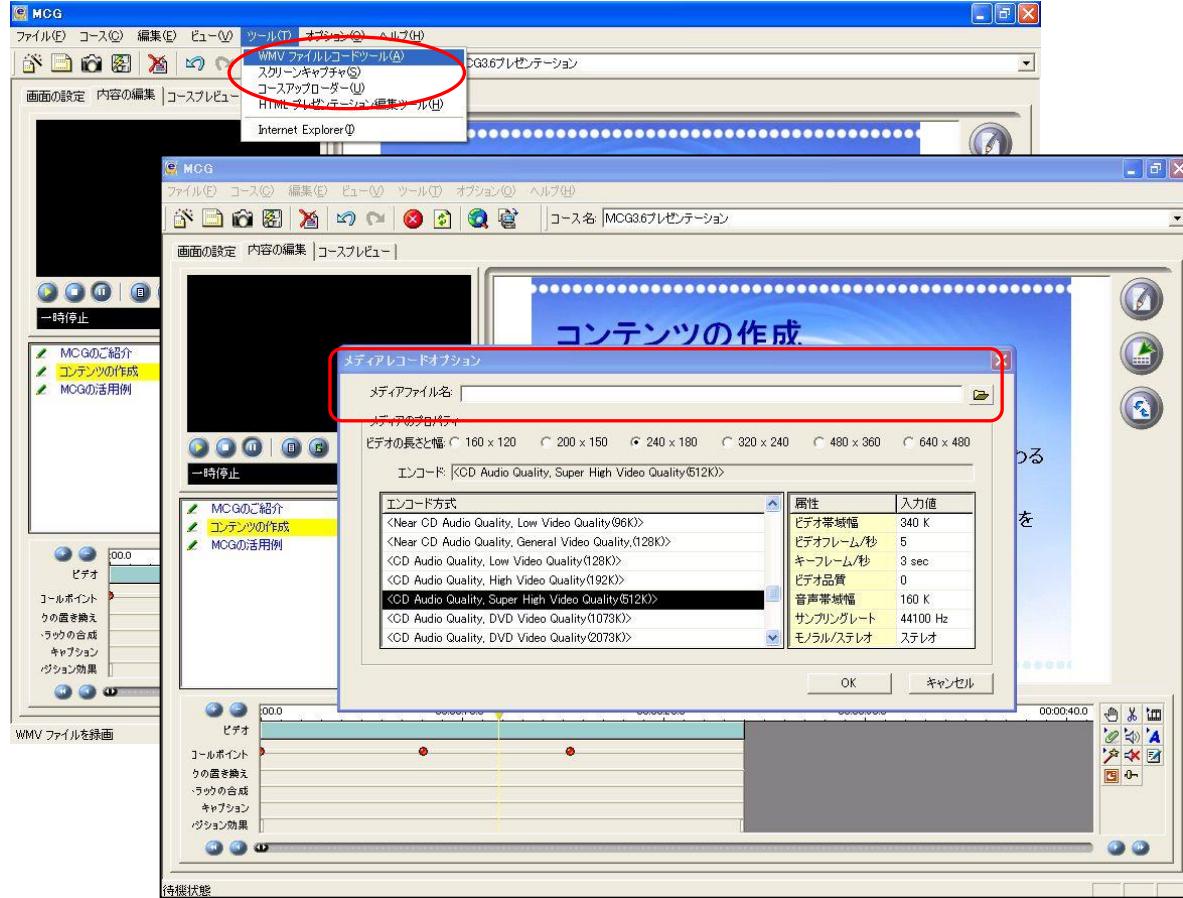
STEP4: IE ブラウザで URL を以下のように指定すると、コースが再生できます。

<http://www.sample.com/e-learning/sample01/default.htm>

第11章 WMV ファイルレコードツール

メニューの【ツール】から【WMV ファイルレコードツール】をクリックして WMV レコードを行います。

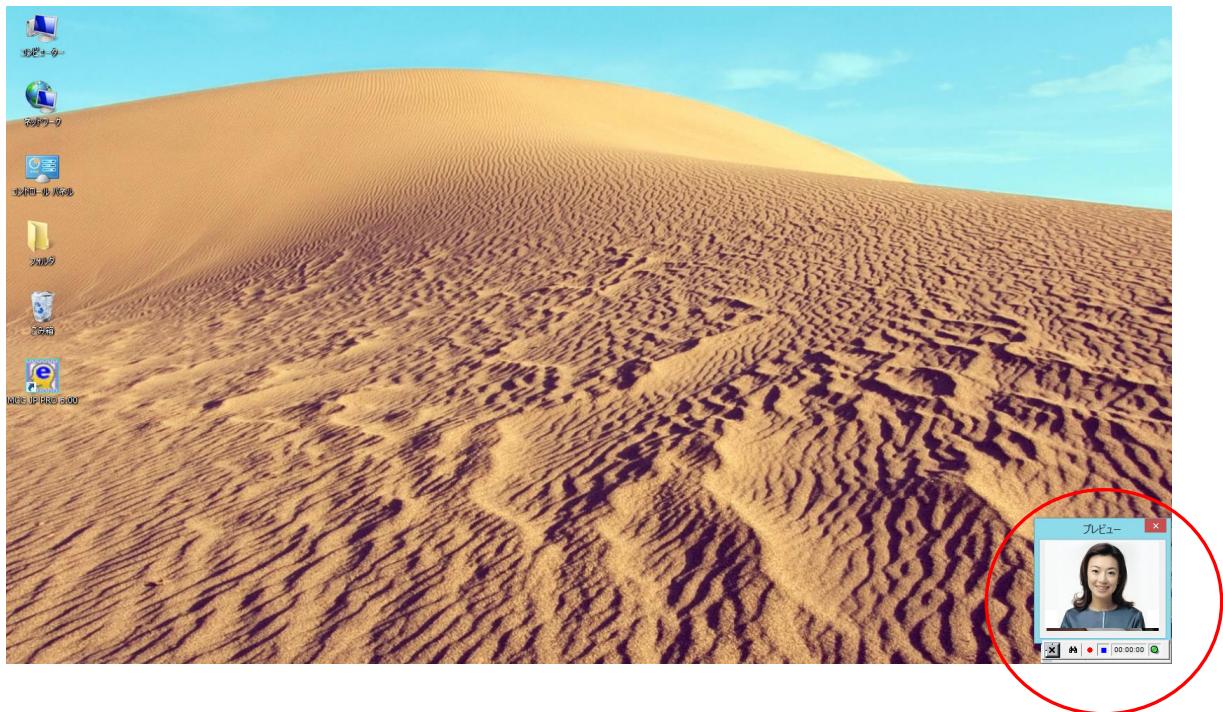
1. 【ツール】のドロップダウンメニューから、【WMV ファイルレコードツール】を選びます。
2. 「ビデオ・オーディオレコードオプション」ウィンドウが開きます。
3. ビデオ・オーディオファイル名をフルパスで入力するか、「新規ファイル保存」ウィンドウを開きます。
4. ファイル名を入力し【OK】キーを押して WMV レコードウィンドウを開きます。
5. 【画面プレビュー】キーを押し「画面プレビュー」ウィンドウを開き、ビデオ装置のフォーカスなどを調整します。
6. 必要があればプレビューウィンドウを閉じます。
7. 【録画】キーを押して録画を始めます。この時、タイマーがカウントを始め、インジケータランプが赤に変わって点滅していれば、システムが録画中になっています。
8. 録画完了後、【閉じる】を押せばシステムが自動的にファイルを保存します。





アイコン	説明
	WMV ファイルレコードを終了し保存する
	画面のプレビュー
	録画を開始する

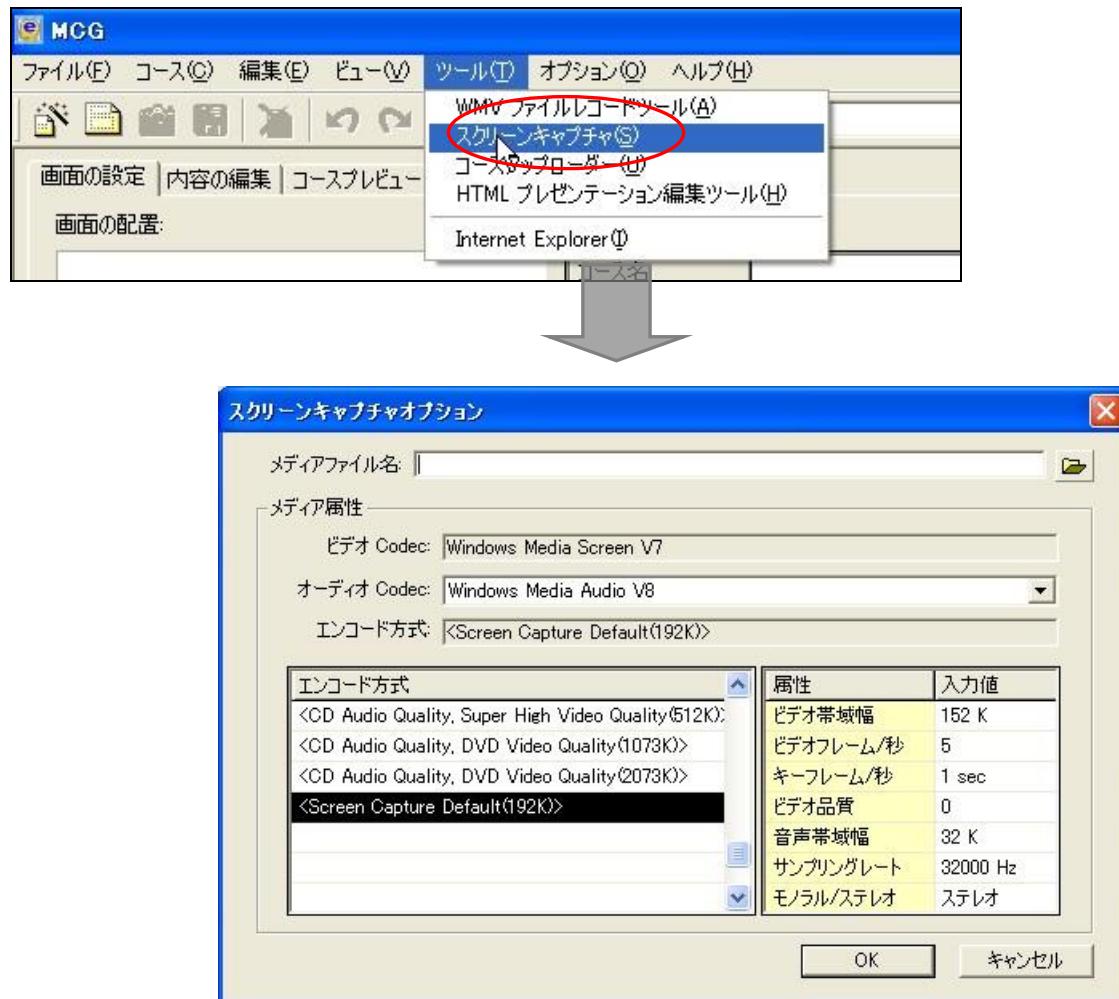
アイコン	説明
	録画停止
	録画時間
	インジケータ
	録画されていない — 緑
	録画中 — 赤



第12章 スクリーンキャプチャツール

【ツール】→【スクリーンキャプチャツール】をクリックして、スクリーンキャプチャを行います。

1. 【ツール】のドロップダウンメニューから、【スクリーンキャプチャ】ツールを選びます。
2. 「スクリーンキャプチャ」ウィンドウが開きます。
3. メディアファイル名をフルパスで入力するか、または「新規ファイル保存」ウィンドウを開きます。
4. ファイル名を入力して【保存】を押し、間違いがなければ【OK】を押してスクリーンキャプチャを行います。
5. 【録画】ボタンを押して録画を始めます。この時タイマーがカウントを始め、インジケータランプが赤に変わって点滅すれば、録画中になっています。
6. 録画完了後、【閉じる】を押すと、スクリーンキャプチャツールが自動でファイルを保存します。





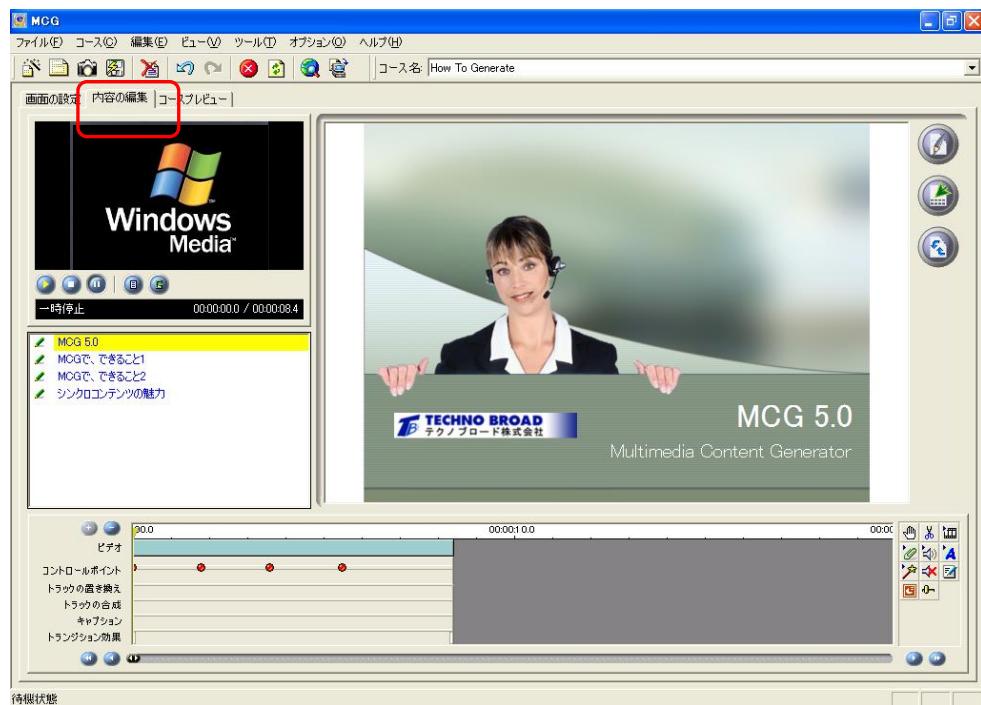
アイコン	説明
	スクリーンキャプチャを終了させ、キャプチャされたファイルを保存します。
	スクリーンキャプチャ開始します。
	スクリーンキャプチャ停止します。 または Ctrl+Q(メインメニュー【オプション】の【プロパティ】で設定した値)を押します。 注: スクリーンキャプチャツールバーを表示中でなければ、キー入力が受け付けられません。

アイコン	説明
	スクリーンキャプチャツールを単独で起動したときは、使用できません。
	録画時間 00:00:00
	ランプ 録画されていない 録画中
	緑色 赤色

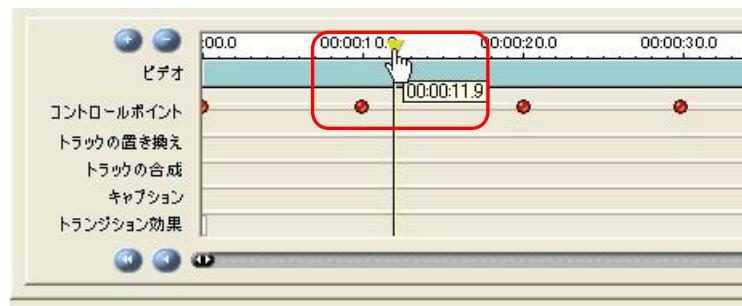
注: スクリーンキャプチャ中には、マウスのダブルクリックが働かなくなります。右クリックから「開く」を選択してください。

編集画面から直接スクリーンキャプチャを行う

- ① コースを開き、【内容の編集】タブを選択します。



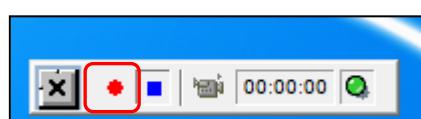
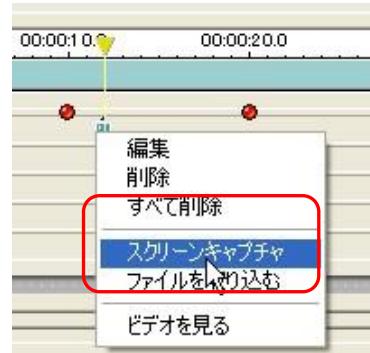
② タイムライン上の任意の位置にポジションポインタを置きます。



③ 【コントロールポイントを追加】ボタンをクリックして【デモコントロールポイント】をタイムラインに追加します。

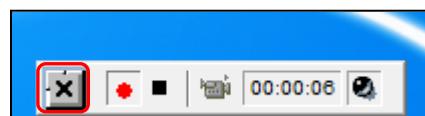


④ 追加した【デモコントロールポイント】を右クリックして【スクリーンキャプチャ】をクリックします。スクリーンキャプチャツールが表示されます。

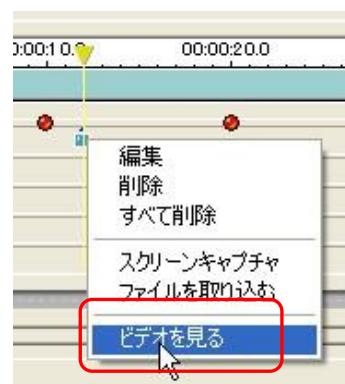


⑤ 【録画】ボタンをクリックしてスクリーンキャプチャを行います。

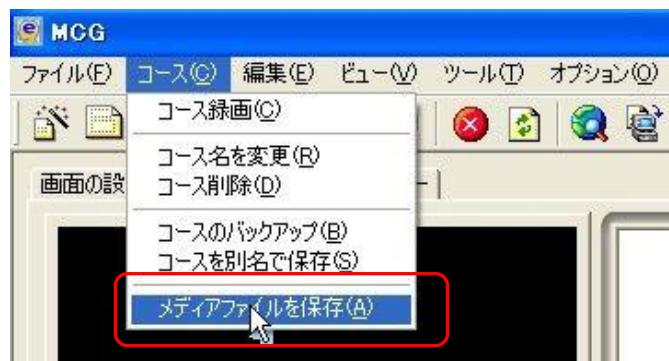
⑥ 録画完了後、【閉じる】ボタンをクリックすると、【デモコントロールポイント】にキャプチャした動画が取り込まれます。



- ⑦ 【デモコントロールポイント】を右クリックして【ビデオを見る】をクリックすると、取り込まれたスクリーンキャプチャ動画をメディアプレーヤで閲覧することができます。

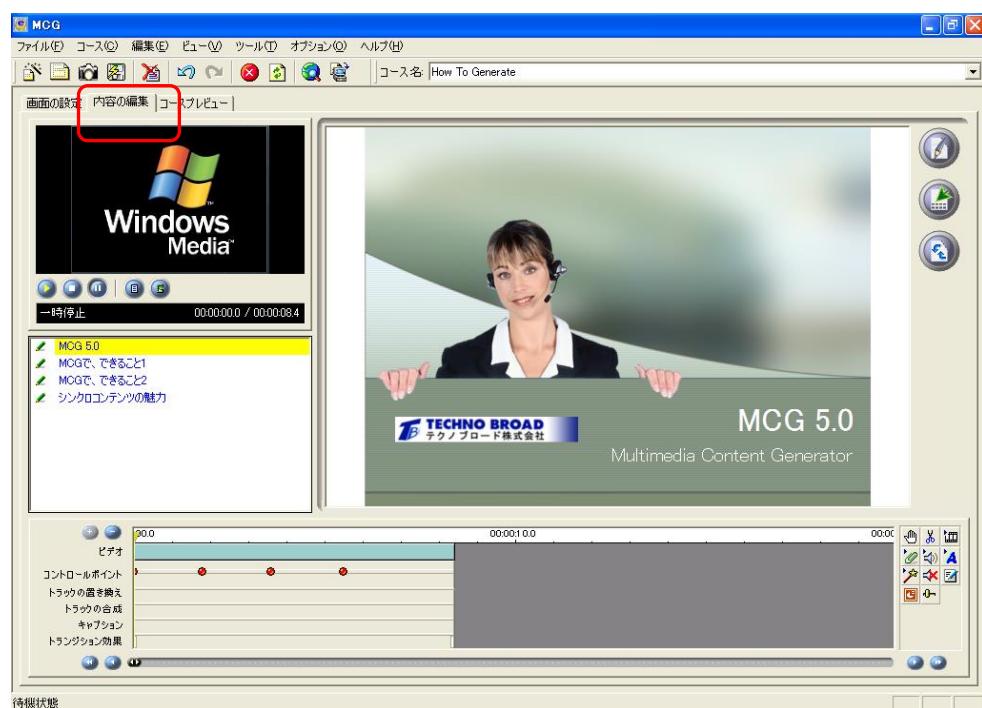


- ⑧ メニュー【コース】の【メディアファイルを保存】をクリックしてスクリーンキャプチャを完了します。

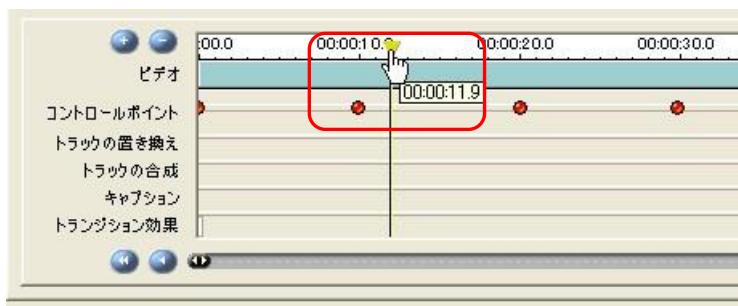


スクリーンキャプチャ動画を編集画面で取り込む

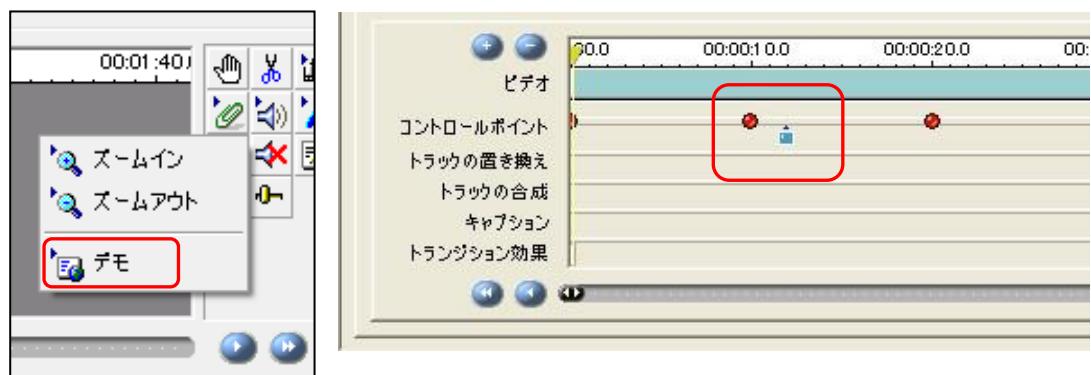
- ① コースを開き、【内容の編集】タブを選択します。



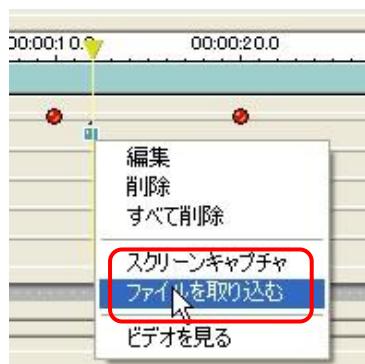
② タイムライン上の任意の位置にポジションポインタを置きます。



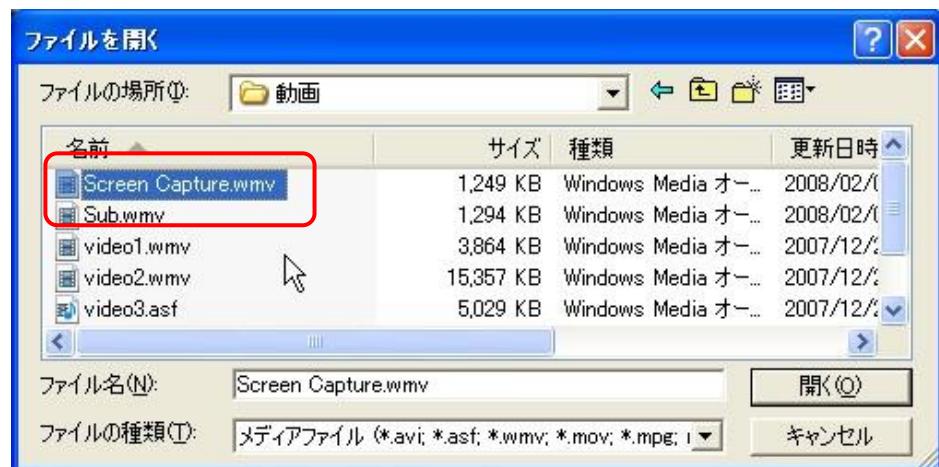
③ 【コントロールポイントを追加】ボタンをクリックして【デモコントロールポイント】をタイムラインに追加します。



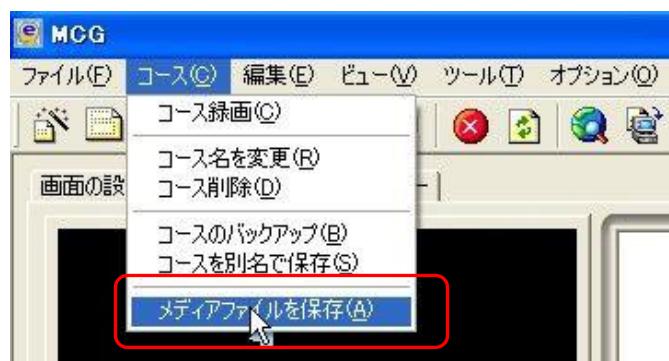
④ 追加した【デモコントロールポイント】を右クリックして【ファイルを取り込む】をクリックします。「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



⑤ キャプチャしておいた動画を選択し、【開く】ボタンをクリックします。



⑥ ファイルの変換作業が終了した後、メニュー【コース】の【メディアファイルを保存】をクリックしてスクリーンキャプチャを完了します。



第13章 ライブ収録の準備

講演会などの収録を行なう手順の一例を以下に記します。

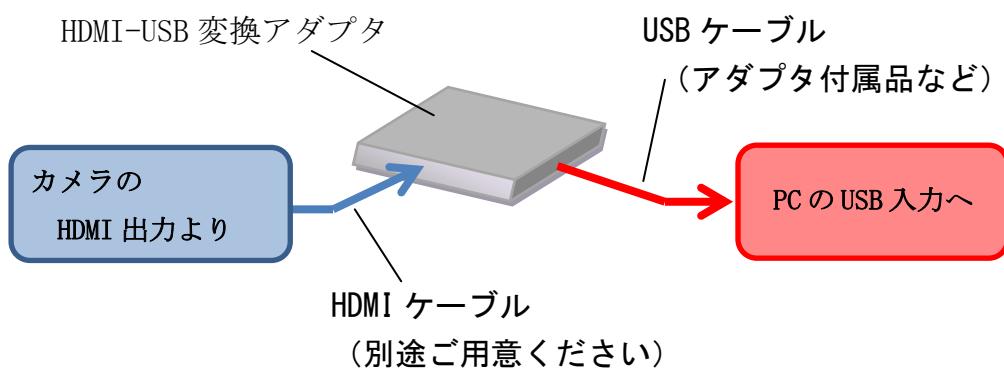
1. 機器の設置

(ア) デジタルビデオカメラ

- ビデオカメラを三脚に固定し、パソコンと接続します。

【接続例】HDMI 出力を持ったデジタルビデオカメラの場合

カメラの HDMI 出力を PC の USB 端子に接続するための変換アダプタをご使用の上、下図を参照して接続をおこなってください。



ビデオカメラは事前に以下の項目を確認します。

- バッテリーパックがセットされていることを確認します
- (DV カメラの場合) テープがセットされていることを確認します
- 明るさの調整をおこないます。
- 必要に応じてビデオカメラのデモモード解除を行ないます
- 画面サイズ(縦横比率4:3に設定)を設定します
- 自動パワーオフを解除します

(イ) ピンマイク

- ① PCのマイク端子に接続します
- ② マイクレベル確認・調整を行います

(ウ) Webカメラ

- ① PCのUSB端子に接続しピント調整を行います

(エ) ヘッドセット

- ① マイクのラインをパソコンのマイク端子に接続し、ヘッドフォンのラインをヘッドフォン端子に接続します

(オ) ワイヤレスマイク

- ① 受信機と送信機の周波数を一致させます

- ② 受信機をパソコンのマイク端子に接続します
- ③ マイク、送信機のスイッチを入れます
 - 1. (必要に応じ)受信機、送信機の電池の交換
 - 2. 送信機のスイッチ確認

(力) (DV カメラの場合)テープにバックアップをとる場合のマイク接続方法

- ① マイクをデジタルビデオカメラのマイク端子に接続します
- ② デジタルビデオカメラのヘッドフォン端子と、パソコンのマイク端子を接続します

2. パソコンの設定

(ア) マイク音量レベル設定

第3章環境設定－第1節 コンピューター環境の設定を参考に設定してください。

(イ) ハードウェアアクセラレーター解除

第3章環境設定－第1節 コンピューター環境の設定を参考に設定してください。

3. MCGPro の設定

(ア) 既定のメディア録画オプション

- ① 動画サイズ、エンコード方式を確認、不適切な場合は変更します

(イ) 画面レイアウトの設定

- ① 画面レイアウト(特に動画の有る無し)が適切なものに設定されているかを確認します

(ウ) 録画デバイスの設定

- ① マイク、デジタルビデオカメラを認識しているか確認します

4. その他

(エ) パワーポイントファイルの事前確認

- ① バージョン

パソコンにインストールされているパワーポイントで読み込み可能かを確認します。インストールされているパワーポイントより新しいバージョンのパワーポイントファイルは使用できません。

② ページタイトルが入っているかを確認します。

入っていない場合は入力します(後でも可)

③ ファイル名が適切であるか確認します(特にWebページとしてサーバにアップする場合はURLに許可される文字のみとなっているか注意)

(オ) パワーポイントファイルのプリントアウト

収録中はパワーポイントファイルをプリントアウトしたものにスライド切替時間や突発的な事項(スライド切替ミス)などをメモすると編集作業時に役立ちます。

注:カメラをパソコンに接続した際に WindowsMedia エンコーダの画面が表示されますが、MCGPro を使用する際には不要な画面ですので、WindowsMedia エンコーダ画面を閉じても問題はありません。

第 15 章 MCGPro トラブルシューティング

ここでは、次のトラブル解決のヒントを解説しています。MCGのインストールや操作の際にトラブルでお困りの時には、まずこちらをご覧いただき対処してみてください！

1. インストール時のエラー

(1)エラーメッセージ:「Command line option syntax error. Type Command /? For Help.」

2. 登録時のエラー

(1)エラーメッセージ:「シリアルナンバーがデータベースに存在しています。登録前にチェックアウトしてください。」

3. インストールは正常にできたが、動作がおかしい

4. 収録時のエラー

(1)エラーメッセージ:「機能<IEasyCapture::CapturePrepare>を実行できません」

(2)ビデオ入力ができない

5. コース生成時のエラー

(1)エラーメッセージ:「メンバが足りません」

(2)警告メッセージ:「サーバー使用中」

(3)その他 1:PowerPoint バージョンの確認

(4)その他2:プレゼンテーションファイル妥当性の確認

6. 編集時のエラー

(1)エラーメッセージ:「時間書式エラー」

(2)コントロールポイントのうち、黄色い▲の削除ができない

第1節 インストール時のエラー

(1)MCGPro をインストール中に次のエラーが表示された。

「Command line option syntax error. Type Command /? For Help.」



MCGPro をインストール中に上記のエラーが出る場合があります。

Windows Media 関連のプログラムをインストールするときに、2バイト文字(ひらがな、漢字など)のユーザー名を使用していると発生します。(半角英数字を使用している場合はこの現象は発生しません)

このエラーが発生した場合は、次ページの手順に従い MCGPro の再インストールを行ってください。

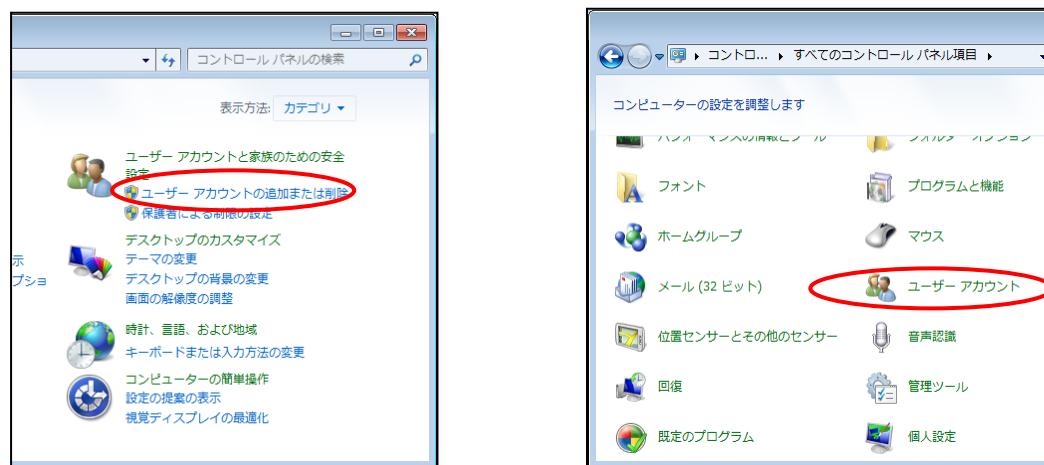
- ① 一旦、MCGPro のアンインストールを実行します。
「プログラムと機能」または、「プログラムのアンインストール」(Windows Vista/7/8)
- ② 以下のA. B. どちらかを実行してください。

A. 半角英数字のユーザー名で、新規ユーザーを作成する。

・Windows Vista/7 の場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択
2. 「ユーザー アカウント」を選択

※表示方法によっては「ユーザー アカウントの追加または削除」を選択



3. 「別のアカウントの管理」を選択



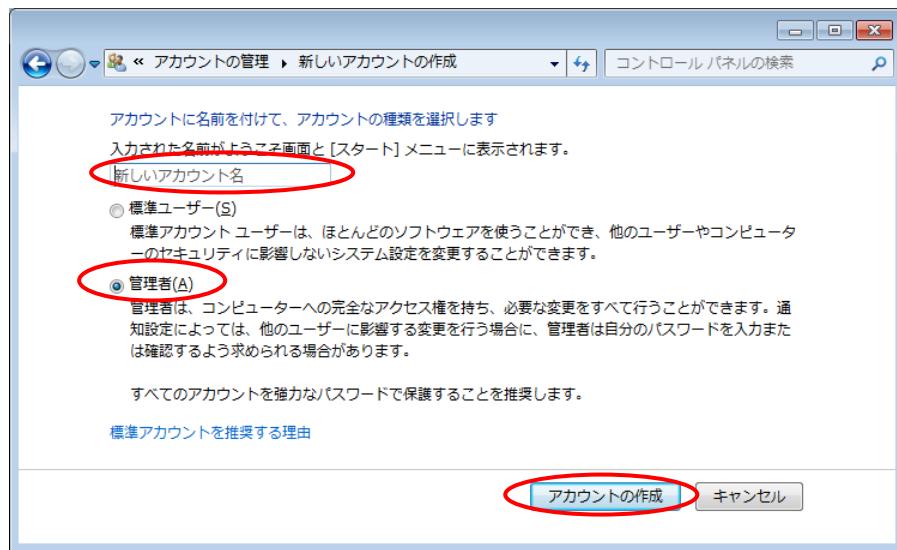
4. 「新しいアカウントの作成」を選択



5. 「新しいアカウント名」の部分に半角英数字ユーザー名を入力

6. 管理者を選択

7. アカウントの作成を選択



以上で、半角英数字ユーザー名の新規ユーザー登録は完了です。

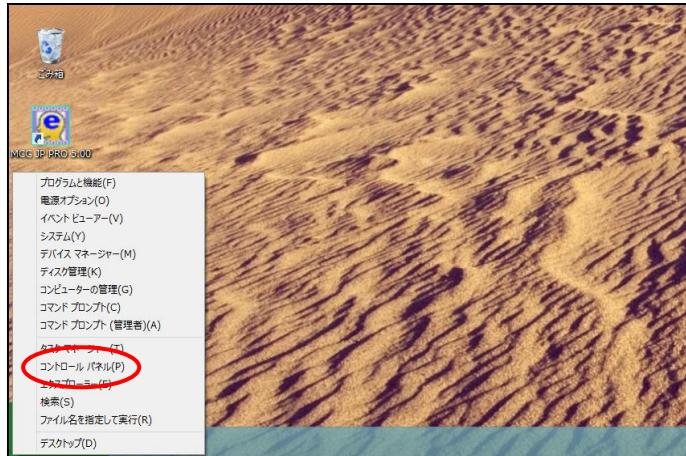
次に、一旦ログオフを行い、先ほど登録したユーザー名でログオンします。

この状態で再度 MCGPro のインストールを行います。

インストール終了後は、元のユーザー名でログインして MCGPro をご使用いただけます。

・Windows 8(デスクトップ表示)の場合

1. デスクトップ画面の左下端を右クリック
2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」を選択



3. 「ユーザー アカウント」を選択

※表示方法によっては「アカウントの種類の変更」を選択

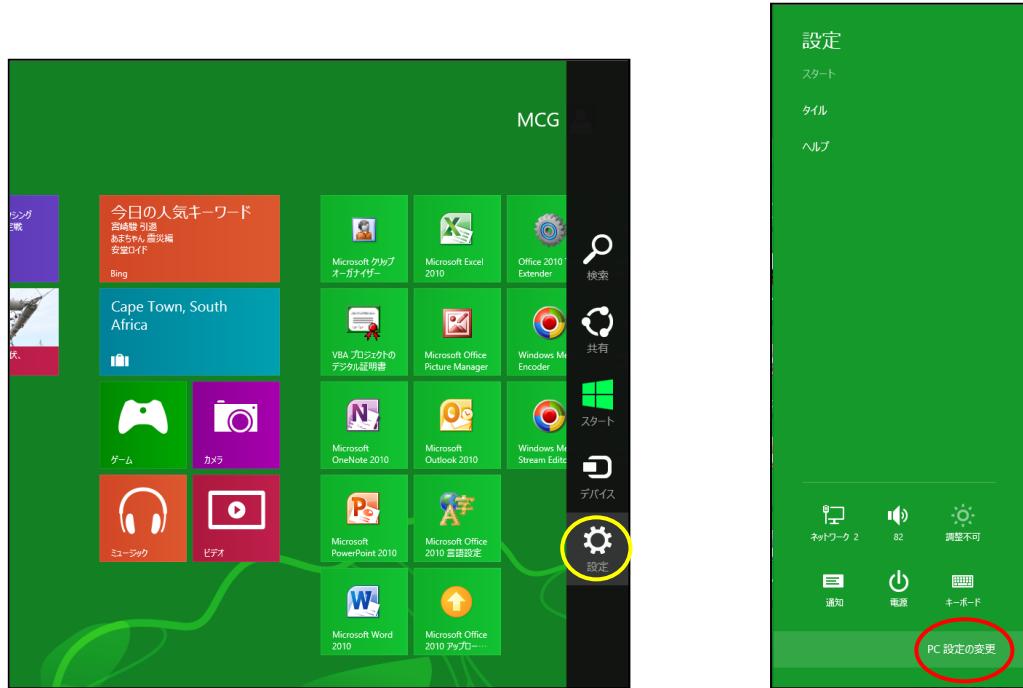


4. 「別のアカウントの管理」を選択



・Windows 8 (Modern UI) の場合

1. 右上端にマウスカーソルを移動
2. 右側面にアイコンが表示されるので「設定」を選択
3. 右図の帯が表示されるので「設定の変更」を選択

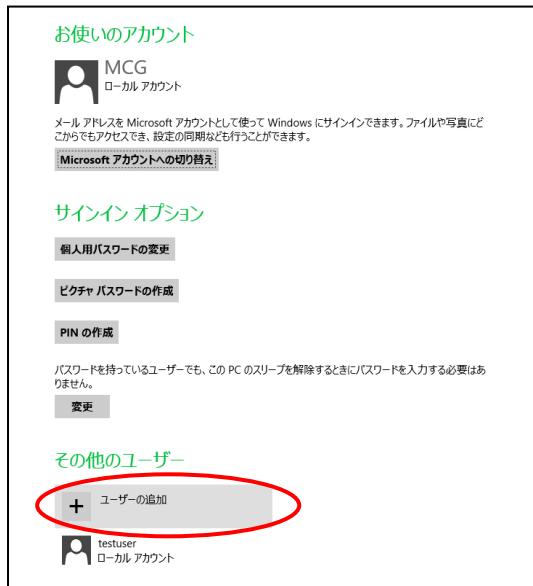


4. PC 設定の画面が表示されるので「ユーザー」を選択



・Windows 8 の場合(ここから共通部分)

1. 「ユーザーの追加」を選択



2. 画面の指示に従って「半角英数字」でアカウントを作成

※ここではローカルアカウントの作成方法を記載いたします。

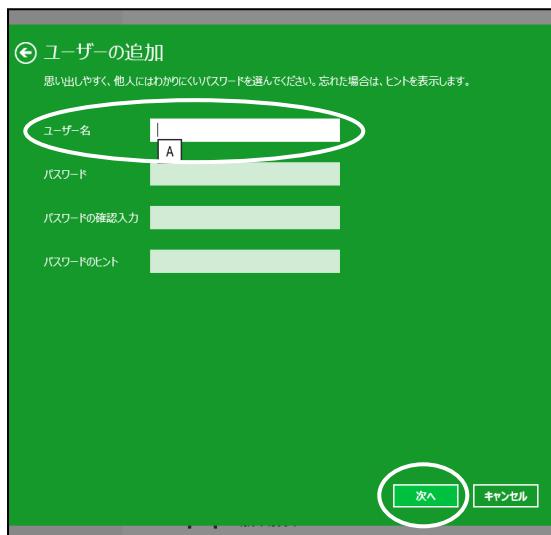
3. 「Microsoft アカウントを使わずにサインインする」を選択



4. 「ローカルアカウント」を選択



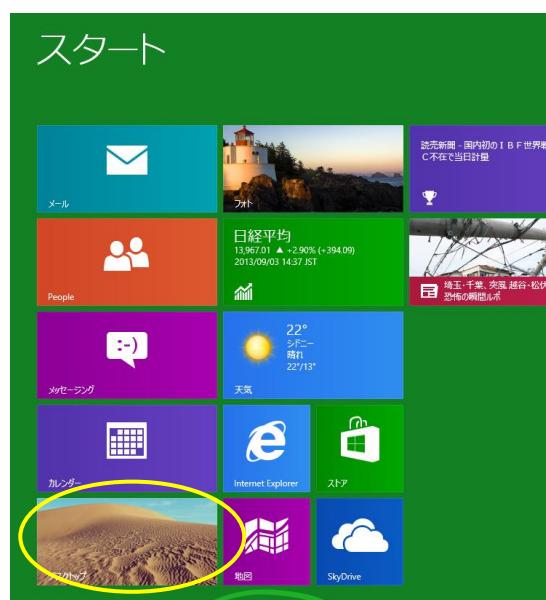
5. 「ユーザー名」に半角英数字で任意ユーザー名を入力
6. 「OK」を選択



7. 「完了」を選択し、アカウントを作成します

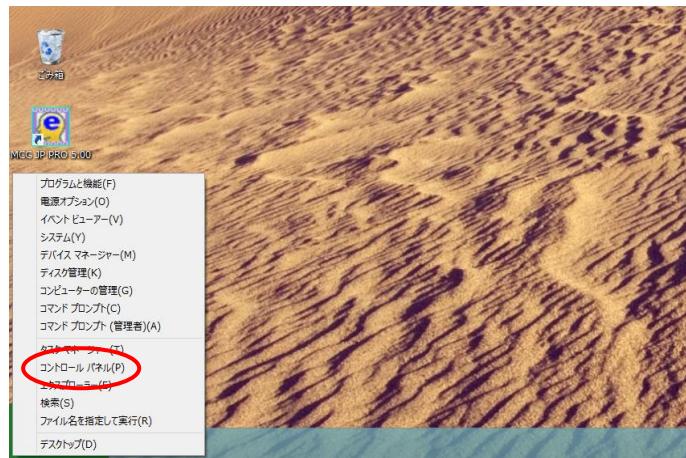


8. 管理者アカウントに変更するためデスクトップへ移動



9. デスクトップ画面の左下端を右クリック

10. 表示されたメニューから「コントロールパネル」を選択



11. 「ユーザー アカウント」を選択

※表示方法によっては「アカウントの種類の変更」を選択



12. 「別のアカウントの管理」を選択



13. 任意に作成した半角英数字のユーザー アカウントを選択

14. 「アカウントの種類の変更」を選択



15. 「管理者」を選択し、「アカウントの種類の変更」を選択



以上で、半角英数字ユーザー名の新規ユーザー登録は完了です。

次に、一旦ログオフを行い、先ほど登録したユーザー名でログオンします。

この状態で再度 MCGPro のインストールを行います。

インストール終了後は、元のユーザー名でログインして MCGPro をご使用いただけます。

以上で、半角英数字ユーザー名のユーザー登録は完了です。

B. 「環境変数」の設定を変更する。

コントロールパネルの「システム」を開きます。

カテゴリ表示にしている場合は、「システムとセキュリティ」を開いて「システム」を開きます。

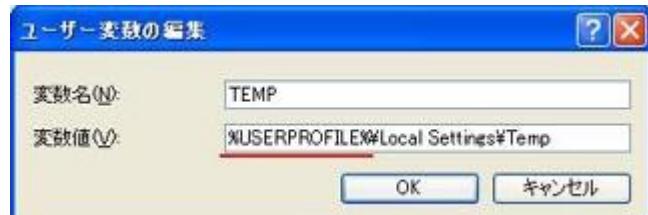
[システムの詳細設定]を選択、
[環境変数]ボタンをクリックしま
す。

[TEMP]が選択された状態で、
[編集]ボタンをクリックします。



「%USERPROFILE%」の部分を任意
の半角英数字に変更して[OK]を
クリックします。

[TMP]についても同様に変更します。



[OK]ボタンをクリックして環境変数画面を閉じ、更に[OK]ボタンをクリックして「システム」画面を閉じます。



Windows の再起動後に、MCGPro の再インストールを実行します。

第2節 登録時のエラー

(ア) MCGPro を登録する際に次のメッセージが表示された。

「シリアルナンバーがデータベースに存在しています。登録前にチェックアウトしてください。」

新たに別の PC に MCGPro をインストールする場合、以前登録していた PC でチェックアウトせずにアンインストールしてしまった場合に、このエラーが出ます。

以前使用していた PC に再度 MCG をインストールし、正しくチェックアウトしてください。
PC を破棄したなどチェックアウトできない場合は弊社までご連絡ください。

※弊社連絡先は最後のページに記載されております。

第3節 インストールは正常にできたが、動作がおかしい

MCGPro を用いて、収録、編集等のコンテンツ制作を行うためには、MCGPro の他に以下のソフトウェアがインストールされていることが必要です。これらのソフトウェアも正常にインストールしてあることをもう一度お確かめください。

【MCGPro 動作に必要なソフトウェア】

- A) DirectX 9.0b
- B) Windows Media Encoder 9
- C) Windows Media Player 9.0 以上

尚、MCGPro のインストール用CD-ROMには、これらのソフトウェアのうち、弊社にて動作確認を行った最新版のものが準備されておりますので、こちらもご利用ください。

第4節 収録時のエラー

(1) 収録時に次のエラーが表示された。

「機能<IEasyCapture::CapturePrepare>を実行できません」



録画デバイスが正常にインストールされていないか、電源が入っていません。
確認して、やり直してください。

ビデオ入力ができない

原因として、次の点が考えられますので、確認してください。

- ・ ビデオデバイスが正常にインストールされていないか、電源が入っていない。
- ・ ビデオデバイスが選択されていない。

「オプション」>「機器の選択」で、使用しているビデオデバイスが選択されているか確認してください。

- ・ 他の映像編集ソフトが起動している→保存して、終了してください。
- ・ ケーブル不良→交換してください。

第5節 編集時のエラー

- (1) 編集中に「時間書式エラー」とエラーメッセージが表示された。



時間を指定してコントロールポイントを移動する際、書式を間違えるた時に出るエラー。時間、分、秒はそれぞれ 2 桁ずつで区切り、それ以下の単位は 1 桁で区切れます。ラインのあとのかっこ内が、エラーのある行数を示しています。

- (2) コントロールポイント・黄色い▲の削除ができない

削除したいマークの上にマウスポインタを置いて、右クリックするとメニューが表示されます。そこで「削除」を選んでください。

MCGPro サポートサービス

ご購入後のユーザー様へ製品の使い方やトラブルシューティングなどの無償サポートは、e-mail で受け付けております。

ユーザー登録書は必ず返信ください。

弊社サポートより、新製品情報、お役立ち情報等をメールにて配信致します。(不定期)

※個人情報保護方針について

ユーザー登録書に記載頂きました個人情報に関しては、弊社にて厳密に管理を致します。また、個人情報の使用目的は、弊社よりソフトウェアの最新情報、お役立ち情報の提供及び問合せに関して使用致します。

MCGPro 5.9

2014年2月28日版

発行・著作 テクノブロード株式会社

受付窓口：テクノブロード株式会社

e-mail：info@t-broad.com

なお、出張サポートについては、別途お見積りとさせて頂きます。

本ドキュメントに関する著作権は、テクノブロード株式会社へ全て帰属します。テクノブロード株式会社が事前に書面による承諾をしている場合を除き、その目的を問わず、複写や記録、電子的、物理的な全ての手段を含む方法、媒体での複製 または譲渡することは禁じられています。